

高等学校教科書および大学入試における  
歴史系用語精選の提案（第一次）

2017年10月

高大連携歴史教育研究会

## 目次

高等学校教科書および大学入試における歴史系用語精選の提案（第一次）	1
用語精選案の精選基準と区分・配列方法	7
1. 歴史の基礎概念	9
2. 世界史用語	10
3. 日本史用語	30
(付録) 世界史（明清時代史）、日本史（中世史）の検討過程の例	

# 高等学校教科書および大学入試における歴史系用語精選の提案（第一次）

2017（平成29）年10月30日 高大連携歴史教育研究会運営委員会

## I はじめに

### 高等学校歴史系教科書における収録用語の膨張傾向

長年、高等学校の世界史・日本史教育では歴史的思考力の育成の重要性が指摘されてきたにも拘わらず、歴史系科目は「暗記科目」だという観念が生徒を始め多くの人の中に定着してきました。2006年（平成18年）秋に表面化した「世界史未履修問題」でも、世界史の「用語・事項」つまり固有名詞や年代が多数にのぼるため、暗記が大変と考えた生徒たちが、大学受験で世界史選択を敬遠したことが一因といわれています。

確かに、高等学校における歴史教科書に収録された用語数は、改訂の度に増加する傾向を示しています。ある調査によると、1950年代には1300-1600語であったもの（索引から集計）が、21世紀初めの「世界史B」教科書では3400-3800語と、実に3倍近くも増大しています。この傾向は、日本史教科書でも同様であり、1950年代には1300語程度であったのが、現行では3400-3800語に増大しています（1）。これは、新しい研究成果を取り入れるためという面だけでなく、大学入試で教科書に出ていない細かい事実を問うような問題が出されると、その事項が次の改訂の際に教科書に収録される傾向が続いているからだといわれています。その結果、高等学校では、膨大な用語の説明・暗記に追われ、古代から始めた授業が現代まで到達しないままに終わったり、思考力を育成して生徒に歴史を学ぶ楽しさを実感させられる授業を行う余裕がない状況が続いてきました。

つまり、高等学校における歴史系教科書の利用膨張の原因には、大学入試で細かい用語の暗記力を問う問題が出続けていることの影響も大きいわけで、用語の精選は教科書だけでなく、大学入試の出題用語の精選と並行して行う必要があることを意味しています。

なお、量的増加以外に、従来の「用語の暗記」は2つでの点で、質的に深刻な問題を含んでいます。第一にそれらの用語について、基本的な流れや時代の特色とその個別具体例などの階層分けが明示されないため、生徒たちはたとえば「フランス革命」もその中の各事件の名前も重要度を区別せずに、平面的・羅列的に覚え続けることです。第二は、従来の「用語」が人名・事件名など固有名詞や事実に関する用語に偏っていることです。フランス革命を理解するために不可欠な「市民革命」などの歴史・社会に関する一般概念や、資料から歴史を考察するために必要な「一次史料」などの方法概念には、「用語」の扱いを受けていない（索引や用語集に立項されていない）ものがきわめて多く、それらをどこまで授業で用い習得させるかについては、何の基準もありません。これを語学にたとえれば、必要な文法用語や基本文型の選定を一切せずに、ただ覚えるべき単語の数だけ増やしている状態に等しいのではないのでしょうか。

## 用語削減の提案と実態調査

このような用語膨張の傾向に対して日本学術会議の歴史地理教育関係の分科会では、2011（平成23）年8月に「世界史未履修問題」の解決策として、「歴史基礎」と「地理基礎」新設必修履修化を提案するとともに、「関係学会などで重要用語を厳選するガイドライン」を作成し、大学入試の出題をそのガイドライン内で行うとともに、歴史的思考力を問う問題の出題を増やすように働きかけてゆく」ことが提言されました（2）。

また、2014年夏には、日本学術会議高校歴史教育分科会（委員長・久保亨）と日本歴史学協会歴史教育特別委員会（委員長・近藤一成）、高等学校歴史教育研究会（代表・油井大三郎、会員十名中、高校と大学教員が半々で構成）の3者が行った歴史教育に関するアンケート調査では、高校・大学教員を中心とする681名の回答の中で、次のような傾向が示されました。

- ① 高校の歴史教育が「大学入試の影響で用語の暗記中心の授業形態になっている」かどうかの質問に対して、「強くそう思う」が32.6%、「そう思う」が42%、合計74.2%が肯定的な回答。
- ② 解決策として、「大学側が細かい用語の暗記力ではなく、歴史的思考力を試す出題に代えるべき」かどうかの設問に対して、「強くそう思う」が39.9%、「そう思う」が35.8%、合計75.7%のものが肯定的な回答。
- ③ 高校での授業時間の制約を考え用語の限定が必要かの設問に対して、「強くそう思う」が29.1%、「そう思う」が37.7%、合計66.8%が肯定的な回答。
- ④ 用語限定が必要とした場合、世界史Bと日本史Bの適当な用語数についての設問に対して、3000語が7.6%、2500語が20.9%、2000語が26.1%、1500語が6.2%、1000語が1.8%で、2000～2500語とするものが47%を占めた。
- ⑤ 「大学入試で出題する用語数を限定しないと、高校で全時代を教えたり、思考力育成型の授業を増やしたりできない」と思うかの設問に対して、「強くそう思う」が21.6%、「そう思う」が30.4%、「どちらともいえない」が26.7%で、肯定的な回答が52%を示した。
- ⑥ 大学入試で限定すべき用語数については、3000語が5.4%、2500語が18.1%、2000語が22.9%、1500語が4.7%、1000語が1.8%、その他が47.5%であった。大学関係者の回答に限定すると、2500語が33%、2000語が53.4%、合計86.4%となった。
- ⑦ 以上のアンケート調査結果から、高校の歴史教科書でも大学入試の出題用語でも用語の限定が必要との意見が多数を占め、適当な語数はともに、2000～2500語くらいに集中した（3）。

## 文部科学省における検討状況

2016（平成28）年12月に発表された中央教育審議会の次期学習指導要領作成に向けた「答申」では、小中高の全科目において「主体的で、対話的な深い学び（アクティブ・ラーニング）」の導入が重視されているが、高等学校の歴史系科目では、収録用語の膨張がその妨げになっているとして、次のように指摘されています。

「高等学校地理歴史科の歴史系科目では、教材で扱われる用語が膨大になっていることが指摘されていることから、歴史用語について、研究者と教員との対話を通じ、「社会的事象の歴史的な見方・考え方」等も踏まえ、地理歴史科の科目のねらいを実現するために必要な概念等に関する知識を明確にするなどして整理すること」が明記されました（4）。

また、同年3月に発表された高大接続システム改革会議の「最終報告」の中でも、「歴史系科目や生物などについては、中央教育審議会において、高等学校教育における教材で扱われる用語が膨大になっていることが学習上の課題として指摘されており、現在、各教科の本質に根ざした見方や考え方につながる重要な概念を中心に、用語の重点化や構造化を図ることが重要であると議論されている。このことも踏まえ、大学入学者選抜においても、

単なる知識の量や細かな知識の有無のみにより評価を行うことがないよう、作問も改善を図ることが重要である」と指摘されました（5）。

### 民間の関連研究会における用語精選活動

高等学校歴史教育研究会では、前述のアンケート結果も踏まえて、2014（平成 26）年 9 月に発表した報告書で、高校教員がそれぞれ 2 名により世界史 B、日本史 B 教科書における 2000 語案を作成し、公表しました。世界史 B は小川幸司・故鳥越泰彦が担当し、日本史 B は戸川点・安井崇が担当しました（6）。

この報告書では、長年の高校における授業実践の体験から思考力育成型の授業と両立可能な用語数は、1 時間の授業で 15 語程度であり、B 科目 4 単位の場、他の学校行事などとの関連で授業時間は 120 時間程度であることを考え、総計 1800 語くらいが適当な用語数となると推定しましたが、若干の増減を考えて、現行教科書で収録されている約 3800 語をほぼ 2000 語に絞る案を提案しました。ただし、厳密には、世界史 B では 2147 語、日本史 B が 1974 語となりました。

また、2014（平成 26）年に実施したアンケート調査の結果、全国各地に歴史教育に関わる地方単位ないし分野ごとの研究会が多数存在することが判明しましたが、歴史教育の改善を進めるには大学と高校の教員の交流を可能にする全国規模の研究会の必要性が痛感されるようになり、2015（平成 27 年）7 月に高大連携歴史教育研究会（7）が発足しました。その第二回大会（2016 年 7 月）で用語精選を検討するワーキング・グループの発足が決まり、以来、世界史 B と日本史 B の現行教科書をもとに、1 年余の期間を費やして用語精選の活動を進めてきました。本年 7 月の第三回大会の場でその一部が紹介され、その席上で出された精選の基準や目標についての意見も踏まえてさらに討論を重ねた上で、今回の第一次案が作成されました（8）。その過程では上記のような概念軽視の状況への問題意識が強まったため、上記の 2000 語リストから事実関係の用語をさらに減らす一方で、必要な概念用語などは新たに取り入れるという方針が、最終的に承認されました。

## II 高大連携歴史教育研究会の用語精選第一次案

### 用語精選の目的

高大連携歴史教育研究会が世界史 B と日本史 B の用語精選を計画した第一の目的は、改訂のたびに膨張してきた高等学校の歴史教科書の収録用語を精選する方向での教科書改革を実施することによって、歴史的思考力の育成を可能にすることにあります。といっても 2022 年度に施行が予定されている次期の高校学習指導要領では、新必修科目「歴史総合」（2 単位）と選択科目「日本史探究」「世界史探究」（各 3 単位）という新しい科目編成への移行が予定されているため（9）、本会が精選した用語リストにもとづく教科書の編纂はもはや実現不可能なのですが、しかし、センター入試の新型版（仮称：大学進学者共通テスト）は、現在の科目のままで 2020 年度にスタートします。また、世界史・日本史の教育や入試、教科書編纂などの現場がどれも「覚えるべき用語」を強く意識してきたこれまでの状況を考えても、「歴史総合」など新科目で教えるべき内容の組み立てをゼロから考えることは現実的でないと思われます。「日本史探究」「世界史探究」を含む新科目への円滑な移行を念頭に置きながら、まず世界史 B と日本史 B の用語精選に取り組むことが現実的だと考えた次第です。

第二には、大学入試において細かい用語や事実の暗記力を問うのではなく、出題用語の精選を行うことによって受験生の「知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」などを総合的に判定することを可能にするためにあります。その際、教科書における用語精選と大学入試における出題用語の精選の関連が問題になりますが、高等学校の歴史教育が大学入試から大きな影響を受けている現状および新型入試が現行科目で開始されることを考えると、まず大学入試における出題用語の精選か

ら始めるのがよいと考えます。大学入試で出題される基本的用語のガイドラインが明確になれば、高等学校ではそのガイドラインに載っている用語などを高等学校段階で生徒が身に付けるべき基本的知識・能力と位置づけ、その習得に基づいて思考力を育成する授業に集中することが可能になると思います。

その場合、現在示されている入試改革や新学習指導要領の方向性を強く意識する必要があります。前者では、未見の資料やデータが示す「課題」を、既習の基礎的な考え方や知識と組み合わせて解けるかどうかを重視されます。つまり「教科書に出ている知識の確認そのもの」が入試の目標ではなくなります。後者の教科書においても、「暗記事項の列挙」は最小限にとどめる一方で、多様な資料や問いを掲載して、生徒自ら「主体的・対話的で深い学び」を実践できる教科書を作ることが求められています。それらを踏まえるならば、このガイドラインに記載された用語を教科書で「基礎用語」として本文に掲載し、大学入試でも知識として問うのはこの範囲に限定する、それ以外の用語については、例えば、教科書では「発展用語」などの扱いで資料や図表・課題中に含めて自主的な学びに導く、入試でも大学受験でその知識を求めることはしないが、基礎用語の知識と組み合わせて解答すべき資料中などで使うことは制限しないといったやりかたで、高等学校の歴史教育に柔軟性と多様性を保証することが期待されます。

なお、こうした用語精選に対しては、入試問題が作れなくなる、高校教育や教科書執筆における自主性を束縛することになる、という2つの懸念がしばしば聞かれます。入試の出題については資料を深く読ませる、概念的・論理的思考を要求するなどのノウハウの蓄積が求められます。また授業内容や教科書執筆全体については、本用語精選案がリスト外の用語を、授業中に例示することや教科書の資料・図表やコラムなどに掲載することを否定してはいない点を、よくよくご理解いただきたいと思います。精選(制限)を提案しているのは、「教科書本文に掲載し、入試で必須暗記事項として扱う」用語だけです。

## どんな用語を選ぶのか、削るのか

大学入試は、受験生が高等学校で身に付けた基本的な知識や能力が大学入学に相応しい水準に達しているかを判定するものであります。その際、大学入試には公平性の確保が重要であり、特定の教科書にしか載っていなかったり、全くどの教科書にも載っていない用語や記述を知識として問うことは、この公平性の原則に反する行為と言わざるをえません。それ故、出題用語精選の第一の原則は、ほとんどすべての教科書に記載されている用語を選び出すことになりました。

次に、初等・中等教育の目的の一つが「平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質」の育成にあることを考えると、歴史教育も現代的課題の歴史的背景を考慮のできる知識・能力の育成が求められるのは同然でしょう。その結果、大学入試の出題や教科書の執筆においても、現代的課題を考える上で必要な歴史用語やそれを理解するための歴史や社会に関する諸概念を重視する必要があります、これが出題用語精選の第二の原則になると考えます。

第三には、資料をもとに考察したり、歴史の大きな転換や時代の基本的な特徴を説明したりする際に必要になる基軸的な用語（概念用語）を中心として、その基軸的な用語を説明する上で必要不可欠な事実を示す用語を選定することが重要と考えました。

この第二、第三の原則に関連して、従来必ずしも「用語」と見なされていないが新しい歴史教育に必要と考えられる概念（10）や物質名などの語句が一定数あるので、それは従来の教科書に全く出ていないもの、少数の教科書にしか書かれていないものなども積極的に取り入れました。そこでは、「一般常識」に属する語彙であって、学習や入試に必要ではあるが高校教科書の本文に用語として掲載することにはなじまないタイプの用語も、あえてリストアップしましたので、その部分はやや性格が違っていることをお断りしておきます（後掲「1.歴史の基礎概念」で掲げた用語にはそのタイプが多い）。環境・災害の歴史など、従来の教科書では軽視されているが今後の新科目などでは確実に重視すべきだと思

われる分野の用語も同様です。

それらの新しい用語と入れ替わりに、従来のすべての教科書に書いてあるが細かすぎたり羅列に流れている固有名詞、図表や地図で例示すれば十分と思われる（入試でも資料中に現れて差し支えないが、正解として知識は問うべきでない）人名・地名などは、思い切ってカットしました。また従来は、一般的な文章で説明すればよい事柄をわざわざ特定の用語（単語・熟語）」として教科書に掲載したり入試で問う傾向がありましたが、それらも基本的に、本提案には採録していません。その他、世界史における「奇妙なカタカナ表記や珍訳」など、従来の用語には不適切な表記・呼称がしばしば見られました。これらについては、各分野の専門家の意見も踏まえながら、適切な表記や研究の進歩に合わせた呼称に改めるよう努めました。詳しくは後掲の「精選基準」と凡例で説明してあります。

最初に歴史に関するもっとも基礎的な概念・物質名などのリスト（世界史・日本史共通）を置き、その後世界史・日本史それぞれのリストに掲載しました（192語の共通基礎用語を含めれば総数は世界史 1835語、日本史 1856語）。まだ検討不足な部分もありますが、高大連携歴史教育研究会運営委員会としては、新型入試の検討や新学習指導要領の審議ペースなども考え、この時期に全体リストの第一次案を公表した次第です。なお挙げられた用語リストだけを見たのでは、「この用語がない」とか、「どうしてこの用語を収録するのか」などの個別的な疑問が出てくるでしょう。そこで、用語精選の過程を明確にするために、従来の教科書に出ているすべての用語を打ち込んだエクセル・ファイルを土台にして作業をしてきた経過の一部を附録として末尾に掲載しました。

### III アンケート調査と用語精選第一次案との関連

今回、日本学術会議高校歴史教育分科会、日本歴史学協会歴史教育特別委員会、高大連携歴史教育研究会運営委員会の3者で実施するアンケート調査は、高等学校の歴史系教科書や大学入試の出題における歴史用語をどのように精選したらよいかの基準を明確にするためのものです。この用語精選における基準に関して大枠での合意が形成されれば、それを公表し、それを参考にして高等学校の歴史教科書や大学入試における用語の選定が進むことを期待しています。

勿論、このような基準に基づいて用語の精選を行った結果については多様な案が考えられると思います。高大連携歴史教育研究会が今回公表するのはその一案であります。しかも、高大連携歴史教育研究会としても「第一次案」として発表するもので、今回のアンケート結果とともに、来年2月末までに各方面のご意見をうかがった上で最終案を2017年度内に決定する予定です。今回、3者による用語精選に関する基準を明確にするアンケート調査を行うにあたって、高大連携歴史教育研究会運営委員会による用語精選結果の第一次案を添付したのは、用語精選の具体的な例を念頭に置いていただいた方がアンケートへの回答が容易になるのではないかと考えたため、これを用語精選の唯一絶対のモデルとして提示するものではありません。

高大連携歴史教育研究会ではこの第一次案を高大連携歴史教育研究会のウェブサイト上で公開するとともに、歴史教育関連の各学会・研究会や大学、教科書出版社などに送り、このアンケート調査とは別に、関係者のコメントを広く募る計画です。個々の用語の選定の是非については水掛け論にしかならない場合もあるでしょうが、用語選定の基準や区分・配列の方法などについてのアンケートへの回答は多くの関係者の平均的な意見分布を知る上で、特に重要と考えます。ぜひ多数の方が3者によるアンケートにお答えいただくとともに、高大連携歴史教育研究会の用語精選第一次案に対するご意見も高大連携歴史教育研究会のホームページに掲載されたご意見欄にお答えいただければ幸いです。

既に述べた通り、2022年度から新指導要領が施行されると、高校の歴史は必修科目「歴史総合」と選択科目「世界史探究」「日本史探究」に移行します。今年度末に新指導要領が公表されると、教科書の編纂が開始されるはずですが、これらの新科目の教科書作成にあたって、今回のアンケート結果が役立つと考えます。それらの新科目の教科書で概念と

事実が構造化されたかたちで書き込まれ、新科目の入試もそれを前提に実施されるよう、今回お尋ねする世界史 B と日本史 B の用語精選基準に関するアンケート結果を、単位数の変更を考慮しつつ、新科目の用語リストの精選に役立てていく作業をする必要があります。そうした長期的な課題を進めるためにも、今回の歴史用語の精選基準に関するアンケート調査に協力くださるようお願いする次第です。

ご返事は、3者によるアンケート調査も、高大連携歴史教育研究会独自の用語精選第1次案に対するものもどちらも、下記にお送りくださるようお願い申し上げます。

〒612-8522 京都市伏見区深草藤森1 京都教育大学教育学部日本史学研究室気付  
高大連携歴史教育研究会

また、高大連携歴史教育研究会のホームページ (<http://www.kodairen.u-ryukyu.ac.jp>)でも、アンケートの回答を行うことができます。あわせて用語精選第1次案への意見欄も設けております。

## 注

- 1) 高等学校歴史教育研究会『歴史教育における高等学校・大学間の接続の抜本的改革を求めて(第一次案)』2014年7月、pp.93,101。なお現行学習指導要領では、地理歴史科に属する地理、世界史、日本史はそれぞれ2単位のA科目と4単位のB科目に分けられ、「世界史を含む2科目が必履修(ABはどちらでも可)」と規定されている。時間配分の都合で必修世界史にはA科目(近現代中心にコンパクトに学ぶ内容)をあてる高校が多い一方で、大半の大学入試は世界史B(昔ながらの詳しい通史)を要求するため、世界史Aを含めた高校歴史教育の内容全体が結局世界史Bの教科書と入試に束縛される状態が続いている。
- 2) 日本学術会議心理学教育学委員会・史学委員会・地域研究委員会合同高校地理歴史教育に関する分科会『新しい高校地理・歴史教育の創造—グローバル化に対応した時空間認識の育成—』2011年8月3日、p.11。
- 3) 高校歴史教育研究会『歴史教育における高等学校・大学間接続の抜本的改革—アンケート結果と改革の提案—』2014年9月、なお、この報告書と注1の報告書の電子版は、大阪大学歴史教育研究会、比較ジェンダー史研究会などいくつかのホームページでダウンロード可能である。
- 4) 中央教育審議会『幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について(答申)』2016(平成28)年12月21日、p.139。
- 5) 高大接続システム改革会議『最終報告』2016年3月31日
- 6) 注3に同じ、pp.48-68。
- 7) <http://www.kodairen.u-ryukyu.ac.jp/index.html>。大学・高校や歴史学・社会科教育学の枠を超えた高校・大学の歴史教育改革の検討を目的として設立された全国組織で、第1(教科書記述と歴史的思考力)、第2(教材・教育実践のデータベース化)、第3(歴史総合)、第4(入試改革)、第5(大学側の歴史教育)の5つの部会をもつ。本用語精選はこの第一部会の中に設けられたワーキンググループが中心となって作成し、運営委員会の承認を得たものである。
- 8) この歴史用語精選作業に関わったメンバーは以下の通りである(世界史・日本史はそれぞれ五十音順)。  
桃木至朗、中村薫(全体統轄)  
安達淳、石橋功、大久保俊朗、神田基成、佐藤雅信、澤野理、柴泰登、白鳥裕、土井啓瑛、中山拓憲、矢部正明(世界史)  
児玉祥一、後藤敦史、高木純一、中田稔、中村翼、原田敬一、東野将伸、松井秀行、宮崎亮太(日本史)

このほか、協力関係にある時代・地域ごとの専門家グループや学会で、独自に教えるべき用語の検討を進めているところがあり、近代世界システム、中央ユーラシア史、東南アジア史、西洋古代史などのリスト案はすでに完成している。本ワーキング・グループでは、これらも参考にしている。

- 9) 地理歴史科全体では、歴史総合と地理総合（各2単位）を必修とする、地理にも選択科目「地理探究」を設けるなどの方針が示されている。
- 10) 今回の選定においては、(ア)「史料（資料）」「遺物」「世紀」など歴史を理解するための基本的術語、(イ)「環境」「国家」「宗教・思想」など歴史で取り上げる一般テーマ、(ハ)「幕藩体制」「主権国家」「近代化」など各時代を象徴するキーワードのうち固有名詞や事件名ではないもの、などを「概念用語」としてリストアップした（(ハ)にはもともと用語と見なされているものも多い）。制度や政策、思想や文化の潮流などには、狭義の固有名詞や事実ではないものが多いが、複数の例や内容を一般化・抽象化したような名詞はなるべく概念用語と考える一方で、その中の個別の例や要素は概念ととらえなかったケースも多い。

## 第1部会・用語精選WG

# 用語精選案の精選基準と区分・配列方法

## 1. 用語精選の基準について

今回の精選の大前提＝肥大化した教科書本文の用語を削減  
→叙述・考察に必要な概念用語を盛り込む

### A. 選定する用語の基準

- ①政治体制や社会経済を叙述する上で必要と判断したもの
- ②文化史用語について…宗教・主義思想・人物・作品・建造物・○○時代  
「文化は社会の鑑である」という考え、文化の政治性を考慮して、当時の社会が見えるもの、社会や世相を代表するもの、現代社会に通じるものを精選し必要最低限の用語を残す。また、世界遺産についても配慮する。
- ③歴史上必要な地理的用語(地域名、首都名、政治的・軍事的・社会経済に関する叙述に必要な地名)
- ④現代社会に通じる事項はできる限り入れる
- ⑤「歴史総合」との関連
  - ・世界史と日本史の関連用語や接点となる用語は入れていく。
  - ・最現代史に必要な概念用語を取り入れる。
- ⑥グローバルな視点、公民科の教養との関連用語→概念用語の採用
- ⑦一般用語について説明で用語としないものと用語として残すものを逐次検討する。
- ⑧単元を越えて重複する用語の扱いは、なるべく叙述で用語増加を抑えるものとする。
- ⑨ジェンダーに関する用語について  
家族制度、宗族、婚姻、性別による社会生活上の役割などについては概念用語を用い、後は叙述で行うものとする。
- ⑩概念用語や物（産物や商品）の名前の積極的導入
- ⑪環境史に関する用語について、気候変動・自然災害(水害・気候による災害・火山噴火)・人災・疫病など歴史への影響を考慮して厳選して入れていく。

### B 削減したり置き換えたりする用語の基準

- ①人名はできる限り削減する方向とする。
- ②膨大な文化史用語の削減  
時代別・分野ごとに機械的に用語を入れていくことはやめる。1人の人物に対して作品名は、現代にも人口に膾炙したもの、社会への影響などを考慮して絞っていく(できる

限り 1 人物 1 作品まで)。

その他の事象・建造物についても必要最低限・代表的なものだけに絞り込む。

- ③人口に膾炙している用語、高校歴史用語として定着しているものであっても、近年の研究で評価が変化し、適切ではないまたは重要ではないと判断された用語は削除したり置き換えを行うものとする。外国の名辞で片仮名表記や訳語が不適切もしくははいたずらに難解だったものも、やはり置き換えを行う。

例)「貞観の治」「開元の治」「タラス河畔の戦い」「守護大名」「惣無事令」「討幕の密勅」→削除

「ギリシア正教会」→「正教会」に置き換える。「贖宥状」→免罪符に戻す

- ④従来の各教科書で出てきた歴史学説で使用されている用語や地域を表す用語の中で、地理科目との整合性を考慮し、共通した適切な叙述と用語に置き換えたり、削除を行う。

例)「胡漢融合国家」「拓跋国家」「中央ユーラシア」

- ⑤〇〇の廃止・〇〇遠征・〇〇へ出兵・〇〇独立というような表現のものは、「〇〇を廃止した」「〇〇に遠征した」などと書けばよいので、原則として、もとの〇〇と別の用語としてカウントはしない。

例)「ナントの勅令廃止」(←ナントの勅令(王令))、「高句麗遠征」(←高句麗)、「台湾出兵」(←台湾)、「ビザンツ帝国の滅亡」(←ビザンツ帝国)、「科挙廃止」(←科挙)、「南北朝の合体」(←南北朝)

- ⑥同じ語句からの派生語がある場合や、事象について複数の呼び方が教科書に掲載されているような場合は、なるべく別々にカウントはせず、必要に応じてそれらを併記する。

例)「奴隸(奴隸制)」「現生人類(ホモ=サピエンス)」「綿布(綿織物)」

## 2. 用語精選案の区分・配列について

### A 全体を大きく三つに区分した。

1. 歴史の基礎概念：世界史・日本史に共通する歴史の基礎的術語や一般的・通時代的なテーマ・キーワードを掲載
2. 世界史用語...第 I 部(近世まで)、第 II 部(近現代)に分けて掲載
3. 日本史用語...第 I 部(原始・古代)、第 II 部(中世)、第 III 部(近世)、第 IV 部(近現代)に分けて掲載

### B 用語の階層関係への配慮

用語の階層関係をわかりやすくするため、特定の時代・領域に関する用語リストの中でも、関連する上位レベルの基礎用語やキーワードを掲載している場合が多い(凡例参照)。

# 1. 歴史の基礎概念 (192 語)

\* (a)歴史を学ぶ際の基礎的な術語、(b)歴史で扱う主要なテーマ、(c)特定の時代や地域だけでなく世界史・日本史の色々な部分に関連するキーワード的な語句（概念的な語句と物や商品を表す用語を含む）を列挙した。

\* 「一般常識」に属するものも多いこれらの語句は、すべてを用語として教科書に掲載することを想定しているわけではないが、これらに関連した内容の教科書記述や入試の出題が現におこなわれていることが示すように、史実を整理し一般化・抽象化して理解・思考するためには、こうした概念やキーワードが必要と考えられるのである。また(c)を中心に、世界史・日本史それぞれの用語リストに掲載された用語も含まれている（両方に掲載された用語の表示法は、世界史・日本史リストの凡例を見よ）。それらは特に、教科書本文への掲載が必要で、入試での出題も可能と想定されるものである。

学習内容	用語
a.歴史の基礎用語	歴史、文学、哲学、世界史、歴史学（近代歴史学）、歴史教育（歴史学習）、時間と時代、紀年法、西暦、紀元前と紀元後、世紀、千年紀、年号、先史時代と歴史時代、資料（史料）、文字史料、文書、金石文、考古学、遺物・遺跡、民族学（民俗学）、神話・伝説（伝承）、図像・映像、記憶と証言、史料批判、実証、言説、歴史叙述
b.歴史の主なテーマ	人類、環境、災害、病気、気候変動、社会、文化・文明、言語、技術、人種、語族、民族、地域、ネットワーク、暮らし（生活）、衣食住、経済、生産・消費、狩猟・採集・漁労、農業（農耕、農耕社会）、牧畜、交換・流通、貨幣、商業、交易・貿易、交通・輸送、ライフサイクル、共同体、家族・親族、ジェンダー、人口、人の移動、移民、村（村落）、都市、国家、政治、支配と服従・抵抗、法と制度、官僚制、身分（身分制）と階級、租税、外交、軍事と戦争、文字、度量衡、暦（暦法）、文化遺産（文化財）、芸術・芸能、宗教・思想、科学、教育、情報、コミュニケーション、通訳と翻訳、異文化接触、文化変容、アイデンティティ、他者認識
c.時代・地域を越えた歴史のキーワード	自然災害、人災、環境汚染、環境破壊、伝染病（感染症）、温暖化、寒冷化、エネルギー、文化圏、地域世界、グローバル化、アジア間貿易（アジア域内貿易）、性別分業、婚姻、外戚、都市国家、港市（港市国家）、領域国家、市民、首長、君主、元首、王、王朝、王国（王政）、皇帝、帝国（帝政）、民主政（民主政治）、共和政、中間団体（社団）、革命、改革、豪族、貴族、知識人（文人）、文官、軍、軍人（武人、武士）、傭兵、農民、地主、小作人、商人、職人、奴隸（奴隸制）、被差別民、人身売買、専売制、労役、兵役、表音文字、表意文字、太陰暦、太陽暦、太陰太陽暦、天文学、葬儀（葬制、墓葬）、祖先崇拜、民間信仰、一神教、多神教、世界宗教、預言者、聖職者、聖典（経典）、偶像崇拜、巡礼、大学、伝統文化・伝統社会、コスモポリタニズム、リングア=フランカ [以上概念系用語] 稲（米）、小麦、ジャガイモ、トウモロコシ、塩、砂糖、香薬（香料、香辛料）、酒、茶、タバコ、コーヒー、アヘン、ゴム、馬、羊、牛、ラクダ、毛皮、銅、銀、金、鉄、スズ、石炭、石油、絹、綿花、綿布（綿織物）、毛織物、紙、陶磁器、船、車（車両）、火砲 [以上物や商品を表す用語]

## 2. 世界史用語 (1643 語)

- 凡例**
- ① I・II 部それぞれの冒頭に、部全体に関連する概念・キーワードを掲載した。
  - ② その後に便宜的に、採択率の高い山川出版社『詳説世界史 B』新版 (2012 年検定済み) の章立てに従って用語を配列した (ただし一部改変)。各章の冒頭にもやはり、章全体に関わる概念・キーワードを掲載した。
  - ③ 各章の中は、単元、学習内容、項目、歴史用語の 4 レベルに分けて、大テーマから個々の用語に至る階層性を示そうとした。
  - ④ 個々の章や項目に関連する用語をなるべくもれなく示すため、前の章や項目で既出の用語、各レベルのキーワードで挙げられた用語なども、必要に応じて再掲した。そのうち上位レベルにも出ている用語には、符号を付した。(a)~(c)は 1「歴史の基礎概念」の用語区分を示し、(d)(e)は本世界史用語リストの I 部または II 部冒頭に掲載された時代のキーワードを示す。また(f)は各章のキーワードを示す。
  - ⑤ 他にも、章のキーワード同士、各事項の下の歴史用語同士など、同じレベルで複数回出現する用語がある (概念だけでなく人名などにもある)。その用語は 2 回目以降に掲載する際に斜字体にした。
  - ⑥ 概念系用語には二重下線を引いた。

### 第 I 部 近世までの世界史

d.近世までで個々の時代・地域を越えるキーワード (42 語) (1 (c) に挙げたものは省略)			古代、 <u>中世</u> 、 <u>氏族</u> 、 <u>部族</u> 、 <u>手工業</u> 、 <u>遠隔地貿易</u> 、 <u>祭政一致 (神権政治)</u> 、 <u>世界帝国</u> 、 <u>馱伝制</u> 、 <u>キリスト教</u> 、 <u>賤民</u> 、 <u>宦官</u> 、 <u>異端</u> 、 <u>三教 (東アジア)</u> 、 <u>騎馬遊牧民</u> 、 <u>シルクロード</u> 、 <u>東西交流</u> 、 <u>遊牧国家</u> 、 <u>港市国家</u> 、 <u>中華文明圏 (中華世界)</u> 、 <u>華夷思想</u> 、 <u>攘夷</u> 、 <u>正史</u> 、 <u>朝貢</u> 、 <u>朝貢貿易</u> 、 <u>冊封</u> 、 <u>互市</u> 、 <u>科挙</u> 、 <u>小中華 (帝国)</u> 、 <u>イスラーム</u> 、 <u>イスラーム世界</u> 、 <u>中世温暖期</u> 、 <u>諸侯</u> 、 <u>荘園 (制)</u> 、 <u>封建制 (封建社会)</u> 、 <u>領主 (制)</u> 、 <u>14 世紀の危機</u> 、 <u>近世</u> 、 <u>大航海時代 (大交易時代)</u> 、 <u>コロンブスの交換</u> 、 <u>小氷期</u> 、 <u>17 世紀の危機</u>
<b>序章 先史の世界</b> (18 語)			<b>キーワード</b> (章の用語が少ないので省略)
単元	学習内容	項目	歴史用語
	人類の出現と文明の誕生	人類の出現  文明の誕生	<u>地質年代</u> 、 <u>氷河期</u> 、 <u>人類 (b)</u> 、 <u>直立二足歩行</u> 、 <u>言語 (b)</u> 、 <u>化石人類</u> 、 <u>現生人類 (新人、ホモ=サピエンス)</u> 、 <u>埋葬の風習</u> 、 <u>石器</u>  <u>旧石器時代</u> 、 <u>打製石器</u> 、 <u>狩猟・漁労・採集 (b)</u> 、 <u>新石器時代</u> 、 <u>磨製石器</u> 、 <u>土器</u> 、 <u>灌漑農業</u> 、 <u>銅 (c)</u> 、 <u>青銅器</u> 、 <u>鉄 (c)</u> 、 <u>鉄器</u> 、 <u>文化・文明 (b)</u> 、 <u>氏族 (d)</u> 、 <u>部族 (d)</u> 、 <u>母系制</u> 、 <u>父系制</u> 、 <u>双系制</u> 、 <u>人種 (b)</u> 、 <u>語族 (b)</u> 、 <u>民族 (b)</u>
<b>第 1 章 オリентと地中海世界</b> (131 語)			<b>キーワード</b> : <u>オリент世界</u> 、 <u>地中海世界</u> 、 <u>都市国家 (c)</u> 、 <u>世界帝国 (d)</u> 、 <u>一神教 (c)</u> 、 <u>善悪二元論</u> 、 <u>メシア (思想)</u> 、 <u>ディアスポラ</u> 、 <u>直接民主政</u> 、 <u>共和政 (c)</u> 、 <u>奴隷制 (c)</u> 、 <u>古典古代</u> 、 <u>ユダヤ教</u> 、 <u>キリスト教 (d)</u>
単元	学習内容	項目	歴史用語

オリエント世界	メソポタミアとエジプト	オリエントと地中海 メソポタミア文明  エジプト文明	オリエント (世界) (f)、地中海 (世界) (f)、農業 (b)、牧畜 (b)、麦 (c)、オリーブ、ブドウ メソポタミア、ティグリス・ユーフラテス川、シュメール人、 <u>神権政治</u> (c)、 <u>都市国家</u> (c、f)、 <u>階級</u> (b)、バビロン、ハンムラビ法典、「目には目を、歯には歯を」、 <u>多神教</u> (c)、 <u>楔形文字</u> 、 <u>六十進法</u> 、 <u>太陰暦</u> (c)、 <u>太陰太陽暦</u> (c)、1週7日制 エジプト、ナイル川、ファラオ、ラー、死者の書、ミイラ、ピラミッド、 <u>太陽暦</u> (c)、神聖文字、ロゼッタストーン、パピルス
	オリエントの新しい動き	インド＝ヨーロッパ語族 セム系民族	ヒッタイト、鉄 (c)、馬(c)  アラム人、アラム文字、ダマスクス、フェニキア人、カルタゴ、フェニキア文字 (アルファベット)、パレスチナ、ヘブライ人、ユダヤ人、モーセ、イェルサレム、バビロン捕囚、ディアスポラ (f)、ユダヤ教 (f)、 <u>一神教</u> (c、f)、ヤハウエ、 <u>メシア (思想)</u> (f)、 <u>預言者</u> (c、f)、旧約聖書
	オリエント世界の統一	アッシリア帝国 四王国 ペルシア帝国	<u>世界帝国</u> (d、f)、アッシリア  金属貨幣 アカイメネス朝、ペルシア、ペルセポリス、ダレイオス1世、サトラップ、 <u>駅伝制</u> (d)、ゾロアスター教、 <u>善悪二元論</u> (f)、 <u>最後の審判</u>
	イラン民族の発展	アレクサンドロスとその後 パルティア ササン帝国	アレクサンドロス (大王)、セレウコス朝、  パルティア ササン朝、ホスロー1世、マニ教
ギリシア世界	ギリシア世界の成立	エーゲ文明 ポリスの形成	エーゲ文明、クレタ文化、ミケーネ文化 ギリシア人、ポリス、オリュンピア競技祭、 <u>植民市</u>
	民主政の成立	スパルタ アテネ	スパルタ アテナイ、 <u>重装歩兵</u> 、ペルシア戦争、 <u>市民</u> (c)、ペリクレス、 <u>僭主政</u> 、 <u>民主政</u> (c)、 <u>直接民主政</u> (f)、民会、 <u>奴隸制</u> (c、f)
	ギリシア世界の変化とギリシア文化	ギリシアの変質 ギリシア文化	ペロポネソス戦争、 <u>傭兵</u> (c)  <u>多神教</u> (c)、オリュンポス12神、ホメロス、『イリアス』、 <u>自然哲学</u> 、ソクラテス、プラトン、アリストテレス、ヘロドトス、『歴史』、トゥキディデス、『歴史』、パルテノン、ソフィスト
	ヘレニズム世界	ヘレニズム時代 ヘレニズム文化	マケドニア、アレクサンドロス (大王)、東方遠征、プトレマイオス朝、セレウコス朝、ヘレニズム アレクサンドリア、エウクレイデス、アルキメデス、コイナー、「ミロのヴィーナス」
	ローマの発展	共和政の成立	ローマ、 <u>共和政</u> (c)、元老院、コンスル、平民会、護民官、 <u>重装歩兵</u> 、カルタゴ、ポエニ戦争

ローマ世界		共和政の変質	属州、 <u>奴隷制</u> (c、f)、ローマ市民権、カエサル
	ローマ帝国の盛衰	帝政の成立と発展 帝政の変質	オクタウィアヌス (アウグストゥス)、 <u>元首</u> (c)、帝政ローマ、パクス=ローマーナ、 <u>季節風貿易</u> 、3世紀の危機、軍人皇帝時代、コンスタンティヌス、コンスタンティノーブル、ゲルマン人、西ローマ帝国
	ローマ文化とキリスト教	ローマの文化  キリスト教の発展	<u>古典古代</u> (f)、ラテン文字 (ローマ字)、『ガリア戦記』、タキトゥス、『ゲルマニア』、プルタルコス、『対比列伝』、プトレマイオス、ローマ法、『ローマ法大全』、ユスティニアヌス、コロッセウム、ユリウス暦、グレゴリウス暦 ユダヤ教、 <u>メシア</u> (f)、イエス (キリスト)、キリスト教 (d,f)、パウロ、『新約聖書』、コンスタンティヌス、三位一体説、 <u>異端</u> (d)、コプト教会
<b>第2章 アジア・アメリカの古代文明</b> (127語)			<b>キーワード</b> ：南アジア世界、 <u>多神教</u> (c)、 <u>解脱</u> 、仏教、ヒンドゥー教、東南アジア世界、東アジア世界、 <u>天下の観念</u> 、儒学 (儒教)、漢字、 <u>中華文明圏</u> ( <u>中華世界</u> ) (d)、アメリカ先住民
単元	学習内容	項目	歴史用語
南アジア世界	インド文明の成立	南アジアの風土 インダス文明  アーリヤ人の社会	南アジア世界 (f)  インダス川、インダス文明、モエンジョ=ダロ、インダス文字 アーリヤ人、ガンジス川、ヴェーダ、ヴァルナ、 <u>カースト</u> 、バラモン、クシャトリヤ、ヴァイシヤ、シュードラ、不可触民、バラモン教
	仏教の成立と発展	新しい宗教の成立 マウリヤ朝の統一 クシャーナ朝	ガウタマ=シッダールタ (ブッダ)、仏教 (f)、 <u>解脱</u> (f)、ジャイナ教、 <u>ゼロの概念</u> マウリヤ朝、アショーカ王、仏典結集、 <u>ダルマ</u>  クシャーナ朝、カニシカ王、ガンダーラ美術、上座部仏教、大乘仏教、菩薩信仰
	ヒンドゥー教社会の形成	南インドの国家 グプタ朝と古典文化  ヴァルダナ朝以降	サータヴァーハナ朝、綿布 (c)  グプタ朝、チャンドラグプタ 2世、サンスクリット語、ナーランダー僧院、アジャンター石窟寺院、『マヌ法典』、ヒンドゥー教 (f)、シヴァ神、ヴィシュヌ神、『マハーバーラタ』、『ラーマーヤナ』 密教
東南アジア世界	東南アジアの諸文明	東南アジアの風土 大陸部の国々 諸島部の国々	東南アジア世界(f)、東南アジア大陸部、東南アジア諸島部 (群島部、島嶼部)、香辛料 (c) チャンパー、扶南、 <u>港市国家</u> (c) シュリーヴィジャヤ、シャイレンドラ朝、ボロブドゥール

中国の 古典文 明	中国文明 の誕生	東アジアの風 土 黄河文明 殷  周	黄河、長江、アワ、稲 (c)  仰韶文化、竜山文化、河姆渡遺跡、黄河文明、 <u>邑</u> 、夏、 殷 (商)、殷墟、甲骨文字、 <u>神権政治</u> (d)、 <u>天命</u> 、 <u>天子</u> 、 <u>易姓革命</u> <u>天下の観念</u> (f)、周、鎬京、 <u>封建制度</u> (d)、 <u>宗族</u>
	皇帝政治 の成立	春秋戦国時代 諸子百家  秦の統一	春秋戦国時代、「尊王攘夷」、青銅貨幣、牛 (牛耕) (c) <u>諸子百家</u> 、儒家、孔子、四書五経、孟子、墨子、道家、 老子、莊子、法家、孫子 秦、咸陽、 <u>皇帝</u> (c)、始皇帝 (秦王政)、 <u>郡県制</u> 、焚書・ 坑儒、長城、項羽、劉邦 (高祖)
	漢の盛衰	漢の成立 武帝の時代  漢の衰退 後漢の成立と 衰退	漢 (前漢)、長安 武帝、匈奴、張騫、西域、 <u>専売</u> (c)、鉄 (c)、塩 (c)、 酒 (c) <u>豪族</u> (c)、 <u>宦官</u> (d)、 <u>外戚</u> (c)、王莽、新 後漢、劉秀 (光武帝)、洛陽、班超、大秦、黄巾の乱
	漢の文化 と東アジ アの国際 関係	漢の文化  東アジアの国 際秩序 朝鮮半島 日本列島	儒学 (儒教) (f)、訓詁学、司馬遷、『史記』、紀伝体、 班固、『漢書』、漢字 (f)、木簡・竹簡、絹 (c)、陶磁 器 (c)、紙 (c) 東アジア世界 (f)、 <u>中華文明圏 (中華世界)</u> (d,f)、 <u>冊</u> <u>封</u> (d)、 <u>朝貢</u> (d) 楽浪郡 倭
南北ア メリカ の文明	アメリカ 大陸の古 文明  アメリカの先 住民 中央アメリカ の文明 南アメリカの 文明	アメリカ先住民 (f)、トウモロコシ(c)、ジャガイモ (c)、 サツマイモ、トマト、金 (c)、銀 (c)、青銅 マヤ文明、絵文字、 <u>天文学</u> (c)、アステカ帝国  アンデス文明、インカ帝国、 <u>駅伝制</u> (d)、キープ	
<b>第3章 内陸アジア・東アジア世界 の形成 (94 語)</b>			<b>キーワード</b> ：内陸アジア (中央ユーラシア) 世界、絹 の道 (シルクロード) (d)、 <u>騎馬遊牧民</u> (d)、遊牧国 家 (遊牧帝国) (d)、南朝・北朝、道教、律令 (国家体 制)
単元	学習内容	項目	歴史用語
内陸ア ジア・東 アジア 世界の 形成	内陸アジ アの風土 と民族	内陸アジアの 風土 遊牧国家とオ アシス国家  スキタイと匈 奴 突厥とウイグ ル	内陸アジア (中央ユーラシア) 世界、 <u>騎馬遊牧民</u> (d,f)、 羊 (c)、牛 (c)、馬 (c)、ラクダ (c)、 <u>草原の道</u> 、 <u>遊牧国家</u> (d,f)、 <u>オアシス都市 (都市国家)</u> 、 <u>隊商 (キ</u> <u>ャラヴァン) 交易</u> 、 <u>オアシスの道</u> 、絹の道 (シルクロ ード) (f)、製鉄技術、 スキタイ、匈奴、冒頓単于、柔然、エフタル  突厥、突厥文字、ウイグル、ソグド人

中国の分裂時代	政治的分裂 社会経済の変化 文化の形成	魏晋南北朝、 <u>三国時代</u> 、 <u>六朝</u> 、曹操、魏、劉備、蜀、孫権、呉、晋（西晋）、鮮卑、東晋、建康、 <u>五胡十六国</u> 、北魏、拓跋氏、 <u>南朝・北朝</u> (f) 洛陽、九品中正、均田制、 <u>門閥貴族</u> 、江南の開発 陶潜、『文選』、王羲之、仏典の漢訳、敦煌、雲崗、竜門、老荘思想、神仙思想、清談、道教 (f)、寇謙之、四六駢儷体、『三国志』
律令国家の成立	隋の統一 唐の成立 唐代の制度	隋、楊堅、科挙 (d)、煬帝、大運河 唐、李世民 (太宗)、長安 三省六部、律・令・格・式、則天武后 (武則天)、玄宗、 <u>均田制</u> 、租庸調、府兵制、 <u>冊封</u> (d)、 <u>羈縻政策</u>
律令国家の動揺	唐の衰退 唐の経済 唐の文化 周辺諸国	募兵制、節度使、安祿山、安史の乱、ウイグル、吐蕃、兩税法、黄巢の乱、 <u>塩</u> (専売) (c) 広州、市舶司 唐詩、李白、杜甫、白居易、山水画、唐三彩、玄奘、『大唐西域記』、義浄、『南海寄帰内法伝』、密教、禪宗、浄土宗、 <u>三教</u> (d)、 <u>正史</u> (d) 渤海国
朝鮮半島と日本列島	朝鮮半島 日本列島	高句麗、新羅、百済 「魏志倭人伝」、邪馬台国、卑弥呼、ヤマト政権、倭の五王、白村江の戦い、 <u>律令国家体制</u> (f)、奈良時代、平城京

#### 第4章 イスラーム世界の形成と発展 (61語)

**キーワード:** イスラーム世界 (d)、イスラーム教 (d)、ムハンマド、アッラー、『クルアーン (コーラン)』、メッカ、カリフ、スルタン、アラビア語

単元	学習内容	項目	歴史用語
イスラーム世界の形成	イスラーム世界の形成	イスラームの誕生 イスラームの特色	メッカ (マッカ) (f)、ムハンマド (f)、メディナ、ヒジュラ <u>預言者</u> (c)、イスラーム教 (d,f)、アッラー (f)、イスラーム暦 (ヒジュラ暦)、 <u>ウンマ</u> 、イスラーム世界 (d,f)、ムスリム、『 <u>クルアーン</u> (コーラン)』 (f)
	イスラーム帝国の成立と発展	正統カリフ時代 ウマイヤ朝 アッバース朝	カリフ (f)、正統カリフ、アリー ウマイヤ朝、 <u>啓典の民</u> 、ジズヤ、ハラージュ、シーア派、スンナ派 アッバース朝、バグダード、ハールーン=アッラシード、マムルーク
イスラーム世界の発展	イスラームの諸王朝	イベリア半島 マグリブ エジプト 中央アジア	後ウマイヤ朝、コルドバ、アルハンブラ宮殿、グラナダ マグリブ ファーティマ朝、カイロ、アズハル学院、サラディン (サラーフ=アッディーン)、マムルーク朝 ブワイフ朝、セルジューク朝、スルタン (f)
	イスラームの経済と社会	経済 社会	バザール ウラマー、ワクフ、モスク、マドラサ、 <u>シャリーア</u>

	南アジア・東南アジア・アフリカのイスラーム化	南アジア 東南アジア アフリカ	アイバク、デリー＝スルタン朝、スーフィズム マラッカ王国 ガーナ王国、マリ王国、マンサ＝ムーサ、トンブクトゥ、ジンバブエ遺跡、マリンディ、スワヒリ語、金 (c)、岩塩
	イスラームの文化	特色 美術 人文科学  自然科学	アラビア語 (f) アラベスク イブン＝ハルドゥーン、『世界史序説』、イブン＝バットゥータ、『大旅行記』、『千夜一夜物語』、ウマル＝ハイヤーム <u>ゼロの概念</u> 、アラビア数字、イブン＝シーナー
<b>第5章 ヨーロッパ世界の形成と発展 (75語)</b>			<b>キーワード</b> ：ヨーロッパ世界、ゲルマン人、キリスト教 (d)、教皇、 <u>封建社会</u> (d)、 <u>中世温暖期</u> (d)、 <u>14世紀の危機</u> (d)、 <u>選挙王制</u> 、 <u>身分制議会</u>
単元	学習内容	項目	歴史用語
ヨーロッパ世界の形成	ヨーロッパ世界の風土と民族	ケルト人の登場 ゲルマン人の登場	ケルト人  ゲルマン人 (f)、ヨーロッパ世界(f)
	フランク王国の発展と分裂	フランク王国の成立 フランク王国の発展 フランク王国の分裂	フランク王国、クローヴィス、キリスト教(d)、カロリング朝、教皇領、  カール大帝、 <u>皇帝</u> (c)  オットー1世、神聖ローマ帝国、カペー朝、パリ
	ローマ＝カトリック教会	教会の成立 教皇権の伸展	ローマ＝カトリック教会、教皇 (f)、修道院、托鉢修道会 聖職叙任権、 <u>破門</u> 、インノケンティウス3世
	外部勢力の侵入と封建社会	ノルマン人 封建社会の成立	ノルマン人、ヴァイキング、キエフ公国、ノルマンディー公国、ノルマン朝、イングランド王国、ロンドン <u>封建社会</u> (d)、諸侯 (d)、騎士、 <u>領主</u> (d)、 <u>荘園</u> (d)、農奴、直営地、労役 (c)、 <u>中世温暖期</u> (d,f.)、 <u>三圃制</u>
	ビザンツ帝国と東ヨーロッパ	ビザンツ帝国 東ヨーロッパ諸国	ビザンツ帝国、コンスタンティノーブル、聖像禁止令、イコン、正教会、ハギア＝ソフィア聖堂 スラヴ人、ヤゲヴォ朝、選挙王制 (f)、モスクワ、キリル文字
ヨーロッパ世界の発展	十字軍と商業の発展	十字軍 商工業の発展	十字軍、イェルサレム王国、騎士修道会 (宗教騎士団) <u>遠隔地商業</u> (d)、東方貿易、北海・バルト海貿易、 <u>定期市</u> 、 <u>自治権</u> 、フランドル、ハンザ (同盟)、 <u>ギルド</u> 、毛織物 (c)
	教皇権の衰退と封建社会の崩壊	教皇権の衰退 封建社会の崩壊	フィリップ4世、アヴィニョン、教会大分裂、フス黒死病、14世紀の危機 (d、f)、 <u>農民反乱</u>
	中央集権国家の形	イギリス	プランタジネット朝、大憲章 (マグナ・カルタ)、 <u>身分制議会</u> (f)

	成	フランス 百年戦争	三部会、ヴァロワ朝、 百年戦争、ジャンヌ＝ダルク、テューダー朝
	南欧・中 欧	イベリア半島  ドイツ イタリア	再征服運動（レコンキスタ）、スペイン王国、ポルトガル王国 <u>領邦</u> 、ハプスブルク家 <u>都市共和国</u>
	中世文化	学問  美術	リング＝フランカ（c）、ラテン語、大学（c）、神学、スコラ哲学、トマス＝アキナス ロマネスク様式、ゴシック様式
<b>第6章 内陸アジア世界・東アジア世界の展開</b> （87語）			<b>キーワード：</b> 唐宋変革、 <u>科挙</u> （d）、「 <u>国風文化</u> 」、 <u>武人</u> （ <u>武士</u> ）（c,d）、 <u>遠隔地交易</u> （d）、モンゴル時代、東西交流（d）、 <u>14世紀の危機</u> （d）
内陸アジア・東アジア世界の展開	内陸アジア諸民族と宋	中央ユーラシアの動向 遼と西夏  唐宋変革	トルキスタン  キタイ（契丹）、遼、燕雲十六州、澶淵の盟、契丹文字、タングート、西夏、西夏文字、西遼、 <u>絹</u> （c）、 <u>銀</u> （c）、 <u>藩鎮</u> 、朱全忠、五代十国、宋（北宋）、趙匡胤、開封 <u>文治主義</u> 、 <u>科挙</u> （d）、 <u>殿試</u> 、 <u>官僚制</u> （b）、士大夫、王安石、司馬光
	金と南宋および周辺国家	金と南宋 朝鮮半島 日本列島  東南アジア	南宋、杭州（臨安）、女真、金、女真文字 高麗、高麗版大藏經、金属活字 平安時代、平安京、「 <u>国風文化</u> 」（f）、仮名、武士（c,d,f）、宋銭、鎌倉時代 大越、李朝、陳朝、チューノム（字喃）、パガン朝、マジャパヒト王国
	中国の社会と文化	社会・経済文化	<u>市舶司</u> 、 <u>鎮</u> 、 <u>行</u> 、銅銭、交子、米（c）、茶（c） 朱子学（宋学）、朱熹、「 <u>華夷の区別</u> 」（華夷思想）（d）、『資治通鑑』、編年体、詞、青磁、白磁、火薬、羅針盤、木版印刷
	モンゴル世界帝国の成立	モンゴル帝国の成立 モンゴル帝国の発展	モンゴル帝国、クリルタイ、チンギス＝ハン（テムジン）、ハン（カン）、千戸制 ハーン（カーン）、オゴタイ（オゴデイ）、カラコルム、バトゥ、フレグ（フラグ）、イル＝ハン国（フレグ＝ウルス）、キプチャク＝ハン国（ジョチ＝ウルス）、チャガタイ＝ハン国（チャガタイ＝ウルス）、モンゴル時代（f）
	モンゴルによる世界の一体化	元の成立  元の文化と東西交流	フビライ（クビライ）、大都、元（大元ウルス）、色目人、 <u>駅伝制</u> （d）、交鈔、白蓮教、紅巾の乱、 <u>14世紀の危機</u> （d,e） 東西交流（d,f）、遠隔地交易（d,f）、マルコ＝ポーロ、『世界の記述』、モンテ＝コルヴィノ、パクパ（パスパ）文字、チベット仏教、授時暦、元曲、染付（青花）、ラシード＝ウッディーン、『集史』
<b>第7章 アジア諸地域の繁栄</b> （102語）			<b>キーワード：</b> <u>近世</u> （d）、 <u>倭寇</u> 、 <u>海禁＝朝貢体制</u> 、 <u>大航海時代</u> （ <u>大交易時代</u> ）（d）、 <u>銀</u> （c）、 <u>アジア間貿易</u> （c）、 <u>小中華</u> （d）、「 <u>鎖国</u> 」、 <u>17世紀の危機</u> （d）、 <u>勤勉革命</u> 、「 <u>貧困の共有</u> 」、華僑・華人

単元	学習内容	項目	歴史用語
明・清時代と東アジア・東南アジア	明の盛衰	明の成立	明、朱元璋（洪武帝）、一世一元の制、南京、六部の直轄化、六諭
		明の発展	永楽帝、鄭和、 <u>海禁＝朝貢体制</u> (f)、 <u>朝貢貿易</u> (d)、 <u>冊封</u> (d)、北京、内閣
		明の衰退 明の滅亡	<u>倭寇</u> (f)
	清の繁栄	清の成立	女真、ヌルハチ、薬用人参、毛皮 (c)、満洲、八旗、ホンタイジ、清
		清の拡大と対外関係	呉三桂、北京、三藩の乱、鄭成功、康熙帝、ネルチンスク条約、ジュンガル、雍正帝、乾隆帝、新疆、 <u>互市</u> (d)
		統治体制	藩部、 <u>辮髪</u>
明清時代の社会と経済	経済	銀 (c,f)、一条鞭法、地丁銀、景德鎮、会館・公所、綿花(c)、綿織物 (c)、生糸、茶 (c)、 <u>アジア間貿易</u> (c,f)、トウモロコシ (c)、サツマイモ、メキシコ銀、 <u>陶磁器</u> (c)	
	社会	<u>地主</u> (c)、 <u>小作人</u> (c)、 <u>勤勉革命</u> (f)、 <u>貧困の共有</u> (f)	
明清時代の文化	明の文化	朱子学、陽明学、「永楽大典」、『水滸伝』、『三国志演義』、『西遊記』	
	清の文化 イエズス会宣教師	『康熙字典』、「四庫全書」、考証学 円明園、典札問題	
朝鮮半島と日本列島	朝鮮半島	朝鮮（朝鮮王朝、李朝）、李成桂、漢陽、世宗、訓民正音、 <u>両班</u>	
	日本列島	琉球王国、室町幕府、足利義満、勘合貿易、火砲 (c)、日本銀、フランシスコ＝ザビエル、豊臣秀吉、朝鮮侵攻、徳川家康、朱印船、日本町、江戸幕府、「 <u>鎖国</u> 」(f)、長崎、朝鮮通信使、アイヌ	
東南アジア・チベットと海域世界	東南アジア チベット	<u>マラッカ王国</u> <u>ダライ＝ラマ</u> 、チベット仏教	
西アジア・南アジアの近世帝国	南アジアの近世帝国	ティムール帝国の興亡	ティムール、ティムール帝国、サマルカンド
		ムガル帝国の盛衰	ムガル帝国、バーブル、アクバル、アウラングゼーブ、ヴィジャヤナガル王国、マラータ王国、シク教、ヒンディー語、ウルドゥー語、タージ＝マハル、綿布 (c)
	東南アジアの諸国家	タウンゲー朝、コンバウン朝、アユタヤ朝、ラタナコーシン朝、黎朝、西山反乱、阮朝、アチェ王国、マタラム王国、 <u>香辛料</u> (c)、 <u>華僑・華人</u> (f)	
西アジアの近世帝国	オスマン帝国の成立と発展 サファヴィー朝の興隆	オスマン帝国、メフメト 2 世、イスタンブル、スレイマン 1 世、イエニチェリ サファヴィー朝、シャー、アッバース 1 世、イスファハーン、ウズベク族	
<b>第 8 章 近世ヨーロッパ世界の形成 (76 語)</b>			<b>キーワード：</b> <u>近世</u> (d)、 <u>大航海時代</u> (d)、「 <u>新大陸</u> 」、 <u>コロンブスの交換</u> (d)、 <u>近代世界システム</u> (e)、 <u>植民</u>

			<u>地</u> (e)、 <u>火砲</u> (c)、 <u>香辛料</u> (c)、 <u>銀</u> (c)、 <u>ルネサンス</u> 、 <u>人文主義</u> 、 <u>地動説</u> 、 <u>宗教改革</u> 、 <u>宗教戦争</u> 、 <u>主権国家</u> (e)、 <u>絶対王政</u> 、 <u>特許会社</u> 、 <u>東インド会社</u> 、 <u>17世紀の危機</u> (d)、 <u>小氷期</u> (d)
単元	学習事項	項目	歴史用語
近世ヨーロッパの形成	ヨーロッパ世界の拡大	ポルトガルの海外進出 スペインの海外進出とアメリカ大陸支配 ヨーロッパとアメリカ大陸の接触	ヴァスコ＝ダ＝ガマ、モルッカ (マルク) 諸島、 <u>香辛料</u> (f)、 <u>ゴア</u> 、 <u>マカオ</u> 、 <u>ブラジル</u> 地球球体説、 <u>コロンブス</u> 、 <u>アメリゴ＝ヴェスプッチ</u> 、 <u>「新大陸」</u> (f)、 <u>マジラン</u> 、 <u>太平洋</u> 、 <u>フィリピン</u> 、 <u>植民地</u> (e,f)、 <u>インディオ</u> 、 <u>ポトシ銀山</u> 、 <u>黒人奴隷</u> 、 <u>大航海時代</u> (d,f)、 <u>世界商品</u> (e)、 <u>火砲</u> (c,f)、 <u>銀</u> (c,f)、 <u>商業革命</u> 、 <u>価格革命</u> 、 <u>「コロンブスの交換」</u> (d,f)、 <u>近代世界システム</u> (e,f)
	ルネサンス	イタリア＝ルネサンス  他のルネサンス 科学技術の発達	<u>ルネサンス</u> (f)、 <u>メディチ家</u> 、 <u>人文主義</u> (f)、 <u>ダンテ</u> 、 <u>マキャヴェリ</u> 、 <u>サン＝ピエトロ大聖堂</u> 、 <u>レオナルド＝ダ＝ヴィンチ</u> 、 <u>ミケランジェロ</u> <u>エラスムス</u> 、 <u>セルバンテス</u> 、『 <u>ドン＝キホーテ</u> 』、 <u>トマス＝モア</u> 、『 <u>ユートピア</u> 』、 <u>シェークスピア</u> <u>活版印刷</u> 、 <u>コペルニクス</u> 、 <u>地動説</u> (f)
	宗教改革	ルターの宗教改革  カルヴァン派  イギリス国教会 カトリック勢力の反撃	<u>宗教改革</u> (f)、 <u>免罪符</u> (贖宥状)、 <u>マルティン＝ルター</u> 、 <u>カール5世</u> 、 <u>プロテスタント</u> 、 <u>アウクスブルクの宗教和議</u> <u>カルヴァン</u> 、 <u>ジュネーヴ</u> 、 <u>予定説</u> 、 <u>ピューリタン</u> 、 <u>ユグノー</u> <u>ヘンリ8世</u> 、 <u>イギリス国教会</u> 、 <u>エリザベス1世</u> 、 <u>対抗宗教改革</u> 、 <u>イエズス会</u> 、 <u>イグナティウス＝ロヨラ</u> 、 <u>異端審問</u> (魔女狩り)
主権国家体制の成立	イタリア戦争とスペイン	<u>主権国家と絶対主義</u> <u>スペインの全盛期</u> <u>オランダの成立</u> <u>イギリスの海外進出</u>	<u>主権国家</u> (e,f)、 <u>イタリア戦争</u> 、 <u>絶対王政</u> (f)、 <u>王権神授説</u> 、 <u>官僚制</u> (b)、 <u>常備軍</u> <u>フェリペ2世</u> 、「 <u>太陽の沈まぬ国</u> 」  <u>ネーデルラント</u> 、 <u>オラニエ公ウィレム</u> 、 <u>特許会社</u> (f)、 <u>オランダ東インド会社</u> 、 <u>アムステルダム</u> <u>ジェントリ</u> 、 <u>囲い込み</u> (第1次)、 <u>羊毛</u> 、 <u>イギリス東インド会社</u> 、 <u>無敵艦隊</u>
	フランスとドイツの宗教戦争	フランスの内乱と王権強化 ドイツでの三十年戦争	<u>ユグノー戦争</u> 、 <u>ブルボン朝</u> 、 <u>ナントの王令</u> (勅令)、 <u>ルイ14世</u> <u>17世紀の危機</u> (d, f)、 <u>小氷期</u> (d,f)、 <u>三十年戦争</u> 、 <u>ウエストファリア条約</u>
<b>第9章 近世ヨーロッパ世界の展開</b> (62語)			<b>キーワード</b> ： <u>重商主義</u> 、 <u>立憲君主制</u> 、 <u>啓蒙専制君主</u> 、 <u>財政革命</u> 、 <u>科学革命</u> 、 <u>自然科学</u> 、 <u>啓蒙思想</u> (e)、 <u>自然法</u> 、 <u>社会契約説</u> (e)
単元	学習内容	項目	歴史用語
	イギリス	イギリス革命	<u>ピューリタン革命</u> (イギリス内乱)、 <u>ステュアート朝</u> 、

ヨーロッパ諸国の覇権争いと海外進出	での立憲王政の成立	イギリス議会議政治の確立	権利の請願、クロムウェル、 <u>共和政</u> (c)、アイルランド 審査法、人身保護法、名誉革命、権利の章典、 <u>立憲君主制</u> (f)、スコットランド、大ブリテン王国、議会議政治 (e)、 <u>責任内閣制</u> (e)
	フランス絶対王政とロシアの台頭	ルイ 14 世の時代 バルト海をめぐる対立	ルイ 14 世、ヴェルサイユ宮殿、 <u>重商主義</u> (f)、スペイン継承戦争 ツァーリ、シベリア、ロマノフ朝、ピョートル 1 世、ペテルブルク、北方戦争、スウェーデン
	東ヨーロッパでの啓蒙専制主義	プロイセン オーストリア  ロシア ポーランド	プロイセン、フリードリヒ 2 世、 <u>啓蒙専制君主</u> (f)、 <u>ユンカー</u> 、ベルリン オーストリア、マリア=テレジア、オーストリア継承戦争、 <u>外交革命</u> 、七年戦争、農奴解放令 (オーストリア) ラクスマン、エカチェリーナ 2 世、クリミア半島 ポーランド分割、
	ヨーロッパ諸国の覇権争い	イギリスとオランダの争い  イギリスとフランスの争い 大西洋三角貿易	オランダ東インド会社、長崎、バタヴィア、台湾、イギリス東インド会社、カルカット、ケープ植民地、イギリス=オランダ戦争 ルイジアナ、カナダ、 <u>財政革命</u> (e, f)  <u>大西洋三角貿易</u> 、 <u>プランテーション</u> (e)、砂糖 (c)、 <u>綿花</u> (c)、 <u>タバコ</u> (c)、 <u>黒人奴隷</u>
17・18 世紀の思想と文化	科学革命と啓蒙思想  科学革命	デカルト、カント、 <u>自然法</u> (f)、グロティウス、 <u>近代国際法</u> (e)、 <u>社会契約説</u> (e,f)、ホッブズ、「万人の万人に対する闘争」、ロック、 <u>啓蒙思想</u> (e,f)、モンテスキュー、 <u>三権分立</u> (e)、ルソー、『百科全書』、アダム=スミス、古典派経済学 <u>科学革命</u> (f)、自然科学(f)、ニュートン、万有引力の法則、博物学	

## 第 II 部 近現代の世界史

e.近現代で個々の時期を越えるキーワード (77 語) (1 - (c) に挙げたものは省略)	<u>近代</u> 、 <u>現代</u> 、 <u>近代化</u> 、 <u>近代科学</u> 、 <u>近代世界</u> (近代社会、近代文明)、 <u>近代世界システム</u> 、 <u>世界の一体化</u> 、 <u>地域統合</u> 、 <u>工業化</u> 、 <u>産業革命</u> 、 <u>輸入代替工業化</u> 、 <u>輸送・情報革命</u> 、 <u>資本主義</u> (体制)、 <u>大量生産・大量消費</u> 、 <u>労働者</u> (階級)、 <u>中間層</u> 、 <u>世界商品</u> 、 <u>植民地</u> (植民地支配)、 <u>プランテーション</u> 、 <u>モノカルチャー</u> 、 <u>アジア間競争</u> 、 <u>景気循環</u> 、 <u>世界恐慌</u> 、 <u>自由貿易</u> (政策、体制)、 <u>保護貿易</u> 、 <u>海外投資</u> (資本輸出)、 <u>国際労働力移動</u> 、 <u>経済</u> (貿易) 摩擦、 <u>低開発</u> 、 <u>資源・環境問題</u> 、 <u>人口問題</u> 、 <u>近代家族</u> 、 <u>都市化</u> 、 <u>大衆化</u> 、 <u>義務教育</u> 、 <u>マスメディア</u> 、 <u>覇権</u> (ヘゲモニー) 国家、 <u>近代国際法</u> 、 <u>主権国家</u> (体制)、 <u>帝国主義</u> 、 <u>バランス・オブ・パワー</u> (勢力均衡)、 <u>民族自決</u> (権)、 <u>社会契約</u>
--	--

			<u>説</u> 、 <u>立憲政治</u> 、 <u>市民革命</u> 、 <u>近代市民社会</u> 、 <u>基本的人権</u> 、 <u>自由主義</u> 、 <u>政教分離</u> 、 <u>国民</u> 、 <u>国民国家</u> 、 <u>ナショナリズム</u> 、 <u>国旗・国歌</u> 、 <u>三権分立</u> 、 <u>議会政治</u> 、 <u>普通選挙</u> 、 <u>政党政治</u> 、 <u>議院内閣制</u> （責任内閣制）、 <u>大統領制</u> 、「 <u>小さな政府</u> 」、「 <u>大きな政府</u> 」、 <u>近代戦争</u> 、 <u>世界大戦</u> 、 <u>難民</u> 、 <u>賠償</u> （戦争、災害など）、 <u>軍拡と軍縮</u> 、 <u>戦争違法化</u> 、 <u>政治・社会運動</u> 、 <u>啓蒙思想</u> 、 <u>進化論</u> 、 <u>人種主義</u> 、 <u>反ユダヤ主義</u> 、 <u>先住民</u> 、 <u>民族解放運動</u> 、 <u>社会主義</u> 、 <u>フェミニズム</u> （女性解放運動）、 <u>反戦</u> （平和） <u>運動</u>
<b>第10章 近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立</b> (42語)			<b>キーワード：</b> <u>工業化</u> (e)、 <u>資本主義</u> （体制）(e)、 <u>農業革命</u> 、 <u>産業革命</u> (e)、 <u>産業資本</u> 、 <u>ブルジョワジー</u> （有産市民）、 <u>労働者階級</u> (e)、 <u>政治・社会運動</u> (e)、 <u>近代市民社会</u> (e)、 <u>市民革命</u> (e)、 <u>フランス革命</u> 、 <u>アメリカ独立</u> （アメリカ革命）、 <u>基本的人権</u> (e)、 <u>国民</u> (e)、 <u>国民国家</u> (e)、 <u>環大西洋革命</u> 、 <u>クレオール</u> （定住白人） <u>革命</u>
単元	学習内容	項目	歴史用語
工業化	産業革命	イギリス産業革命の原因 イギリス産業革命の展開  産業革命の結果	<u>工業化</u> (e,f)、 <u>産業革命</u> (e,f)、 <u>農業革命</u> (f)、 <u>囲い込み</u> <u>綿工業</u> 、 <u>輸入代替工業化</u> (e)、 <u>蒸気機関</u> 、 <u>ワット</u> 、 <u>鉄道</u> 、 <u>石炭</u> (c)、 <u>鉄</u> (c)、 <u>綿花</u> (c)、 <u>綿布</u> (c)、 <u>綿糸</u> <u>機械制工場</u> 、 <u>資本主義</u> (e,f)、 <u>産業資本</u> (f)、 <u>労働者階級</u> (e,f)、 <u>労働問題</u> 、 <u>労働運動</u> 、 <u>世界の工場</u> 、 <u>マンチェスター・リヴァプール</u> 、 <u>工場法</u> 、 <u>都市化</u> (e)
近代市民社会の成立	アメリカ独立革命	独立前のアメリカ 独立戦争  合衆国憲法の成立	アメリカ独立（アメリカ革命）(f)、13植民地  ボストン茶会事件、ワシントン、独立宣言、アメリカ独立戦争、アメリカ合衆国、 <u>クレオール</u> （定住白人） <u>革命</u> (f) アメリカ合衆国憲法、 <u>大統領制</u> (e)、 <u>環大西洋革命</u> (f)、 <u>市民革命</u> (e,f)、 <u>近代市民社会</u> (e,f,)
	フランス革命	フランス革命の原因 フランス革命の進展	フランス革命 (f)、ルイ 16 世  <u>バスティーユ襲撃</u> 、 <u>人権と市民権の宣言</u> 、 <u>基本的人権</u> (e,f,)、 <u>ラ＝マルセイエーズ</u> 、 <u>自由・平等・友愛</u> 、 <u>国旗・国歌</u> (e)、 <u>封建的地代の無償廃止</u> 、 <u>政教分離</u> (e)、 <u>徴兵制の実施</u> 、 <u>国民軍</u> 、 <u>恐怖政治</u> 、 <u>革命暦</u> 、 <u>メートル法</u> 、 <u>国民</u> (e,f)、 <u>国民国家</u> (e,f,)
	ナポレオン時代	ナポレオンの登場 ナポレオンのヨーロッパ支配 ナポレオンの没落	ナポレオン、 <u>ナポレオン法典</u>  ナポレオン戦争  <u>プロイセン改革</u> 、 <u>ロシア遠征</u>

<b>第 11 章 欧米における近代国民国家の発展</b> (83 語)			<b>キーワード</b> ： <u>国民統合</u> 、 <u>政党政治</u> (e)、 <u>パクス＝ブリタニカ</u> 、 <u>自由主義</u> (e)、 <u>自由貿易</u> (政策、体制) (e)、 <u>景気循環</u> (e)、 <u>移民</u> (b)、 <u>フロンティア</u> 、 <u>社会主義</u> (e)、 <u>近代科学</u> (e)、 <u>進化論</u> (e)、 <u>社会進化論</u> (適者生存論)、 <u>近代家族</u> (e)、 <u>大衆化</u> (e)
単元	学習内容	項目	歴史用語
ウィーン体制の成立と崩壊	ウィーン体制の成立	ウィーン会議とウィーン体制 七月革命	ウィーン体制、ウィーン会議、四国同盟、 <u>勢力均衡</u> (バランス・オブ・パワー) (e)  七月革命
	1830年代の諸事件	イギリス自由主義改革 社会主義思想	自由主義 (e、f)、選挙法改正、 <u>普通選挙</u> (e)  <u>社会主義</u> (e、f)、 <u>共産主義</u> 、マルクス、エンゲルス、『 <u>共産党宣言</u> 』、 <u>無政府主義</u>
	1848年革命	二月革命 三月革命	二月革命、ルイ＝ナポレオン (ナポレオン 3 世) 三月革命、1848 年革命
国民国家の形成	クリミア戦争とロシア	クリミア戦争 ロシアの改革	「東方問題」、南下政策、クリミア戦争、 <u>グレート＝ゲーム</u> 農奴解放令 (ロシア)
	イギリスとフランス	イギリス  フランス	<u>政党政治</u> (e)、 <u>二大政党制</u> 、保守党、自由党、ヴィクトリア女王、ロンドン万国博覧会、 <u>自治領</u> 、 <u>自由貿易</u> (政策、体制) (e、f)、 <u>覇権国家</u> (e)、 <u>パクス＝ブリタニカ</u> (f)、 <u>自由貿易帝国主義</u> 、 <u>租借・租界</u> 、 <u>景気循環</u> (e、f) パリ＝コミューン
	イタリアとドイツの統一	イタリアの統一 ドイツの統一	サルデーニャ王国、カヴール、イタリア王国  ビスマルク、オーストリア＝ハンガリー帝国
	ドイツ帝国とビスマルク外交	ドイツ帝国 ロシアとの関係	ドイツ帝国、社会政策 (ビスマルク)、三国同盟、再保障条約 ロシア＝トルコ戦争、ベルリン会議、ボスニア・ヘルツェゴヴィナ
	アメリカ大陸の発展	ラテンアメリカの独立と合衆国の領土拡大  アメリカ合衆国の領土拡大	クリオーリョ、メスティーツ、トゥサン＝ルーヴェルチュール、シモン＝ボリバル、モンロー宣言、 <u>モノカルチャー</u> (e)、コーヒー (c)、砂糖 (c) ジャクソニアン＝デモクラシー、ゴールドラッシュ、西部開拓、 <u>フロンティア</u> (f)、強制移住法、 <u>先住民</u> (e)
	アメリカ合衆国の大国化	南北戦争 経済発展	南部、民主党、北部、共和党、リンカン、南北戦争、奴隷解放宣言、ホームステッド法 大陸横断鉄道、移民 (b、f)、 <u>綿花</u> (c)、捕鯨

19世紀の文化	19世紀の文化と社会	文学・芸術 近代科学 その他	古典主義、ゲーテ、 <u>ロマン主義</u> 、 <u>写実主義</u> 、 <u>自然主義</u> 、 <u>世紀末</u> 、 <u>印象派</u> <u>近代科学</u> (e)、 <u>自然科学</u> 、 <u>人文学</u> 、 <u>社会科学</u> 、ヘーゲル、 <u>功利主義</u> 、ランケ、 <u>近代歴史学</u> (a)、ダーウイン、 <u>進化論</u> (e,f)、電気、電信、石油 (c) 国際赤十字社、国際オリンピック大会、極地探検、 <u>近代家族</u> (e)、 <u>主婦</u> 、 <u>良妻賢母</u> 、 <u>社会進化論</u> (適者生存論) (f)、 <u>人種主義</u> (e)、 <u>義務教育</u> (e)、 <u>マスメディア</u> (e)、 <u>大衆化</u> (e)
第12章 アジア諸地域の動揺 (58語)			<b>キーワード</b> ： <u>ウエスタン・インパクト</u> 、 <u>富国強兵</u> 、 <u>殖産興業</u> 、 <u>不平等条約</u> 、 <u>関税自主権 (の喪失)</u> 、 <u>最恵国待遇</u> 、 <u>領事裁判権 (治外法権)</u> 、 <u>宗主権 (中国の)</u> 、 <u>直轄植民地</u> 、 <u>保護国・保護領</u> 、 <u>文明化の使命</u> 、 <u>分割統治</u> 、 <u>移民</u> (b)、 <u>植民地近代化</u> 、 <u>植民地協力者</u> 、 <u>アジア間貿易</u> (c)、 <u>華僑・華人</u>
単元	学習内容	項目	歴史用語
ヨーロッパの進出とアジアの動揺	西アジア地域の変容	オスマン帝国 アラブ地域	タンジマート、ミドハト憲法 ワッハーブ王国、ムハンマド＝アリー、スエズ運河、ウラービー＝パシヤの反乱
	南アジアの植民地化	イギリスの支配 インドの抵抗と社会変容	ベンガル インド大反乱、インド帝国、藩王国、 <u>分割統治</u> (f)、 <u>文明化の使命</u> (f) <u>綿花</u> (c)、 <u>アヘン</u> (c)、 <u>綿布</u> (c)、 <u>綿糸</u>
	東南アジアの植民地化	諸島部 大陸部 タイ 社会変容	強制裁培制度 (政府栽培制度)、シンガポール、英領マラヤ コンバウン朝、阮朝、清仏戦争、フランス領インドシナ連邦 <u>ラタナコーシン朝</u> 、ラーマ5世 (チュラロンコン)、 <u>華僑・華人</u> (e)、 <u>スズ</u> (c)、 <u>米</u> (c)
	清朝へのヨーロッパの進出	アヘン戦争 アロー戦争と太平天国 洋務運動	アヘン、三角貿易、アヘン戦争、南京条約、不平等条約(f)、香港割譲、 <u>銀</u> (c)、 <u>米</u> (c)、 <u>綿製品</u> 、 <u>租界・租借</u> アロー戦争、北京条約 (アロー戦争)、総理衙門、北京条約 (対ロシア)、太平天国の乱、「滅満興漢」、李鴻章、常勝軍 洋務運動
	日本の近代化	開国 明治維新 対外関係	ペリー、日米修好通商条約 明治維新、大日本帝国憲法、 <u>富国強兵</u> (f)、 <u>殖産興業</u> (f) 日露和親条約、日清修好条規、琉球処分、 <u>アジア間貿易</u> (c)
	朝鮮をめぐる対立	日本と朝鮮 日清戦争	日朝修好条規、閔妃 甲午農民戦争、日清戦争、大韓帝国、三国干渉、台湾総督府

<b>第13章 帝国主義とアジアの民族運動</b> (87語)			<b>キーワード</b> ： <u>第2次産業革命</u> 、 <u>世界の一体化</u> (e)、 <u>多角的決済機構</u> 、 <u>独占資本</u> 、 <u>金融資本</u> 、 <u>海外投資</u> (資本輸出) (e)、 <u>景気循環</u> (e)、 <u>帝国主義</u> (e)、 <u>世界分割</u> 、 <u>反ユダヤ主義</u> 、 <u>民族資本(家)</u> 、 <u>アジア間競争</u> (e)
単元	学習内容	項目	歴史用語
帝国主義と列強の展開	帝国主義の成立	第2次産業革命  帝国主義思想	<u>第2次産業革命</u> (f)、 <u>資本財(産業)</u> 、 <u>独占資本</u> (f)、 <u>金融資本</u> (f)、 <u>多角的決済機構</u> (f)、 <u>海外投資(資本輸出)</u> (e,f)、 <u>世界の一体化</u> (e,f)、 <u>景気循環</u> (e,f)、 <u>「大不況」</u> 、 <u>電気</u> 、 <u>石油</u> (c)、 <u>重化学工業</u> <u>帝国主義</u> (e,f)、 <u>列強</u> 、 <u>世界分割</u> (f)、 <u>借款</u> 、 <u>鉄道敷設</u> (権)、 <u>反ユダヤ主義</u> (f)、シオニズム
	先進資本主義国の社会	イギリス フランス	労働党 フランス社会党
	後発資本主義国の社会	ドイツ  ロシア  アメリカ合衆国	ヴィルヘルム2世、「世界政策」、ドイツ社会民主党、 <u>社会民主主義</u> ボリシェヴィキ、レーニン、ニコライ2世、シベリア鉄道 フロンティアの消滅、アメリカ＝スペイン戦争、門戸開放宣言、セオドア＝ローズヴェルト
世界分割と列強の対立	アフリカの分割	アフリカの「探検」 ヨーロッパ諸国の侵略	ベルリン・コンゴ会議  マフディの反乱、ブール人、南アフリカ戦争、南アフリカ連邦、ダイヤモンド、ファショダ事件、英仏協商、モロッコ事件、エチオピア帝国、リベリア共和国
	太平洋の分割とラテンアメリカの変貌	太平洋の分割  ラテンアメリカ	オーストラリア、アボリジニー、ニュージーランド、マオリ人、ハワイ、 <u>金</u> (c)、 <u>硝石</u> カリブ海政策、パナマ運河、メキシコ革命、制度的革命党、牛肉
	ヨーロッパ国際関係の変化	ビスマルク外交の破綻 対ドイツ包囲網 バルカン半島の危機	<u>三国同盟</u> 、 <u>露仏同盟</u>  日英同盟、英露協商、三国協商  ヨーロッパの火薬庫
アジアの民族運動	中国分割の危機と辛亥革命	中国分割の危機と改革 義和団事件  辛亥革命	<u>勢力範囲</u> 、 <u>変法運動</u> 、 <u>梁啓超</u> 、 <u>光緒帝</u> 、 <u>西太后</u>  「 <u>扶清滅洋</u> 」、 <u>義和団事件</u> 、 <u>北京議定書</u> 、 <u>借款</u> 、 <u>鉄道敷設</u> <u>孫文</u> 、 <u>中国同盟会</u> 、 <u>三民主義</u> 、 <u>辛亥革命</u> 、 <u>中華民国</u> 、 <u>袁世凱</u> 、 <u>宣統帝</u> 、 <u>軍閥</u>
	日露戦争とアジア	日露戦争 韓国併合	日露戦争、ポーツマス条約、南満洲鉄道 日韓協約、反日義兵運動、韓国併合、朝鮮総督府

	アジアの 民族運動 とアジア 間競争	インド  東南アジア  西アジア	インド国民会議、国民会議派、ベンガル分割令、全インド＝ムスリム連盟、 <u>民族資本(家)</u> (f)、茶 (c)、 <u>アジア間競争</u> (e,f) フィリピン革命、ドンズー運動、イスラーム同盟 (サレカット＝イスラム) アフガーニー、青年トルコ革命、イラン立憲革命
<b>第14章 二つの世界大戦 (150語)</b>			<b>キーワード：</b> <u>帝国主義</u> (e)、 <u>世界大戦</u> (e)、第一次世界大戦、 <u>総力戦</u> 、 <u>秘密外交</u> 、 <u>女性の社会進出</u> 、 <u>女性参政権</u> 、 <u>賠償</u> (e)、 <u>委任統治(領)</u> 、 <u>民族自決(権)</u> (e)、 <u>戦争違法化</u> (e)、 <u>軍拡と軍縮</u> (e)、 <u>大衆消費社会</u> 、 <u>中間層</u> (e)、 <u>前衛党</u> 、 <u>計画経済</u> 、 <u>世界恐慌</u> (e)、 <u>ブロック経済</u> 、 <u>ファシズム</u> 、 <u>全体主義</u> 、 <u>ホロコースト</u> 、第二次世界大戦、アジア太平洋戦争 (大東亜戦争、大太平洋戦争)
単元	学習内容	項目	歴史用語
第一次世界大戦とヴェルサイユ体制	第一次世界大戦	原因 経過 結果	第一次世界大戦 (f)、サライエヴォ事件、 <u>反戦(平和)運動</u> (e)、 <u>ナショナリズム</u> (e) <u>秘密外交</u> (f)、 <u>総力戦</u> (f)、戦車、毒ガス、飛行機(航空機)、無制限潜水艦作戦、 <u>女性の社会進出</u> (f) ドイツ革命
	ロシア革命	三月革命 十一月革命 ソヴィエト政権とソ連の成立 スターリンの独裁	ロシア革命、三月革命 十一月革命、「平和に関する布告」 ソ連共産党、 <u>前衛党</u> (f)、対ソ干渉戦争、シベリア出兵、コミンテルン、ソヴィエト社会主義共和国連邦(ソ連) スターリン、 <u>計画経済</u> (f)
	ヴェルサイユ体制とワシントン体制	パリ講和会議 ヴェルサイユ条約 ワシントン条約 国際協調の時代	パリ講和会議、ウィルソン、十四カ条、 <u>民族自決</u> (e,f) ヴェルサイユ体制、ヴェルサイユ条約、ラインラント非武装、 <u>賠償</u> (e,f)、 <u>委任統治</u> (f)、国際連盟 ワシントン会議、ワシントン体制、ワシントン海軍軍備制限条約、九カ国条約、四カ国条約 ロカルノ条約、不戦条約、ロンドン軍縮会議、 <u>戦争違法化</u> (e,f)
	アメリカ合衆国とヨーロッパ諸国	アメリカ合衆国 イギリス ドイツ イタリア	孤立主義、WASP、移民法、 <u>大量生産・大量消費</u> (e)、 <u>大衆消費社会</u> (f)、 <u>耐久消費財</u> 、自動車、ゴム (c) <u>女性参政権</u> (f)、アイルランド自由国、イギリス連邦、 ローザ＝ルクセンブルク、ドイツ共産党、ヴァイマル憲法、 <u>ファシズム</u> (f)、ムッソリーニ、バチカン市国、
	東アジアの民族運動	中国 日本 朝鮮半島 中国の統一運動	二十一条要求、文学革命、陳独秀、白話運動、魯迅、『阿Q正伝』、モンゴル人民共和国、五・四運動 関東大震災、男子普通選挙、治安維持法 三・一運動 中国国民党、中国共産党、国共合作、蔣介石、北伐、 <u>訓政</u>

	南アジア・東南アジア・イスラーム世界の動向	インド 東南アジア 西アジア  トルコ エジプト	ローラット法、ガンディー、非暴力・不服従、ネルー、塩（の行進）(e) アウン=サン、スカルノ、インドシナ共産党、ホー=チ=ミン フサイン=マクマホン協定、サイクス=ピコ協定、バルフォア宣言、パレスティナ問題、シオニズム、イブン=サウード、レザー=ハーン、パフレヴィー朝 トルコ革命、ムスタファ=ケマル（アタチュルク）、トルコ共和国 ワフド党
ファシズムの台頭と第二次世界大戦	世界恐慌とその影響	世界恐慌 アメリカ イギリスとフランス	<u>世界恐慌</u> (e,f) フランクリン=ローズヴェルト、ニューディール マクドナルド挙国一致内閣、オタワ連邦会議、 <u>ブロック経済</u> (f)
	ファシズムの台頭	ナチスの政権獲得 ドイツとイタリアの侵略 スペインでの内戦	<u>全体主義</u> (f)、ヒトラー、国民社会主義ドイツ労働者党（ナチス）、 <u>中間層</u> (e,f)、全権委任法 総統、再軍備宣言、 <u>ホロコースト</u> (f)、ベルリン=ローマ枢軸 人民戦線、スペイン内戦、フランコ
	日本の大陸侵略	満洲事変 日中戦争 中国の対応	満洲事変、柳条湖事件、リットン調査団、満洲国、 <u>溥儀</u> 二・二六事件、 <u>軍国主義</u> 、盧溝橋事件、日中戦争、日独防共協定、南京事件 毛沢東、長征、西安事件、国共合作（第2次）、抗日民族統一戦線
	第二次世界大戦と太平洋戦争	ヨーロッパでの戦争 アジア・太平洋での戦争	オーストリア併合、ミュンヘン会談、第二次世界大戦 (f)、独ソ不可侵条約、チャーチル、ヴィシー政府、ド=ゴール、独ソ戦、強制収容所、アウシュヴィッツ 日ソ中立条約、日独伊三国同盟、フランス領インドシナ進駐、アジア・太平洋戦争（大東亜戦争、大太平洋戦争）(f)、真珠湾攻撃、「大東亜共栄圏」、枢軸国、皇民化政策
	ファシズム諸国の敗北	イタリアの降伏 ドイツの降伏 日本の降伏	大西洋憲章、連合軍、レジスタンス、スターリングラードの戦い ノルマンディ上陸、ヤルタ会談 沖縄戦、ポツダム会談、トルーマン、原爆投下
<b>第15章 冷戦と脱植民地化</b> (137語)			<b>キーワード</b> ：国際連合、 <u>冷戦</u> （東西冷戦）、 <u>分断国家</u> 、核兵器、 <u>恐怖の均衡</u> 、 <u>代理戦争</u> 、 <u>脱植民地化</u> 、 <u>民族解放運動</u> (e)、 <u>土地改革</u> 、 <u>第三世界</u> 、 <u>ゲリラ戦</u> 、 <u>技術革新</u> 、高度経済成長、 <u>社会福祉</u> ・ <u>社会保障</u> 、 <u>福祉国家</u> 、 <u>多極化</u> 、 <u>南北問題</u> 、 <u>南南問題</u> 、 <u>開発主義</u> （ <u>開発独裁</u> ）、 <u>輸入代替工業化</u> (e)、 <u>輸出指向型工業化</u> 、 <u>学生運動</u> 、 <u>カウンター・カルチャー</u> 、 <u>変動相場制</u> 、 <u>ヨーロッパ統合</u>

単元	学習内容	項目	歴史用語
冷戦と脱植民地化	国際連合と戦後処理	国際連合  戦後処理	サンフランシスコ会議、国際連合憲章、国際連合 (f)、総会、安全保障理事会、常任理事国、拒否権、国連軍、世界人権宣言 ニュルンベルク裁判、東京裁判、 <u>分断国家</u> (f)
	アメリカの「覇権」と「冷たい戦争」	アメリカの覇権 「冷たい戦争」	IMF (国際通貨基金)、GATT (関税と貿易に関する一般協定)、ブレトン＝ウッズ体制 「冷たい戦争 (冷戦)」 (f)、封じ込め政策、ベルリン封鎖、ドイツ連邦共和国 (西ドイツ)、NATO (北大西洋条約機構)、ドイツ民主共和国 (東ドイツ)、ワルシャワ条約機構、核兵器 (f)、 <u>恐怖の均衡</u> (f)
	東西ヨーロッパの分断	西欧諸国の復興 東欧の社会主義化	<u>福祉国家</u> (f)、 <u>大きな政府</u> (e) <u>社会福祉・社会保障</u> (f) ティトー
	戦後の東アジア	中華人民共和国の成立 朝鮮戦争  日本の戦後改革	中華人民共和国、毛沢東、周恩来、 <u>土地改革</u> (f)、 <u>農業集団化</u> 、「大躍進」 北緯 38 度線、朝鮮民主主義人民共和国 (北朝鮮)、金日成、大韓民国、朝鮮戦争 マッカーサー、日本国憲法、自衛隊、サンフランシスコ講和会議、サンフランシスコ平和条約、日米安全保障条約、日ソ共同宣言
	アジア諸国の独立	東南アジアの独立 インドの独立  西アジアと中東問題	ベトナム民主共和国 (北ベトナム)、インドシナ戦争、ジュネーヴ休戦協定、北緯 17 度線 インド共和国、パキスタン共和国、カシミール帰属問題 パレスチナ分割案、イスラエル、パレスチナ戦争 (第 1 次中東戦争)、パレスチナ難民、石油国有化 (イラン)
	アフリカ諸国の独立	エジプト アフリカ諸国  第三勢力の台頭	エジプト革命、ナセル、アスワン＝ハイダム、スエズ運河国有化、スエズ戦争 (第 2 次中東戦争) アルジェリア戦争、「アフリカの年」、アフリカ統一機構 (OAU)、ウラン アジア＝アフリカ会議、非同盟諸国首脳会議、 <u>第三勢力</u> 、 <u>第三世界</u> (f)、 <u>南北問題</u> (f)
世界の多極化	多極化の時代	西欧  日本  ソ連  中国	ヨーロッパ統合 (f)、ヨーロッパ石炭鉄鋼共同体、ヨーロッパ共同体、ド＝ゴール、ブランド、東方外交、 <u>多極化</u> (f) 高度経済成長 (f)、 <u>技術革新</u> (f)、沖縄復帰、北方領土問題、日中国交正常化、日中平和友好条約 スターリン批判、 <u>平和共存政策</u> 、フルシチョフ、ハンガリー戦争 (ハンガリー動乱)、ブレジネフ、ベルリンの壁、チェコ事件 チベット問題、中印国境紛争、中ソ論争、プロレタリア文化大革命

ベトナム戦争とアメリカ覇権の動揺	ベトナム戦争 カンボジア紛争 アメリカ社会  ブレトン=ウッズ体制の破綻	代理戦争 (f)、ゲリラ戦 (f)、南ベトナム解放民族戦線、ベトナム戦争、ベトナム社会主義共和国 シハヌーク、ポル=ポト政権 (クメール=ルージュ)、  ケネディ、ジョンソン、公民権運動、キング牧師、ベトナム反戦運動、ニクソン、米中和解、 <u>学生運動 (f)</u> 、 <u>カウンター=カルチャー (f)</u> <u>変動相場制 (f)</u>
ラテンアメリカとアフリカの変貌	キューバ 開発政策 南アフリカ	キューバ革命、カストロ、キューバ危機 <u>輸入代替工業化 (e,f)</u> 南アフリカ共和国、アパルトヘイト、マンデラ
アジア・南アジアの対立	中東戦争の激化  イラン革命 南アジア	第3次中東戦争、第4次中東戦争、石油輸出国機構 (OPEC)、石油 (原油) (c)、石油危機、先進国首脳会議 (サミット)、PLO (パレスチナ解放機構)、インティファダ イラン革命、ホメイニ、イラン=イスラーム共和国 インド=パキスタン戦争、バングラデシュ
アジアでの開発主義	韓国  東南アジア	<u>南南問題 (f)</u> 、 <u>開発主義 (開発独裁) (f)</u> 、朴正熙、日韓基本条約 スハルト、ASEAN (東南アジア諸国連合)、リー=クアン=ユウ、 <u>輸出指向型工業化 (f)</u>

<b>第16章「現在の世界」(134語)</b>			<b>キーワード</b> ：資源・環境問題 (e)、地球温暖化 (c)、持続可能な開発、新自由主義、市場経済化 (旧社会主義国など)、地域統合 (e)、グローバル化 (c)、技術移転、 <u>多国籍企業</u> 、 <u>経済 (貿易) 摩擦 (e)</u> 、 <u>低開発 (e)</u> 、 <u>東アジアの奇跡</u> 、 <u>国際労働力移動 (e)</u> 、 <u>難民 (e)</u> 、 <u>格差社会</u> 、 <u>権威主義 (体制)</u> 、 <u>民主化 (現代)</u> 、 <u>原理主義</u> 、 <u>ポピュリズム</u> 、 <u>テロ (テロリズム)</u> 、 <u>核の平和利用</u> 、 <u>核開発 (途上国の)</u> 、 <u>地域紛争</u> 、 <u>民族紛争</u> 、 <u>宗教紛争</u> 、 <u>領土・領海紛争</u> 、 <u>戦時性暴力</u> 、 <u>歴史認識問題</u> 、 <u>歴史和解</u> 、 <u>集団的自衛権</u> 、 <u>集団的安全保障体制</u> 、 <u>人間の安全保障</u> 、 <u>NGO・NPO (非政府組織)</u> 、 <u>相対性理論</u> 、 <u>量子力学</u> 、 <u>IT化 (ICT化)</u> 、 <u>外国旅行</u> 、 <u>生命工学</u> 、 <u>ポスト=モダン思想</u> 、 <u>言語論的転回</u> 、 <u>文化摩擦</u> 、 <u>多文化主義</u> 、 <u>先住民 (e)</u> 、 <u>ポピュラー=カルチャー (大衆文化)</u> 、 <u>フェミニズム (女性解放運動) (e)</u> 、 <u>人口問題 (e)</u> 、 <u>少子化</u> 、 <u>高齢社会</u>
単元	学習内容	項目	歴史用語
冷戦の終結へ	社会主義陣営の解体と冷戦の終結	欧米での新自由主義 ソ連の動揺 東欧での社会主義政権の崩	サッチャー、 <u>新保守主義</u> 、レーガン、 <u>新自由主義 (f)</u> 、 <u>規制緩和</u> 、 <u>競争原理</u> 、 <u>民営化</u> 、 <u>小さな政府 (e)</u> ゴルバチョフ、ペレストロイカ ドイツ統一、東欧革命

		壊 冷戦の終結と ソ連の消滅	ブッシュ (父)、マルタ会談、ロシア連邦、 <u>市場経済化</u> (f)
グロー バル化 の時代	通商の自由化と地域統合の進展	通商の自由化 EUの発足 北アメリカ アジア地域	世界貿易機関 (WTO) <u>地域統合 (e,f)</u> 、マーストリヒト条約、ヨーロッパ連合 (EU)、ユーロ 北米自由貿易協定 (NAFTA) アジア太平洋経済協力会議 (APEC)
	地域紛争の激化	地域紛争 ユーゴスラヴィアの解体 旧ソ連での対立 西アジア 東南アジア	<u>地域紛争 (f)</u> 、 <u>民族紛争 (f)</u> 、 <u>宗教紛争 (f)</u> 、 <u>テロ (f)</u> 、 <u>難民 (e,f)</u> 、 <u>民族浄化</u> 、 <u>内政不干渉原則</u> ユーゴスラヴィア内戦  チェチェン紛争、プーチン  サダム=フセイン、イラン=イラク戦争、湾岸戦争 東ティモール
	アジア諸国の変容	中国の経済発展 東南アジア 朝鮮半島の融和と対立 東アジアの経済成長	鄧小平、 <u>改革・開放政策</u> 、天安門事件、香港返還  カンボジア紛争、中越戦争、ドイモイ 光州事件、南北朝鮮の国連同時加盟、金大中、日朝首脳会談 <u>東アジアの奇跡 (f)</u>
	アメリカの対テロ戦争と「日米同盟」	イスラーム復興運動 アメリカの戦争 紛争解決のために  日本の対応	イスラーム復興運動、 <u>原理主義 (f)</u> 、ターリバーン、アル=カーイダ、イスラーム国 (IS) ブッシュ (子)、同時多発テロ (9.11)、イラク戦争  <u>国連平和維持活動 (PKO)</u> 、 <u>非政府組織 (NGO・NPO)</u> (f)、 <u>集団的自衛権 (f)</u> 、 <u>集団安全保障体制 (f)</u> 、 <u>軍拡と軍縮 (e)</u>
現代の文化	科学技術と文化  工業技術  文化・芸能・芸術  歴史と人文 学・社会科学	アインシュタイン、 <u>相対性理論 (f)</u> 、ロケット、人工衛星、 <u>量子力学 (f)</u> ナイロン、プラスチック、自動車、飛行機、ラジオ、テレビジョン、 <u>技術移転 (f)</u> 映画、ディズニー、ビートルズ、 <u>ハイ・カルチャー</u> 、 <u>ポピュラー・カルチャー (大衆文化) (f)</u> 、 <u>マンガ・アニメ・ゲーム</u> 、 <u>ソフト=パワー</u> <u>ポスト・モダン思想 (f)</u> 、 <u>言語論的転回 (f)</u> 、 <u>社会史</u> 、 <u>グローバル=ヒストリー</u> 、 <u>ビッグ=ヒストリー</u>	
現代世界の諸課題	科学技術と経済	核兵器	ビキニ原水爆実験、原水爆禁止運動、部分的核実験停止条約、核拡散防止条約、中距離核戦力全廃条約、包括的核実験禁止条約、南太平洋非核地帯条約、 <u>核開発 (途上国の) (f)</u>
		原子力発電	<u>核の平和利用 (f)</u> 、原子力発電、スリーマイル島原子力発電所事故、チェルノブイリ原子力発電所事故、福島原発事故

	医学・生命工学	抗生物質、 <u>生命工学</u> (f)、遺伝子、クローン技術
	資源・環境問題と自然災害	<u>資源・環境問題</u> (e,f)、 <u>省資源</u> 、 <u>地球温暖化</u> (e,f)、地球サミット、京都会議(温暖化防止)、 <u>資源ナショナリズム</u> 、 <u>砂漠化</u> 、 <u>持続可能な開発</u> (f)、東日本大震災
	情報化と交通・輸送の発展	<u>IT革命 (ICT化)</u> (f)、 <u>電子工学</u> 、コンピュータ、 <u>SNS (ソーシャル・ネットワーク・サービス)</u> 、 <u>サイバー攻撃 (サイバーテロ)</u> 、 <u>外国旅行</u> (f)、 <u>新型感染症</u>
	経済問題	<u>グローバル化</u> (c,f)、国連貿易開発会議、 <u>低開発</u> (e,f)、金融自由化、国際労働力移動 (e,f)、 <u>多国籍企業</u> (f)、格差社会 (f)、非正規労働者、経済(貿易)摩擦 (e,f)、 <u>保護貿易</u> (e)
社会の変動	ナショナリズムと民主主義・人権	<u>アイデンティティ</u> (b)、 <u>文化摩擦</u> (f)、 <u>多文化主義</u> (f)、 <u>同化政策</u> 、 <u>先住民</u> (e、f)、 <u>民主化</u> (f)、 <u>ポピュリズム</u> (f)、 <u>排外主義的ナショナリズム</u> 、 <u>コミュニズム</u> 、 <u>領土・領海紛争</u> (f)、 <u>歴史認識問題</u> (f)、 <u>歴史和解</u> (f)、 <u>立憲政治</u> (e)、 <u>権威主義</u> (f)、 <u>人間の安全保障</u> (f)、 <u>戦時性暴力</u> (f)、 <u>積極平和主義</u>
	家族と女性	<u>フェミニズム</u> (女性解放運動) (e,f)、 <u>家父長制</u> 、 <u>性的マイノリティ (LGBTQ)</u> 、 <u>人口問題</u> (e,f)、少子化 (f)、高齢社会 (f)

### 3. 日本史用語 (1664 語)

- 凡例**
- ①I・II・III・IV部それぞれの冒頭に、部全体に関連する概念・キーワードを掲載した。
  - ②その後便宜的に、採択率の高い山川出版社『詳説日本史 B』新版(2012年検定済み)の章立てに従って用語を配列した(ただし一部改変)。各章の冒頭にもやはり、章全体に関わる概念・キーワードを掲載した。
  - ③各章の中は、単元、学習内容、項目、歴史用語の4レベルに分けて、大テーマから個々の用語に至る階層性を示そうとした。
  - ④個々の章や項目に関連する用語をなるべくもれなく示すため、前の章や単元で既出の用語、各レベルのキーワードで挙げられた用語なども、必要に応じて再掲した。そのうち上位レベルにも出ている用語には、符号を付した。(a)~(c)は1「歴史の基礎概念」の用語区分を示し、(d)はこの日本史用語リストのI~IV部冒頭に掲載されたその時代のキーワードを示す。また(e)は各章のキーワードを示す。
  - ⑤他にも、章のキーワード同士、各事項の下の歴史用語同士など、同じレベルで複数回出現する用語がある(概念だけでなく人名などにもある)。その用語は2回目以降に掲載する際に斜字体にした。
  - ⑥概念系用語には二重下線を引いた。

### 第I部 原始・古代 (282 語)

<b>原始・古代のキーワード</b> (13 語)			<u>先史時代と歴史時代</u> (a)、 <u>狩猟・採集・漁労</u> (b)、 <u>農耕社会</u> (b)、 <u>古代</u> 、 <u>国家の形成</u> 、 <u>神話</u> (a)、 <u>古墳</u> 、 <u>渡来人</u> 、 <u>仏教</u> 、 <u>氏</u> 、 <u>律令国家</u> (律令制)、 <u>日本</u> (国号)、 <u>天皇</u> 、 <u>都城</u> 、 <u>貴族</u> (c)、 <u>神仏習合</u> 、 <u>国風文化</u> 、 <u>仮名文字</u> 、
<b>第I章 日本文化のあけぼの</b> (77 語)			<b>キーワード:</b> <u>狩猟・採集・漁労</u> (b,d)、 <u>農耕社会</u> (b,d)、 <u>石器</u> 、 <u>土器</u> 、 <u>青銅器</u> 、 <u>鉄器</u> 、 <u>国家の形成</u> 、 <u>倭国</u> 、 <u>古墳</u> (d)、 <u>渡来人</u> (d)、 <u>豪族</u> (c)、 <u>大王</u> 、 <u>氏</u> (d)、 <u>姓</u> 、 <u>アニミズム</u> 、 <u>呪術</u> 、 <u>仏教伝来</u>
<b>単元</b>	<b>学習内容</b>	<b>項目</b>	<b>歴史用語</b>
日本文化のあけぼの	文化の始まり	旧石器時代	<u>地質年代</u> 、 <u>更新世</u> 、 <u>ナウマンゾウ</u> 、 <u>化石人骨</u> 、 <u>港川人</u> 、 <u>石器</u> (e)、 <u>旧石器時代</u> 、 <u>新石器時代</u> 、 <u>岩宿遺跡</u> 、 <u>打製石器</u> 、 <u>狩猟・採集・漁労</u> (b,d,e)
		縄文時代	<u>完新世</u> 、 <u>縄文時代</u> 、 <u>モース</u> 、 <u>大森貝塚</u> 、 <u>弓矢</u> 、 <u>磨製石器</u> 、 <u>土器</u> (e)、 <u>貝塚</u> 、 <u>三内丸山遺跡</u> 、 <u>黒曜石</u> 、 <u>土偶</u> 、 <u>縄文海進</u> 、 <u>アニミズム</u> (e)、 <u>呪術</u> (e)
農耕社会の成立	農耕社会の成立	弥生時代	<u>農耕社会</u> (b,d,e)、 <u>弥生時代</u> 、 <u>続縄文文化</u> 、 <u>貝塚文化</u> 、 <u>青銅器</u> (e)、 <u>鉄器</u> (e)、 <u>弥生土器</u> 、 <u>木製農具</u> 、 <u>高床倉庫</u> 、 <u>環濠集落</u> 、 <u>吉野ケ里遺跡</u> 、 <u>銅鐸</u>
		国家の形成	<u>倭人</u> 、 <u>倭国</u> (e)、 <u>漢</u> 、 <u>後漢</u> 、 <u>楽浪郡</u> 、『 <u>漢書地理志</u> 』、『 <u>後漢書東夷伝</u> 』、 <u>奴国</u> 、 <u>漢委奴国王印</u> 、『 <u>魏志倭人伝</u> 』、 <u>魏</u> ・ <u>呉</u> ・ <u>蜀</u> 、 <u>邪馬台国</u> 、 <u>卑弥呼</u> 、 <u>親魏倭王</u> 、 <u>纏向遺跡</u> 、 <u>国家の形成</u> (d,e)

	古墳とヤマト政権	古墳時代 大陸との関係  ヤマト政権	古墳 (d,e)、古墳時代、前方後円墳、埴輪、大仙陵古墳 高句麗、百濟、新羅、広開土王碑、『宋書倭国伝』、倭の五王、ワカタケル (雄略天皇)、宋 (南朝)、倭王武の上表文、 <u>朝貢</u> ヤマト政権、江田船山古墳出土鉄刀、稻荷山古墳出土鉄剣、大王 (e)、 <u>氏</u> (d,e)、 <u>姓</u> (e)、 <u>母系制</u> 、 <u>父系制</u> 、 <u>双系制</u> 、国造、 <u>渡来人</u> (d,e)、仏教伝来 (e)、新嘗祭、禊、祓い、 <u>豪族</u> (c,e)
<b>第2章 律令国家の形成</b> (120語)			<b>キーワード</b> ：大化改新、 <u>律令国家</u> (d)、日本 (国号) (d)、天皇 (d)、藤原氏、 <u>都城</u> (d)、平城京、 <u>公地公民</u> 、 <u>貴族</u> (c,d)、遣唐使、蝦夷、隼人、天平文化、 <u>神話</u> (a)、 <u>鎮護国家</u> 、平安京、神仏習合 (d)
単元	学習内容	項目	歴史用語
律令国家の形成	飛鳥の朝廷	大陸との関係 推古朝の政治  飛鳥文化	筑紫国造磐井の乱、隋 飛鳥時代、蘇我氏、推古天皇、厩戸王 (聖徳太子)、冠位十二階の制、憲法十七条、遣隋使 飛鳥文化、法隆寺、法隆寺金堂釈迦三尊像、広隆寺半跏思惟像
	律令国家への道	大化改新と律令制度の成立  白鳳文化	大化改新 (e)、中臣鎌足、難波宮、改新詔、 <u>公地公民</u> (e)、唐、遣唐使 (e)、白村江の戦い、中大兄皇子 (天智天皇)、大海人皇子 (天武天皇)、壬申の乱、伊勢神宮、天皇 (d,e)、日本 (d,e)、持統天皇、藤原京、 <u>都城</u> (d,e) 白鳳文化、薬師寺、『高松塚古墳壁画』、漢詩、和歌
	律令制度の成立	行政  土地制度と税制	大宝律令、養老律令、律、令、 <u>律令国家</u> (d,e)、 <u>貴族</u> (c,d,e)、大宰府、畿内、七道、国・郡・里、国司、国府、郡司、里長 戸籍、計帳、班田収授法、 <u>段</u> 、口分田、租、庸、調、雑徭、出挙、条里制、 <u>兵役</u> (c)
	平城京の時代	遣唐使と平城京 辺境への進出 奈良時代の政治 律令制の動揺	<u>遣唐使</u> (e)、渤海、奈良時代、平城京 (e)、内裏、長安、条坊制、木簡、富本銭 蝦夷 (e)、多賀城、鎮守府、隼人 (e) 藤原不比等、藤原氏 (e)、長屋王、聖武天皇、光明皇后、孝謙天皇、 <u>重祚</u> 、道鏡 <u>浮浪・逃亡</u> 、三世一身法、墾田永年私財法、 <u>荘園</u>
	天平文化	特色 文学・歴史  仏教  美術	天平文化 (e) <u>神話</u> (a,e)、『古事記』、『日本書紀』、六国史、『風土記』、『万葉集』、万葉仮名 興福寺、奈良仏教、行基、鑑真、 <u>鎮護国家</u> (e)、国分寺・国分尼寺、大仏造立の詔、東大寺 正倉院、唐招提寺

	平安初期の時代	桓武朝の政治と律令制の再建 弘仁・貞観文化	平安時代、桓武天皇、長岡京、平安京 (e)、坂上田村麻呂、征夷大將軍、 <u>令外官</u> 、藏人頭、檢非違使、格式 最澄、天台宗、延暦寺、比叡山、空海、真言宗、教王護国寺 (東寺)、高野山、金剛峰寺、密教、加持祈禱、 <u>神仏習合</u> (d,e)、室生寺、曼荼羅
<b>第3章 貴族政治と国風文化 (72語)</b>			<b>キーワード</b> ； <u>唐宋変革</u> 、 <u>藤原氏</u> 、 <u>摂関政治</u> 、 <u>国風文化</u> (d)、 <u>仮名文字</u> (d)、 <u>短歌</u> (和歌)、 <u>ケガレ</u> 、 <u>浄土教</u> 、 <u>年中行事</u> 、 <u>荘園</u> 、 <u>武士</u> (c)、平氏、源氏、平泉
単元	学習内容	項目	歴史用語
貴族政治と国風文化	摂関政治	藤原氏の他氏排斥 摂関政治 国際関係の変化	<u>藤原氏</u> (e)、 <u>藤原良房</u> 、 <u>外戚</u> (c)、 <u>橘氏</u> 、 <u>摂政</u> 、 <u>藤原基経</u> 、 <u>関白</u> 、 <u>菅原道真</u> <u>藤原道長</u> 、 <u>藤原頼通</u> 、 <u>摂関政治</u> (e)、 <u>摂関家</u> 宋、 <u>唐宋変革</u> (e)、 <u>高麗</u> 、 <u>刀伊の入寇</u> 、 <u>女真族</u> 、 <u>博多</u>
	国風文化	特色 文学  宗教  美術 生活	<u>国風文化</u> (d,e)、 <u>王朝文化</u> 、 <u>仮名文字</u> (d,e) <u>短歌</u> (和歌) (e)、『古今和歌集』、 <u>勅撰和歌集</u> 、 <u>紀貫之</u> 、 <u>竹取物語</u> 、『 <u>伊勢物語</u> 』、『 <u>源氏物語</u> 』、 <u>紫式部</u> 、『 <u>枕草子</u> 』、 <u>清少納言</u> <u>念仏</u> 、 <u>末法思想</u> 、 <u>空也</u> 、 <u>源信</u> 、『 <u>往生要集</u> 』、 <u>神道</u> 、 <u>本地垂迹説</u> 、 <u>浄土教</u> (e)、 <u>阿弥陀如来</u> <u>平等院鳳凰堂</u> 、 <u>定朝</u> 、 <u>大和絵</u> <u>衣冠・束帯</u> 、 <u>女房装束</u> 、 <u>陰陽道</u> 、 <u>御霊会</u> 、 <u>ケガレ</u> (e)、 <u>日記</u> 、『 <u>御堂関白記</u> 』、 <u>年中行事</u> (e)
	地方政治の展開と武士	地方政治の変質 荘園と公領  武士の登場  奥州の情勢	<u>受領</u> 、 <u>成功</u> 、 <u>在庁官人</u>  <u>名</u> 、 <u>官物</u> 、 <u>寄進</u> 、 <u>荘園</u> (e)、 <u>荘園領主</u> 、 <u>荘官</u> 、 <u>名主</u> 、 <u>公領</u> <u>武士</u> (c,e)、 <u>武士団</u> 、 <u>武家の棟梁</u> 、 <u>平氏</u> (e)、 <u>桓武平氏</u> 、 <u>承平・天慶の乱</u> 、 <u>平将門</u> 、 <u>藤原純友</u> 、 <u>源氏</u> (e)、 <u>清和源氏</u> <u>前九年合戦</u> 、 <u>後三年合戦</u> 、 <u>安倍氏</u> 、 <u>清原氏</u> 、 <u>奥州藤原氏</u> 、 <u>平泉</u> (e)

## 第II部 中世 (315語)

<b>中世のキーワード</b> (19語)	<u>中世</u> 、 <u>荘園公領制</u> 、 <u>領主制</u> 、 <u>権門体制</u> 、 <u>院政</u> 、 <u>武士</u> (c)、 <u>武家政権</u> 、 <u>幕府</u> 、 <u>寺社勢力</u> 、 <u>家</u> (日本型の)、(長子) <u>単独相続</u> 、 <u>モンゴル帝国</u> 、 <u>倭寇</u> 、 <u>琉球王国</u> 、 <u>蝦夷が島</u> 、 <u>日明貿易</u> 、 <u>倭寇</u> 、 <u>自力救済</u> 、 <u>一揆</u> 、 <u>下克上</u> (剋) 上、 <u>戦国大名</u>
<b>第4章 中世社会の成立</b> (156語)	<b>キーワード</b> ： <u>荘園公領制</u> (d)、 <u>領主制</u> (d)、 <u>院政</u> (d)、 <u>権門体制</u> (d)、 <u>寺社勢力</u> (d)、 <u>顕密体制</u> 、 <u>禅宗</u> 、 <u>武家政権</u> (d)、 <u>幕府</u> (d)、 <u>鎌倉</u> 、 <u>征夷大將軍</u> 、 <u>東国支配権</u> 、 <u>執権政治</u> 、 <u>治承・寿永の乱</u> 、 <u>家</u> (日本型の) (d)、(長

			子) <u>単独相続</u> (d)、 <u>モンゴル帝国</u> (d)、 <u>蝦夷が島</u> (d)、 <u>徳政</u> (令)、 <u>絵巻物</u> 、 <u>有職故実</u>
単元	学習内容	項目	歴史用語
中世社会の成立	院政	院政の開始 荘園公領制 院政期の社会	後三条天皇、記録荘園券契所、白河天皇、上皇、法皇、 <u>院政</u> (d,e)、院、院庁、鳥羽上皇、知行国、荘園整理令、法勝寺、 <u>家</u> (日本型の) (d,e) <u>公領</u> 、年貢、公事、夫役、国衙領、 <u>荘園公領制</u> (d,e)、郡・郷・保 院政期、熊野詣、僧兵、強訴、 <u>権門体制</u> (d,e)、 <u>寺社勢力</u> (d,e)、 <u>顕密体制</u> (e)
	平氏政権	保元・平治の乱 平氏の政治 平安末期の文化	<u>武士</u> (c,d)、保元の乱、源義朝、平治の乱、平氏 <u>武家政権</u> (d,e)、平氏政権、平清盛、後白河法皇、日宋貿易、大輪田泊 大鏡、今昔物語集、中尊寺金色堂、絵巻物 (e)、源氏物語絵巻、伴大納言絵巻、平家納経、厳島神社、今様、梁塵秘抄、田楽、信貴山縁起絵巻、鳥獣戯画
鎌倉時代	鎌倉幕府の成立	源平の争乱 鎌倉幕府	治承・寿永の乱 (e)、福原、源頼朝、源義仲、源義経、壇ノ浦の戦い、養和の大飢饉、 <u>東国支配権</u> (e) 鎌倉 (e)、守護、地頭、大田文、 <u>征夷大將軍</u> (e)、鎌倉時代、鎌倉幕府、侍所、政所、問注所、御家人、御恩、奉公、京都大番役
	執権政治	北条氏の台頭 承久の乱 執権政治 武士の生活と土地支配	北条政子、北条義時、執権、 <u>執権政治</u> (e)、源実朝、寛喜の大飢饉 承久の乱、後鳥羽上皇、六波羅探題 北条泰時、評定衆、御成敗式目、北条時頼、引付衆、 <u>武家法</u> 、 <u>公家法</u> <u>惣領制</u> 、惣領、庶子、分割相続、流鏑馬、地頭請、下地中分、 <u>(長子) 単独相続</u> (d,e)
	モンゴル帝国と東アジア	モンゴル帝国と日本 琉球と北方の動き	モンゴル帝国 (d,e)、チンギス、クビライ、元、北条時宗、モンゴル襲来、文永の役、異国警固番役、弘安の役、南宋、神国思想、新安沈船 グスク、蝦夷が島 (d,e)、按司、十三湊、安藤氏
	幕府の衰退と社会の変動	幕府の衰退 社会の変動 農業 商工業	得宗、徳政 (e)、永仁の徳政令、鎮西探題 悪党 二毛作、牛馬耕 定期市、宋銭、借上、為替、問、陶器 (c)
	鎌倉文化	仏教 文学 芸術	浄土宗、法然、浄土真宗、一向宗、親鸞、一遍、日蓮宗、日蓮、臨濟宗、栄西、曹洞宗、道元、明恵、貞慶、叡尊、忍性、禅宗 (e)、建長寺、伊勢神道 『新古今和歌集』、鴨長明、『方丈記』、吉田兼好、『徒然草』、軍記物、『平家物語』、琵琶法師、慈円、『愚管抄』、西行、藤原定家、『吾妻鏡』、 <u>有職故実</u> (e)、金沢文庫

			重源、運慶、快慶、東大寺南大門金剛力士像、一遍上人絵伝、「蒙古襲来絵巻」、似絵、頂相、瀬戸焼
<b>第5章 武家社会の成長</b> (140 語)			<b>キーワード</b> ; <u>14世紀の危機</u> 、南北朝、 <u>倭寇</u> (d)、 <u>海禁</u> =朝貢体制、日明貿易 (d)、琉球王国 (d)、猿楽能 (能楽)、侘茶 (茶道)、 <u>下克(剋)上</u> (d)、 <u>自力救済</u> (d)、 <u>一揆</u> (d)、 <u>座</u> 、応仁の乱、戦国大名 (d)、銀 (c)
単元	学習内容	項目	歴史用語
南北朝・室町時代	鎌倉幕府の滅亡と南北朝時代	鎌倉幕府の滅亡 建武の新政 南北朝の動乱	後嵯峨天皇、持明院統、大覚寺統、後醍醐天皇、足利尊氏 建武の新政、二条河原の落書 <u>14世紀の危機</u> (e)、南北朝 (e)、建武式目、北朝、南朝、吉野、北畠親房、観応の擾乱、足利直義
	室町幕府の成立	守護大名の成長 室町幕府の確立 室町幕府の機構	半済令、 <u>守護請</u> 、 <u>国人</u> 足利義満、室町幕府、室町時代 管領、細川氏、畠山氏、侍所 (室町幕府)、山名氏、赤松氏、守護代、鎌倉府、鎌倉公方、関東管領、上杉氏、段銭、関銭、津料
	明・朝鮮の成立と東アジア	倭寇の活動 明との朝貢貿易 朝鮮との貿易関係 琉球王国と蝦夷地	倭寇 (d,e) 明、 <u>海禁</u> =朝貢体制 (e)、勘合、日明貿易 (d,e)、寧波、生糸 朝鮮、李成桂、宗氏、応永の外寇、三浦、木綿 (綿布) (c) 琉球王国 (d)、尚巴志、 <u>蝦夷が島</u> (d)、蠣崎氏、コシヤミンの戦い、首里、那覇、 <u>中継貿易</u>
	室町幕府の衰退	幕府の動揺 応仁の乱 各地の争乱	足利義持、足利義教、嘉吉の乱 応仁の乱 (e)、足利義政、日野富子、細川勝元、山名宗全、足輕、下克(剋)上 (d,e) 明応の政変
	農村の変化と一揆	惣村の形成 土一揆 国一揆 経済の発展	<u>自力救済</u> (d,e)、 <u>惣村</u> 、入会地、村請、寄合、掟、宮座、逃散、自検断 一揆 (d,e)、土一揆、正長の土一揆、 <u>徳政</u> (令)、分一銭 山城の国一揆、一向一揆 <u>座</u> (e)、永楽通宝、私鑄銭、撰銭令、土倉、酒屋、馬借、製塩
	南北朝・室町文化	南北朝文化 北山文化 東山文化	『神皇正統記』、太平記、二条良基 北山文化、五山、五山文学、夢窓疎石、観阿弥、世阿弥、猿楽能 (能楽) (e)、風姿花伝、金閣 東山文化、銀閣、書院造、水墨画、雪舟、狩野派、枯山水、 <u>林下</u> 、 <u>河原者</u> 、蓮如、連歌、宗祇、狂言、侘茶 (茶道) (e)、一条兼良、唯一神道、閑吟集、御伽草子、盆踊り、足利学校
	戦国大名の登場	戦国大名の領国支配	<u>戦国大名</u> (d,e)、 <u>寄親</u> ・ <u>寄子</u> 、 <u>分国法</u> 、 <u>喧嘩両成敗</u> 、戦国時代、北条早雲、毛利氏、長宗我部氏、北条氏、

戦国時代		都市の発展と町衆 日本銀の流通	武田氏、今川氏、朝倉氏、島津氏、大友氏、伊達氏、 <u>検地</u> 、 <u>貫高制</u> <u>城下町</u> 、 <u>堺</u> 、 <u>町衆</u> 、 <u>寺内町</u> 、 <u>博多</u> 、祇園祭 銀 (c,e)、石見銀山、灰吹法、生野銀山
------	--	--------------------	---

### 第 III 部 近世 (278 語)

<b>近世のキーワード</b> (15 語)			<u>大交易時代</u> (大航海時代)、 <u>倭寇</u> 、銀 (c)、火砲 (c)、キリスト教、 <u>検地</u> 、 <u>石高</u> 、 <u>兵農分離</u> 、 <u>幕藩体制</u> 、 <u>大名</u> 、 <u>百姓</u> 、 <u>村請(制)</u> 、 <u>町人</u> 、「 <u>鎖国</u> 」、近世琉球、蝦夷地、朱子学、蘭学、国学、 <u>改革</u> (幕府、藩政)
<b>第 6 章 幕藩体制の確立</b> (126 語)			<b>キーワード</b> : <u>倭寇</u> (d)、銀 (c,d)、鉄砲、 <u>南蛮貿易</u> 、キリスト教 (d)、太閤検地、 <u>石高</u> (d)、 <u>兵農分離</u> (d)、朝鮮侵略、江戸、 <u>幕藩体制</u> (d)、 <u>大名</u> (d)、 <u>百姓</u> (d)、 <u>村請(制)</u> (d)、 <u>町人</u> (d)、 <u>被差別民</u> (c)、 <u>17 世紀の危機</u> 、「 <u>鎖国</u> 」(d)、禁教令、近世琉球 (d)、蝦夷地 (d)、 <u>寺請制度</u>
単元	学習内容	項目	歴史用語
織豊政権	大交易時代の日本	ヨーロッパ勢力の登場とアジア 日本への影響	<u>大交易時代</u> (大航海時代) (d)、ポルトガル、マカオ、スペイン、マニラ、銀 (c,d)、 <u>倭寇</u> (d,e) 種子島、鉄砲 (e)、 <u>南蛮貿易</u> (e)、平戸、キリスト教 (d,e)、イエズス会、フランシスコ＝ザビエル、宣教師、キリシタン大名、天正遣欧使節
	信長の天下布武	信長の統一事業 経済・宗教政策	織豊政権 (安土桃山時代)、織田信長、足利義昭、延暦寺焼き打ち、長篠合戦、安土城、本願寺、本能寺の変、明智光秀 楽市・楽座
	秀吉の統一事業	秀吉の統一事業 経済政策 宗教政策 朝鮮侵略	豊臣秀吉、大坂城、伏見城、海賊取締令 <u>太閤検地</u> (e)、 <u>石高</u> (d,e)、 <u>一地一作人</u> 、刀狩、 <u>兵農分離</u> (d,e) パテレン追放令、朝鮮侵略 (e)、文禄・慶長の役 (壬辰・丁酉倭乱)、 <u>人身売買</u> (c)
	桃山文化	特色 美術 芸能 外国文化の影響	<u>豪商</u> 、桃山文化 天守閣、姫路城、『洛中洛外図』、狩野永徳 千利休、阿国歌舞伎、三味線 キリシタン版、磁器
幕藩体制の成立	江戸幕府の成立 大名の統制	家康の天下継承 大名の統制	江戸 (e)、江戸時代、江戸幕府、徳川家康、江戸城、関ヶ原の戦い、石田三成、大坂の陣、豊臣秀頼、東照大権現、徳川家光 <u>幕藩体制</u> (d,e)、 <u>旗本</u> 、 <u>大名</u> (d,e)、親藩、譜代、外様、一国一城令、武家諸法度、参勤交代、藩、家老、

		朝廷と寺社の統制	俸禄 禁中並公家諸法度
江戸幕府の支配体制		統治機構 身分制 村の支配と生活 町の支配と生活	老中、寺社奉行、勘定奉行、町奉行、京都所司代、奉行、代官 <u>苗字・帯刀</u> 、 <u>被差別民</u> (c,e) <u>百姓</u> (d,e)、 <u>村役人</u> 、名主・庄屋、本百姓、水呑百姓、 <u>村請制</u> (d,e)、 <u>年貢</u> 、寛永の飢饉、 <u>結</u> 、 <u>講</u> <u>町人</u> (d,e)、 <u>町役人</u> 、運上・冥加、 <u>職人</u> 、 <u>奉公人</u>
江戸幕府の対外政策		東アジア諸国との関係改善 ヨーロッパとの関係 貿易振興から統制へ 「四つの口」の形成	清、朝鮮通信使、釜山の倭館、近世琉球 (e)  オランダ東インド会社  朱印船貿易、日本町、生糸、銅 (c)、禁教令 (e)、島原・天草一揆、絵踏 (踏絵)、 <u>寺請制度</u> (e)、宗門改近世琉球 (d,e)、17世紀の危機 (e)、寛永の飢饉、「鎖国」(d,e)、長崎、出島、唐人屋敷、オランダ風説書、唐人風説書、蝦夷地 (d,e)、シャクシャインの戦い、松前藩、 <u>場所請負制</u> 、「四口」
江戸幕府の経済・交通政策と寛永文化		貨幣と金融 街道の整備  儒学 美術	佐渡金山、たたら製鉄、 <u>三貨</u> 、寛永通宝、藩札 五街道、東海道、脇街道、関所、宿場、本陣、旅籠、飛脚 朱子学 (d)、林家 日光東照宮、有田焼 (伊万里焼)
<b>第7章 幕藩体制の展開 (53語)</b>			<b>キーワード</b> ：、 <u>牢人</u> 、 <u>商品作物</u> 、 <u>輸入代替工業化</u> 、元禄文化、 <u>上方</u> 、俳諧 (俳句)、歌舞伎、浮世絵、 <u>三都</u> 、本草学
単元	学習内容	項目	歴史用語
幕政の安定と元禄文化	幕府政治の転換	文治主義への転換 元禄の政治 正徳の政治	<u>牢人</u> (e)、明暦の大火、 徳川綱吉、側用人、生類憐みの令 新井白石、海舶互市新例
	農業・商業の発展	農業生産の拡大 諸産業の発達  交通の発達 商業の発達	新田開発、金肥、宮崎安貞、『農業全書』 <u>商品作物</u> (e)、茶 (c)、綿 (綿花) (c)、紅花、藍、西陣織、醸造業、別子銅山、 <u>輸入代替工業化</u> (e) 東廻り航路、西廻り航路、河村瑞賢、北前船 三都 (e)、株仲間、問屋、両替商、呉服屋、三井家、蔵屋敷、堂島米市場

	元禄文化	特色 文学  芸能 美術 学問	元禄文化 (e)、 <u>上方</u> (e) 俳諧 (俳句) (e)、松尾芭蕉、『奥の細道』、浮世草子、井原西鶴 人形浄瑠璃、近松門左衛門、『曾根崎心中』、歌舞伎 (e) 尾形光琳、浮世絵 (e)、菱川師宣、友禅染 湯島聖堂、陽明学、荻生徂徠、『大日本史』、和算、貞享暦、本草学 (e)
<b>第8章 幕藩体制の動揺</b> (84 語)			<b>キーワード</b> ： <u>百姓一揆</u> 、朱子学 (d)、蘭学 (d)、国学 (d)、寺子屋、藩校、 <u>通俗道德</u> 、漂流民、蝦夷地直轄化、 <u>改革</u> ( <u>幕府</u> 、 <u>藩政</u> ) (d,e)、 <u>雄藩</u> 、化政文化
単元	学習内容	項目	歴史用語
社会・文化の変容	享保の改革と田沼政治	享保の改革  田沼政治	享保の改革、徳川吉宗、足高の制、上米、『公事方御定書』、目安箱、サツマイモ、火消、小石川養生所 田沼意次、俵物 (いりこ・ほしあわび・ふかのひれ) <u>秤量貨幣</u> 、 <u>計数貨幣</u>
	経済の発展と社会の変化	商品経済の発達 百姓一揆と打ちこわし	<u>問屋制家内工業</u> 、 <u>在郷商人</u>  <u>豪農</u> 、天明の飢饉、 <u>百姓一揆</u> (e)、 <u>打ちこわし</u>
	宝暦・天明期の文化	蘭学 国学 儒学 教育と思想 文学・芸能 美術	蘭学 (d,e)、杉田玄白、『解体新書』、平賀源内 国学 (d,e)、本居宣長、塙保己一、尊王論、頼山陽 朱子学 (d,e)、藩校 (e)、郷学 心学、石田梅岩、寺子屋 (e)、安藤昌益、 <u>通俗道德</u> (e) 与謝蕪村、川柳、『仮名手本忠臣蔵』 錦絵、喜多川歌麿、東洲斎写楽
幕藩体制の動揺と改革	ヨーロッパ諸国の接近	ロシアの接近  イギリスの進出 アメリカの到来 幕府の対応	ラクスマン、漂流民 (e)、大黒屋光大夫、最上徳内、近藤重蔵、国後島、択捉島、間宮林蔵、樺太、千島、蝦夷地直轄化 (e) フェートン号事件  異国船打払令、蛮社の獄、渡辺崋山
	政治改革の実施	寛政の改革  文化・文政期の政治 天保の改革 藩政改革	寛政の改革、徳川家斉、松平定信、困米、七分積金、寛政異学の禁 大塩平八郎  天保の飢饉、天保の改革、水野忠邦、上知令 <u>藩政改革</u> (e)、 <u>専売制</u> (c)、 <u>雄藩</u> (e)
	化政文化と学問の発展	特色 文芸 美術	化政文化 (e) 小林一茶、狂歌、読本、滝沢馬琴、『南総里見八犬伝』、葛飾北斎、『富嶽三十六景』、歌川広重、『東海道五十三次』

		国学 蘭学 庶民への教育 その他	平田篤胤、復古神道 シーボルト 二宮尊徳、 伊能忠敬、伊勢参り
--	--	---------------------------	--

## 第IV部 近代・現代 (789語)

<p>e.近現代のキーワード (86語) (1-(c) に挙げたものは省略)</p>	<p><u>近代</u>、<u>現代</u>、<u>近代化</u>、<u>近代科学</u>、<u>近代世界</u> (<u>近代社会</u>、<u>近代文明</u>)、<u>近代世界システム</u>、<u>世界の一体化</u>、<u>地域統合</u>、<u>工業化</u>、<u>産業革命</u>、<u>輸入代替工業化</u>、<u>輸送・情報革命</u>、<u>資本主義</u> (体制)、<u>大量生産・大量消費</u>、<u>労働者</u> (階級)、<u>中間層</u>、<u>世界商品</u>、<u>植民地</u> (<u>植民地支配</u>)、<u>プランテーション</u>、<u>モノカルチャー</u>、<u>アジア間競争</u>、<u>景気循環</u>、<u>恐慌</u>、<u>自由貿易</u> (政策、体制)、<u>保護貿易</u>、<u>海外投資</u> (資本輸出)、<u>国際労働力移動</u>、<u>経済</u> (貿易) <u>摩擦</u>、<u>低開発</u>、<u>資源・環境問題</u>、<u>人口問題</u>、<u>近代家族</u>、<u>都市化</u>、<u>大衆化</u>、<u>義務教育</u>、<u>マス＝メディア</u>、<u>覇権</u> (ヘゲモニー) <u>国家</u>、<u>近代国際法</u>、<u>主権国家</u> (体制)、<u>帝国主義</u>、<u>バランス・オブ・パワー</u> (勢力均衡)、<u>民族自決</u> (権)、<u>社会契約説</u>、<u>市民革命</u>、<u>近代市民社会</u>、<u>基本的人権</u>、<u>立憲政治</u>、<u>天皇制</u> (近現代の)、<u>自由主義</u>、<u>政教分離</u>、<u>国民</u>、<u>国民国家</u>、<u>ナショナリズム</u>、<u>国旗・国歌</u>、<u>三権分立</u>、<u>議会政治</u>、<u>普通選挙</u>、<u>政党政治</u>、<u>議院内閣制</u> (責任内閣制)、「<u>小さな政府</u>」、「<u>大きな政府</u>」、<u>地方自治</u>、<u>近代戦争</u>、<u>世界大戦</u>、<u>難民</u>、<u>賠償</u> (金) (戦争、災害など)、<u>軍拡と軍縮</u>、<u>戦争違法化</u>、<u>政治・社会運動</u>、<u>啓蒙思想</u>、<u>進化論</u>、<u>人種主義</u>、<u>先住民</u>、<u>民族解放運動</u>、<u>社会主義</u> (運動)、<u>フェミニズム</u> (女性解放運動)、<u>反戦</u> (平和) <u>運動</u>、<u>明治維新</u>、<u>大日本帝国</u>、<u>脱亜入欧</u>、<u>軍国主義</u>、<u>アジア・太平洋戦争</u> (大東亜戦争、太平洋戦争)、<u>戦後民主化</u>、<u>高度経済成長</u>、<u>グローバル化</u> (c)、<u>IT (ICT) 化</u></p>		
<p><b>第9章 近代国家の成立</b> (295語)</p>	<p><u>ウエスタン・インパクト</u>、<u>不平等条約</u>、<u>居留地</u>、<u>尊王攘夷</u> (運動)、<u>明治維新</u> (d)、<u>文明開化</u>、<u>富国強兵</u>、<u>国民皆兵</u>、<u>殖産興業</u>、<u>条約改正</u>、<u>列強</u>、<u>内閣制度</u>、<u>民権論と国権論</u>、<u>社会契約説</u> (d)、<u>欽定憲法</u>、<u>臣民</u>、<u>家族</u> (家) (b)、<u>統帥権</u>、<u>制限選挙</u>、<u>地租</u>、<u>寄生地主制</u>、<u>植民地</u> (d)、<u>租借</u> (租借地、租界)、<u>外債</u> (外国債)、<u>産業革命</u> (d)、<u>財閥</u>、<u>義務教育</u> (d)、<u>言文一致体</u>、<u>社会進化論</u> (適者生存論)</p>		
<p>単元</p>	<p>学習内容</p>	<p>項目</p>	<p>歴史用語</p>

幕藩体制の崩壊	開国前後の世界	ヨーロッパ諸国の開国要求 日本の対応	ペリー、浦賀、ハリス、プチャーチン、アヘン戦争  薪水給与令、日米和親条約、下田、箱館、 <u>最恵国待遇</u> 、日露和親条約、得撫島、 <u>樺太</u> 、孝明天皇、日米修好通商条約、横浜、神戸、 <u>居留地</u> (e)、 <u>領事裁判権</u> 、 <u>関税自主権</u> 、 <u>不平等条約</u> (e)
	開国とその影響	幕府内部の対立 朝廷をめぐる対立 開港による経済への影響	徳川家茂。徳川慶喜、井伊直弼、勝海舟  安政の大獄、桜田門外の変  五品江戸廻送令、生糸、金流出、茶 (c)
	尊王攘夷から倒幕へ	公武合体と尊攘運動  倒幕運動の展開 幕府の滅亡	生麦事件、 <u>尊王攘夷運動</u> (e)、 <u>公武合体</u> 、和宮、将軍後見職、政事総裁職、京都守護職、八月十八日の政変、禁門の変、長州征討 (第一次) 長州征討 (第二次)、薩長連合  <u>大政奉還</u> 、王政復古の大号令、世直し、ええじゃないか、天理教、金光教、黒住教
	廃藩置県の断行	新政府の発足  中央集権体制の成立	戊辰戦争、江戸開城、奥羽越列藩同盟、明治維新 (d,e)、五か条の誓文、 <u>公議世論</u> 、 <u>開国和親</u> 、五榜の掲示、明治天皇、一世一元の制、明治 (年号) 版籍奉還、知藩事、廃藩置県、府知事・県令、太政官、参議、藩閥政府
立憲国家の成立	明治初期の諸改革	徴兵制と警察  身分制度 地租改正 貨幣・金融制度 殖産興業	徴兵告諭、徴兵令、 <u>国民皆兵</u> (e)、内務省、大久保利通 華族、士族、平民、身分解放令、秩禄処分 田畑永代売買解禁、地租 (e)、地租改正条例 新貨条例、円・銭・厘、国立銀行条例、貿易銀  <u>殖産興業</u> (e)、 <u>富国強兵</u> (e)、富岡製糸場、鉄道、郵便制度、岩崎弥太郎、三菱、渋沢栄一、 <u>政商</u>
	明治初期の外交と国境問題	岩倉使節団 中国との関係 朝鮮との関係 国境の確定	岩倉具視、岩倉使節団 日清修好条規 江華島事件、日朝修好条規 琉球処分、沖縄県、樺太・千島交換条約、小笠原諸島、北海道、開拓使、屯田兵、 <u>移民</u> (b)
	明治初期の国内政治	明治六年の政変 民権運動の始まり  士族の反乱	征韓論、西郷隆盛  自由民権運動、 <u>民権論と国権論</u> (e)、民撰議院設立の建白書、板垣退助、立志社、木戸孝允、立憲政体樹立の詔、元老院、大審院、地方官会議、讒謗律、新聞紙条例、府県会 西南戦争

	文明開化	思想 教育 洋風化	<u>啓蒙思想</u> (d)、明六社、 <u>進化論</u> (d)、 <u>社会進化論</u> (e)、福沢諭吉、『学問のすすめ』、神仏分離令、 <u>廃仏毀釈</u> <u>近代教育</u> (d)、学制、小学校 <u>文明開化</u> (e)、太陽暦の採用、 <u>お雇い外国人</u>
	明治10年代の政治	自由民権運動の展開 明治十四年の政変 憲法草案 自由民権運動の激化	国会期成同盟、集会条例 開拓使官有物払下げ事件、国会開設の勅諭、明治十四年の政変 <u>私擬憲法</u> 、 <u>社会契約説</u> (d,e)、中江兆民 自由党、立憲改進黨、福島事件、秩父事件、大阪事件、保安条例
	明治10年代の経済と外交	松方財政 条約改正交渉 朝鮮をめぐる対立	松方正義、松方財政、日本銀行 <u>条約改正</u> (e)、井上馨、鹿鳴館、ノルマントン号事件、壬午軍乱、済物浦条約、甲申事変、天津条約、金玉均、 <u>脱亜入欧</u> (d)
	大日本帝国憲法の制定	国家機構の整備 大日本帝国憲法 法典の整備	伊藤博文、華族令、内閣制度 (e)、内閣総理大臣、内大臣、 <u>地方自治</u> (d)、市制・町村制、府県制・郡制、枢密院 大日本帝国憲法、大日本帝国 (d)、 <u>臣民</u> (e)、 <u>欽定憲法</u> (e)、 <u>天皇大権</u> 、緊急勅令、 <u>統帥権の独立</u> (e)、貴族院、衆議院、直接国税 民法、 <u>家族(家)</u> (b、e)、 <u>家父長制</u> 、商法
大日本帝国とアジア	日清戦争前後の世界と日本	条約交渉の好転と挫折 条約交渉の成功	青木周蔵、大津事件 陸奥宗光、日英通商航海条約
	議会と政党	初期議会 藩閥政府と政党 桂園時代	<u>議会政治</u> (d)、 <u>政党内閣</u> 、初期議会、超然主義、山県有朋、 <u>制限選挙</u> (e)、民党、選挙干渉、元勳内閣 大隈重信、隈板内閣、軍部大臣現役武官制、立憲政友会、治安警察法 <u>元老</u> 、桂太郎、西園寺公望、戊申詔書、地方改良運動、桂園時代
	日清戦争とその後の東アジア	日清戦争 下関条約と三国干渉 分割される中国 朝鮮半島	甲午農民戦争、東学、日清戦争 下関条約、 <u>賠償金</u> (d)、遼東半島、台湾、澎湖諸島、李鴻章、台湾総督府、 <u>植民地支配</u> (d)、三国干渉、日清通商航海条約 <u>中国分割</u> 、 <u>租借地</u> (e)、旅順・大連、義和団事件、北清事変、 <u>門戸開放・機会均等</u> 閔妃殺害事件、大韓帝国
	日露戦争前後の世界と日本	日英同盟 日露戦争 ポーツマス条約 日露戦争後の国際関係	<u>列強</u> (e)、日英同盟、 <u>帝国主義</u> (d) 日露戦争、日本海海戦、 <u>外国債</u> (e) ポーツマス条約、小村寿太郎、旅順・大連租借権、日比谷焼き打ち事件 日露協約

	日露戦争後の東アジア	朝鮮半島 満洲 中国	日韓協約、 <u>保護国</u> 、統監府、韓国統監、ハーグ密使事件、義兵運動、韓国併合、朝鮮総督府、土地調査事業 関東州、関東都督府、南満洲鉄道株式会社 孫文、 <u>三民主義</u> 、辛亥革命、中華民国、袁世凱、中国国民党
	産業革命の進行	全般 紡績・製糸 鉄道 重工業 農業	<u>工業化</u> (d)、 <u>産業革命</u> (d,e)、 <u>資本主義</u> (d)、金本位制、 <u>財閥</u> (e)、持株会社、コンツェルン 紡績業、大阪紡績会社、製糸業、女工 日本鉄道会社、鉄道国有法 八幡製鉄所、日本製鋼所 <u>寄生地主</u> (e)
	社会運動の開始	社会運動 政治結社	労働組合期成会、足尾鉍毒事件、田中正造、 <u>社会主義運動</u> (d)、 <u>労働運動</u> 平民社、幸徳秋水、大逆事件、工場法
	明治期の文化	思想と宗教 教育  科学 文学  芸術・スポーツ	三宅雪嶺、『国民之友』、徳富蘇峰、内村鑑三、『太陽』 学校令、帝国大学、 <u>義務教育</u> (d,e)、教育勅語、津田梅子 北里柴三郎、志賀潔 <u>言文一致体</u> (e)、二葉亭四迷、森鷗外、夏目漱石、与謝野晶子、正岡子規 東京音楽学校、フェノロサ、岡倉天心、狩野芳崖、黒田清輝、唱歌、体育（運動会）
<b>第10章 二つの世界大戦とアジア</b> (184語)			第一次世界大戦、 <u>委任統治領</u> (統治権)、 <u>借款</u> 、 <u>普通選挙</u> (d)、 <u>国体</u> 、 <u>政党政治</u> (d)、 <u>大衆化</u> (d)、 <u>中間層</u> (d)、 <u>大衆文化</u> 、 <u>マス＝メディア</u> (d)、 <u>協調外交</u> 、 <u>植民地近代化</u> 、 <u>恐慌</u> (d)、 <u>管理通貨制度</u> 、 <u>ブロック経済</u> 、 <u>全体主義</u> 、 <u>ファシズム</u> 、 <u>軍国主義</u> (d)、 <u>皇国史観</u> 、日中15年戦争、 <u>総力戦</u> 、 <u>統制経済</u> 、第二次世界大戦、アジア・太平洋戦争（大東亜戦争・大太平洋戦争）(d)
単元	学習内容	項目	歴史用語
大日本帝国と世界	第一次世界大戦と日本	第一次世界大戦の原因と経過 日本の大戦参加 ヴェルサイユ体制 ワシントン体制 国際協調の時代	三国同盟、三国協商、第一次世界大戦 (e)、金輸出禁止 <u>委任統治領</u> (e) ヴェルサイユ条約、ウィルソン、 <u>民族自決</u> (d)、国際連盟、常任理事国 四カ国条約、九カ国条約、ワシントン海軍軍縮条約 <u>協調外交</u> (e)、幣原喜重郎、不戦条約、ロンドン海軍軍縮条約
	東アジアと日本	中国との関係 中国統一の動き	二十一カ条要求、石井・ランシング協定、 <u>借款</u> (e)、五・四運動 <u>軍閥</u> 、蔣介石、北伐、国民政府

		朝鮮との関係 ソ連との関係	三・一独立運動 寺内正毅、ロシア革命、日ソ基本条約
政党政治 の発展	第1次護憲運動 政党内閣の成立 第2次護憲運動 二大政党の時代		大正、第1次護憲運動、大正政変、尾崎行雄 米騒動、原敬 <u>(男子)普通選挙</u> (d,e)、第2次護憲運動、護憲三派、 <u>憲政会</u> 、加藤高明、「 <u>憲政の常道</u> 」、普通選挙法、治安維持法、 <u>国体</u> (e) 昭和天皇、若槻礼次郎、田中義一、特別高等警察（特高警察）、張作霖、立憲民政党、浜口雄幸、井上準之助、金解禁、犬養毅
大戦景気 と戦後不況	大戦景気 戦後恐慌から 金融恐慌		大戦景気、成金 <u>恐慌</u> (d,e)、戦後恐慌、関東大震災、金融恐慌、モラトリアム
社会運動 の発展	労働運動 農民運動 女性解放運動  部落解放運動 社会主義運動		友愛会、日本労働総同盟、 <u>労働争議</u> 、メーデー 日本農民組合、 <u>小作争議</u> 青鞞社、平塚らいてう、新婦人協会、市川房枝、婦人参政権獲得期成同盟会、母性保護論争、家族計画、優生思想 全国水平社 <u>共産主義</u> 、日本共産党、 <u>無政府主義</u>
大正期の 文化	全般 都市化の進展 大衆文化  学術・思想  美術 文学		<u>大衆化</u> (d,e)、 <u>大正デモクラシー</u> 、 <u>植民地近代化</u> (e) <u>都市化</u> (d)、文化住宅、デパート、遊園地 <u>大衆文化</u> (e)、 <u>マス＝メディア</u> (d)、 <u>ジャーナリズム</u> 、映画、ラジオ放送 民本主義、吉野作造、津田左右吉、柳田国男、民俗学、マルクス主義 横山大観、柳宗悦 白樺派、芥川龍之介、川端康成、プロレタリア文学、小林多喜二
大日本 帝国の 崩壊	世界恐慌 とその影 響	世界恐慌  ナチス 昭和恐慌と経 済の重化学工 業化	世界恐慌、 <u>ブロック経済</u> (e)、 <u>「持てる国」と「持たざる国」</u> 、 <u>ファシズム</u> (e)、 <u>全体主義</u> (e) ヒトラー、ナチス 昭和恐慌、高橋是清、 <u>管理通貨制度</u> 、新興財閥、重化学工業
	満洲事変 から日中 戦争	満洲事変 国際連盟から の脱退 日中戦争の勃 発	張学良、関東軍、満洲事変、柳条湖事件 リットン調査団、満洲国、溥儀、執政、国際連盟脱退  中国共産党、西安事件、国共合作（第二次）、日中15年戦争 (e)、盧溝橋事件、南京大虐殺、近衛文麿、東亜新秩序声明、汪兆銘

軍部の台頭と政党政治	政党政治の崩壊 軍国主義化の進展 二・二六事件 戦時体制の強化	軍部、血盟団事件、五・一五事件、犬養毅 <u>軍国主義</u> (d,e)、滝川事件、美濃部達吉、天皇機関説問題、国体明徴声明 二・二六事件、日独防共協定 日米通商航海条約廃棄通告、 <u>総力戦</u> (e)、国家総動員法、国民徴用令、 <u>統制経済</u> (e)、 <u>配給制</u> 、満蒙開拓団、国民精神総動員運動、 <u>皇国史観</u> (e)
第二次世界大戦と日本	第二次世界大戦の勃発 日独伊三国同盟の締結	独ソ不可侵条約、ノモンハン事件、第二次世界大戦(e) 新体制運動、大政翼賛会、隣組、大日本産業報国会、国民学校、仏印進駐、援蔣ルート、日独伊三国同盟
アジア・太平洋戦争	開戦の準備と日米交渉 アジア・太平洋戦争の勃発 占領地支配と抵抗	日ソ中立条約、独ソ戦、南進政策、帝国国策遂行要領、東条英機、御前会議、ハル=ノート アジア・太平洋戦争(大東亜戦争、太平洋戦争) (d,e)、真珠湾攻撃、大東亜共栄圏 <u>戦争犯罪</u> 、皇民化政策、創氏改名、従軍慰安婦
大日本帝国の敗戦	戦局の転換 国民生活の破壊 連合国の会談 大日本帝国の降伏	ミッドウェー海戦、ガダルカナル島、大東亜会議 勤労働員、学徒出陣、学童疎開  カイロ宣言、ヤルタ協定 サイパン陥落、東京大空襲、沖縄戦、鈴木貫太郎、ポツダム宣言、原子爆弾

<b>第11章 占領下の日本 (75語)</b>	<u>占領軍</u> 、 <u>戦犯</u> (戦争犯罪人)、 <u>民主化</u> (戦後) (d)、 <u>象徴天皇制</u> 、 <u>主権在民</u> 、 <u>基本的人権</u> (d)、 <u>戦争放棄</u> 、 <u>政教分離</u> 、 <u>地方自治</u> (d)、 <u>農地改革</u> 、 <u>女性参政権</u> (選挙権)、 <u>冷戦</u> (東西冷戦)、朝鮮戦争、 <u>単独</u> (片面) <u>講和</u> 、 <u>脱植民地化</u> 、 <u>賠償</u> (d)、 <u>「逆コース」</u>
--------------------------	--

単元	学習内容	項目	歴史用語
日本国の再出発	戦後世界秩序と日本の占領政策	国際連合 初期の占領政策	国際連合 <u>占領軍</u> (e)、連合軍最高司令官総司令部 (GHQ)、マッカーサー、極東委員会、対日理事会、軍政、 <u>間接統治</u> 、 <u>幣原喜重郎</u> 、五大改革指令、 <u>戦争犯罪人</u> (e)、A級戦犯、極東国際軍事裁判、神道指令、天皇の神格否定宣言、公職追放
	新憲法の制定と日本の民主化	日本国憲法  経済  社会教育	<u>民主化</u> (戦後) (d,e)、日本国憲法、 <u>主権在民</u> (e)、 <u>基本的人権</u> (d,e)、 <u>戦争放棄</u> (e)、 <u>象徴天皇制</u> (e)、 <u>政教分離</u> (e)、 <u>三権分立</u> (d)、 <u>地方自治</u> (d,e) <u>農地改革</u> (e)、 <u>財閥解体</u> 、過度経済力集中排除法、独占禁止法 労働組合法、労働関係調整法、労働基準法 教育基本法、教育委員会、教育委員会公選制
	戦後の政治と社	政党政治の復活	<u>女性参政権</u> (e)、吉田茂、芦田均

	会・文化	生活の混乱と大衆運動 文化	金融緊急措置令、傾斜生産方式、二・一ゼネスト計画、経済安定九原則、ドッジ＝ライン、単一為替レート、シャープ勧告、労働組合 湯川秀樹、文化財保護法
	冷戦とアジア	冷戦構造の形成 東アジアの「熱戦」	<u>冷戦</u> (e) 毛沢東、中華人民共和国、台湾（国民政府）、大韓民国、朝鮮民主主義人民共和国、朝鮮戦争 (e)、国連軍、朝鮮休戦協定
	講和条約と独立の回復	占領政策の転換 講和と安保条約 経済の復興	警察予備隊、レッド＝パージ サンフランシスコ講和会議、 <u>全面講和論</u> 、 <u>単独（片面）講和</u> (e)、サンフランシスコ平和条約、日米安全保障条約、 <u>賠償</u> (d,e)、日米行政協定 (朝鮮) 特需、国際通貨基金 (IMF)
	多極化する世界と日本	多極化する世界 原水爆禁止運動 「逆コース」化	<u>脱植民地化</u> (e)、アジア＝アフリカ会議 ビキニ水爆実験、第五福竜丸、原水爆禁止運動 <u>「逆コース」</u> (e)、保安隊、MSA協定（日米相互防衛援助協定）、自衛隊、破壊活動防止法、基地反対闘争、 <u>核の傘</u> 、 <u>核の平和利用</u>
<b>第12章 高度成長の時代</b> (59語)			<u>55年体制</u> 、 <u>平和共存</u> 、高度経済成長 (d)、 <u>技術革新</u> 、 <u>終身雇用制</u> 、 <u>消費者</u> 、 <u>大量生産・大量消費</u> (d)、 <u>核家族</u> 、 <u>中流意識</u> 、 <u>都市化</u> (d)、 <u>過疎化</u> 、 <u>公害問題</u> 、 <u>福祉国家</u> 、 <u>社会福祉・社会保障</u> 、学生運動、変動相場制、省資源
単元	学習内容	項目	<u>歴史用語</u>
「中流化」する日本	55年体制の成立と国際社会への復帰	55年体制 ソ連との国交回復 安保条約の改定	日米地位協定、鳩山一郎、日本社会党、自由民主党、 <u>55年体制</u> (e) <u>平和共存</u> (e)、日ソ共同宣言、北方領土、国際連合加盟 岸信介、日米新安全保障条約、(60年) 安保闘争

	高度経済成長期の日本	世界情勢 高度経済成長  沖縄返還  公害問題の発生 生活様式の変化	ベトナム戦争、ベトナム反戦運動 池田勇人、「 <u>所得倍増</u> 」、神武景気、 <u>技術革新</u> (e)、 <u>高度経済成長</u> (d,e)、 <u>終身雇用制</u> (e)、 <u>大量生産・大量消費</u> (d,e)、 <u>経済大国</u> 、 <u>経済協力開発機構 (OECD)</u> 、 <u>農業基本法</u> 、 <u>都市化</u> (d,e)、 <u>過疎化</u> (e)、 <u>福祉国家</u> (e)、 <u>社会福祉・社会保障</u> (e) 佐藤栄作、日韓基本条約、祖国復帰運動、沖縄返還協定、公明党 <u>公害問題</u> (e)、 <u>公害対策基本法</u> 、 <u>環境庁</u> 、 <u>環境権</u>  テレビ放送、 <u>サラリーマン</u> 、 <u>消費者</u> (e)、 <u>耐久消費財</u> 、 <u>三種の神器</u> 、 <u>東海道新幹線</u> 、 <u>高速道路</u> 、 <u>東京オリンピック</u> 、 <u>日本万国博覧会</u> 、 <u>核家族</u> (e)、 <u>主婦</u> 、 <u>中流意識</u> (e)、 <u>学生運動</u> (e)
	低成長期の日本	世界情勢  日本	金・ドル交換停止、 <u>変動相場制</u> (e)、第四次中東戦争、石油危機 (石油ショック)、 <u>省資源 (省エネ)</u> (e)、先進国首脳会議 (サミット) 田中角栄、「 <u>列島改造</u> 」、日中共同声明、ロッキード事件、日中平和友好条約、中国残留孤児
<b>第13章 激動する世界と日本</b> (90語)			<u>新自由主義</u> 、 <u>金融自由化</u> 、 <u>小さな政府</u> (d)、 <u>日本型経営</u> 、 <u>貿易摩擦</u> (d)、日米同盟、冷戦終結、 <u>集団的自衛権</u> 、 <u>集団的安全保障体制</u> 、 <u>テロリズム</u> 、 <u>難民</u> (d)、 <u>グローバル化</u> (d)、 <u>東アジアの奇跡</u> 、 <u>技術移転</u> 、 <u>多国籍企業</u> 、 <u>外国人労働力</u> 、 <u>移民</u> (b)、 <u>非正規労働者</u> 、 <u>格差社会</u> 、 <u>貿易摩擦</u> (d)、 <u>保護貿易</u> (d)、 <u>地球環境問題</u> (d)、 <u>地球温暖化</u> 、 <u>持続可能な開発</u> 、 <u>NPO・NGO (非政府組織)</u> 、 <u>生命工学</u> 、 <u>量子力学</u> 、 <u>IT化 (ICT化)</u> (d)、 <u>SNS (ソーシャル・ネットワーク・サービス)</u> 、 <u>外国旅行</u> 、 <u>ポスト・モダン思想</u> 、 <u>ポピュラー・カルチャー</u> 、 <u>サブ・カルチャー</u> 、 <u>観光</u> 、 <u>文化摩擦</u> 、 <u>多文化主義</u> 、 <u>排外主義的ナショナリズム</u> 、 <u>ポピュリズム</u> 、 <u>領土・領海紛争</u> 、 <u>歴史認識・教科書問題</u> 、 <u>核開発 (発展途上国)</u> 、 <u>サイバー攻撃 (サイバー・テロ)</u> 、 <u>戦時性暴力</u> 、 <u>人間の安全保障</u> 、 <u>平和運動</u> (d)、 <u>賠償 (戦争、災害など)</u> (d)、 <u>男女共同参画</u> 、 <u>フェミニズム (女性解放運動)</u> (d)、 <u>少子高齢化</u>
単元	学習内容	項目	歴史用語
福祉国家から「新自由主義」	新自由主義の世界と日本	世界情勢の変化  日本	ゴルバチョフ、ペレストロイカ、 <u>新自由主義</u> (e)、 <u>規制緩和</u> 、 <u>競争原理</u> 、 <u>民営化</u> 、 <u>小さな政府</u> (d,e) レーガン 中曽根康弘、日米同盟 (e)、電電・専売・国鉄民営化、消費税、円高不況、プラザ合意、 <u>貿易摩擦</u> (d,e)、 <u>男女雇用機会均等法</u> 、 <u>バブル経済</u> 、 <u>日本型経営</u> (e)

へ	冷戦の終結	新しい対立と協力  日本の転換と社会不安	冷戦終結 (e)、ドイツ統一、湾岸戦争、多国籍軍、国連平和維持活動 (PKO)、アジア太平洋経済協力会議 (APEC) 平成、国際平和協力法 (PKO 法)、阪神・淡路大震災、小選挙区制、オウム真理教事件
	21 世紀の世界と日本	新たな脅威  経済のグローバル化  日本政治	<u>テロリズム</u> (e)、 <u>難民</u> (d,e)、同時多発テロ事件 (9.11)、イラク戦争、 <u>集団安全保障体制</u> (e)、 <u>集団的自衛権</u> (e) <u>グローバル化</u> (d,e)、 <u>自由貿易</u> (d)、 <u>金融自由化</u> (e)、 <u>技術移転</u> (e)、 <u>東アジアの奇跡</u> (e)、 <u>多国籍企業</u> (e)、 <u>地産地消</u> 、 <u>非正規労働者</u> (e)、 <u>格差社会</u> (e)、 <u>貿易摩擦</u> (d,e)、 <u>保護貿易</u> (d,e) 小泉純一郎、 <u>構造改革</u> 、郵政民営化法、(日本人) 拉致問題、民主党政権
現代世界と日本の課題	科学技術と環境	新しい科学技術 環境問題  原子力問題	<u>生命工学</u> (e)、 <u>量子力学</u> (e)、抗生物質、遺伝子、クローン技術、人工知能 <u>資源・環境問題</u> (d,e)、京都議定書、 <u>地球温暖化</u> (e)、 <u>持続可能な開発</u> (e)、東日本大震災 (3.11) 福島原発事故
	情報化時代の文化	情報化と人の移動  文化の変容と新しい思想	<u>IT化 (ICT化)</u> (d,e)、 <u>SNS (ソーシャル・ネットワーク・サービス)</u> (e)、 <u>外国人労働力</u> (e)、 <u>出稼ぎ</u> 、 <u>移民</u> (b,e)、 <u>外国旅行</u> (e) <u>社会史</u> 、 <u>ポスト・モダン思想</u> (e)、 <u>言語論的転回</u> 、 <u>伝統の創造</u> 、 <u>日本人論 (日本文化論)</u> 、 <u>ハイ・カルチャー</u> 、 <u>ポピュラー・カルチャー</u> (e)、 <u>サブ・カルチャー</u> (e)、 <u>マンガ・アニメ・ゲーム</u> 、 <u>クール・ジャパン</u> 、 <u>ソフト・パワー</u> 、 <u>観光</u> (e)
	社会の変動	ナショナリズムと民主主義・人権    家族と女性	<u>文化摩擦</u> (e)、 <u>多文化主義</u> (e)、 <u>排外主義的ナショナリズム</u> (e)、 <u>ポピュリズム</u> (e)、 <u>領土・領海紛争</u> (e)、 <u>歴史認識・教科書問題</u> (e)、 <u>核開発 (発展途上国)</u> (e)、 <u>サイバー攻撃 (サイバー・テロ)</u> (e)、 <u>戦時性暴力</u> (e)、 <u>人間の安全保障</u> (e)、 <u>積極平和主義</u> 、 <u>賠償 (戦争、災害など)</u> (d,e)、 <u>NPO・NGO (非政府組織)</u> (e) <u>男女共同参画</u> (e)、 <u>ジェンダー主流化</u> 、 <u>フェミニズム (女性解放運動)</u> (d,e)、 <u>性的マイノリティ (LGBTQ)</u> 、 <u>家父長制</u> 、 <u>少子高齢化</u> (e)

第1部会世界史用語精選 第一次案 作業ファイル

以下の表は、高等学校歴史教育研究会編『歴史教育における高等学校・大学間接続の抜本的改革』(2014年9月刊)掲載の鳥越泰彦・小川幸司による世界史重要用語選定の作業ファイルを基に、新たに高大連携歴史教育研究会第1部会の世界史用語ワーキンググループが精選作業を行ったファイルの「東アジア・東南アジア世界の動向」部分の抜粋(明清および同時代の東アジア・東南アジア地域)である。  
なお、元ファイルの単元・小見出し等の名称・用語順や用語配列は山川出版社『新課程用 世界史B用語集』(2004年初版発行)によるものである。

凡例: A・B列について…山川出版社『新課程用 世界史B用語集』(2004年刊)掲載の見出し用語に通し番号(A列)を振り、用語(B列)を入力  
C・D列について…鳥越・小川による重要用語精選案(選定用語に★)・小川コメント  
E列について…鳥越・小川による作業当時の世界史B教科書11冊中の掲載頻度1~11  
F・G列について…「東アジア・東南アジア世界の動向」部分について矢部による用語精選案(F列・選定用語に○)・矢部コメント(G列)  
H・I列について…世界史用語ワーキンググループの精選案(H列・選定用語に○)・精選の理由(I列)

第8章 アジア諸地域の繁栄-1. 東アジア・東南アジア世界の動向-1. 明の成立・発展									
A	B	C	D	E	F	G	H	I	
番号	用語	鳥越・小川案	小川コメント	頻度	矢部案	矢部コメント	WG案	精選理由	
2683	明	★		11	○	王朝名	○	14世紀の危機 元末へ	
2684	紅巾の乱		重複	11	○	明の出現には不可欠な用語		14世紀の危機 元末へ	
2685	白蓮教			6		白蓮教の説明は、元～明～清でたびたび登場するのでコラム等で説明すべき		元末へ	
2686	朱元璋(洪武帝・太祖)	★		11	○		○	洪武帝・太祖は不要	
2687	一世一元の制	★		7		日本の元号制度にも繋がるので朱元璋に関するコラム等で説明があってもよい	○	日本の元号との関係	
2688	南京(金陵)	★		10	○	江南を本拠とした中国統一王朝であることの象徴	○	金陵は不要	
2689	六部[明]		重複	10	△	朱元璋の政治中書省・宰相の廃止	○	皇帝への直屬化として重要	
2690	中書省廃止	★		10	△			明の国家の性質を叙述	
2691	宰相制廃止			4	△			明の国家の性質を叙述	
2692	明律(大明律)		説明の工夫	8		明が唐以来の制度を継承するとともに宋元の制度を継承したという表現で		明の国家の性質を叙述	
2693	明令(大明令)		説明の工夫	8		明が唐以来の制度を継承するとともに宋元の制度を継承したという表現で		明の国家の性質を叙述	
2694	軍戸		説明の工夫	8		衛所制の説明には何らか説明は必要		明の国家の性質を叙述	
2695	衛所制	★		11	○	十進法組織は遊牧国家の模倣である		明の国家の性質を叙述	
2696	五軍都督府			2		細かい用語		細かい	
2697	都察院			1		細かい用語		細かい	
2698	民戸			6		漢代以来設置された御史台を継承した官僚の監察機関を置いたということ 歴代中国王朝の継承		明の国家の性質を叙述	
2699	匠戸			2		細かい用語		明の国家の性質を叙述	
2700	里甲制	★		11	○	民衆の組織管理を行ったことは重要		明の国家の性質を叙述	
2701	賦役黄冊		説明の工夫	11	△	図版とその説明で名称は挙げてよい		説明で	
2702	魚鱗図冊		説明の工夫	11	△	図版とその説明で名称は挙げてよい		説明で	
2703	六諭	★		11	○	儒教的教訓を施したことは重要	○	後世への影響 モデル	
2704	里老人			3		細かい用語		細かい	
2705	建文帝(惠帝)			7		人名削減		人名削減	
2706	靖難の役		説明の工夫	8	○	明の画期		事件名を入れて用語を増やさない、説明で	
2707	燕王朱棣			4		永楽帝だけでよい		不要 永楽帝のみでよい	
2708	永楽帝(成祖)	★		11	○	明の大きな転換を図った皇帝	○	明の画期	
2709	北平(北京)	★		11	○		○	北平は不要	
2710	内閣[中国]			3		内閣という用語は現代政治にも通じるので説明とともに入れるべき	○	現代政治へ通じる	
2711	内閣大学士			6	○			内閣のみでよい	
2712	モンゴル遠征		説明の工夫	11		これを用語とするのか?		用語としない	
第8章 アジア諸地域の繁栄-1. 東アジア・東南アジア世界の動向-2. 朝貢貿易と北虜南倭									
2713	鄭和	★		11	○	この人物の活動は海境アジア全般の交易に重要	○	矢部案通り	
2714	南海諸国遠征	★		11		内容は重要だが用語として扱う必要がない		用語としない	
2715	海禁	★		9	○	明の対外貿易施策	○	「海禁-朝貢体制」とする	
2716	朝貢貿易	★		10	○	明の貿易においてこの用語は不可欠		「海禁-朝貢体制」とする	
2717	冊封体制			5		既出		ここでは不要	
2718	北虜南倭	★		10	○	この言葉で陶磁の明への貿易制限政策への反動という説明に不可欠		明側の評価で一面的表現 説明で	
2719	北元		説明の工夫	8		モンゴルの北方後退いう表現でよい		矢部案通り	
2720	正統帝(英宗)		修飾人物	8		人名削減		人名削減	
2721	韃靼(タタール)		網羅主義克服	10		元の末裔らの勢力という表現で十分一地図で勢力図示		韃靼 タタール共に不適 モンゴルとして地図へ	
2722	エセン=ハン		説明の工夫	8		人名削減		人名削減	
2723	土木堡			4		細かい用語		細かい	
2724	土木の変	★		9	○	北虜を象徴する出来事、交易を求めるモンゴル		叙述で	
2725	オイラト(瓦剌)		網羅主義克服	11		地図で勢力図示、コラム等でタタールとともに		地図で示す	
2726	アルタン=ハン			7		人名削減		人名削減	
2727	倭寇	★		11	○	南倭の説明に必要不可欠	○	当時の明の状況叙述に必要	
2728	前期倭寇			3		船の図版やコラム等で		倭寇のみでよい	
2729	後期倭寇			4		船の図版やコラム等で		倭寇のみでよい	
第8章 アジア諸地域の繁栄-1. 東アジア・東南アジア世界の動向-3. 明の衰退と女真の発展									
2730	万曆帝(神宗)			5		この皇帝の時代については重要事項はあるが人名として不要		人名削減するかこの時代の叙述は必要	
2731	宦官			7	既出			既出	
2732	張居正			7		凡庸な皇帝の下で内閣大学士が政務を執ったという説明で		人名削減	
2733	顧憲成			5		党争についてのコラム等で		人名削減	
2734	東林書院			5		党争についてのコラム等で		細かい	
2735	東林派		説明の工夫	8		党争についてのコラム等で		細かい	
2736	非東林派			3		党争についてのコラム等で		細かい	

2737	魏忠賢		[参考]		党争についてのコラム等で		人名削減
2738	万里の長城修築	説明の工夫	8	△	これを用語とするのか要検討		用語としない
2739	崇禎帝(毅宗)		2		明最後の皇帝であるが、事績としてあえて必要ではない		人名削減
2740	李自成	★	11	○	明滅亡時の反乱として必要		人名削減
2741	ツングース		3		既出		既出
2742	女真(女直・満州人)	重複	11	○	既出であるが清朝の民族を示す用語として必要	○	矢部案通り
2743	建州部		6		細かい用語 女真の部族という表現で		細かい
2744	マンジュ(満州) マンジュ(満州)		6		コラムでマンジュ=満洲の説明があった方がよい	○	満州→満洲で
2745	ヌルハチ(太祖)	★	11	○	建国者	○	建国者
2746	後金(金)	★	10	○	女真の後継国としての名称であり必要		叙述で
2747	アイシン(金)		2		アイシンの意味は先のマンジュ=満洲のコラムとともに		不要
2748	八旗	★	11	○	社会・軍事組織として重要用語	○	清朝の重要用語
2749	旗人		4		旗の構成の説明はコラムであった方がよい		細かい
2750	旗地		3		旗の構成の説明はコラムであった方がよい		細かい
2751	満州八旗		5		旗の構成の説明はコラムであった方がよい		八旗で叙述
2752	蒙古八旗		5		旗の構成の説明はコラムであった方がよい		八旗で叙述
2753	漢軍八旗		5		旗の構成の説明はコラムであった方がよい		八旗で叙述
2754	緑営		7	○	八旗・軍機処は以下の漢人正規軍として必要な用語		叙述で
2755	ホントイジ(ホントイジ)	★	10	△	ホントイジの事績は必要	○	事績も重要
2756	チャハル部		5		内モンゴルの部族平定という表現でよい		矢部案通り
<b>第8章 アジア諸地域の繁栄-1. 東アジア・東南アジア世界の動向-4. 明代の社会</b>							
2757	長江中流域の穀倉化を表現する用語として	★ 関連用語	6	○			叙述で
2758	メキシコ銀	説明の工夫	11	○	この中国へ与えたインパクトの大きさ	○	銀の重要性・世界性
2759	馬蹄銀		3		銀に関するコラムを設置し形状についても触れてはどうか?		図版で
2760	日本銀	説明の工夫	10		銀に関するコラムを設けて触れる		銀の重要性・世界性
2761	一条鞭法	★	11	○	税制は重要	○	正確な叙述とともに
2762	客商		1		説明で		細かい
2763	蘇州		3		地図で		地図で
2764	杭州		3		地図で		地図で
2765	新安(徽州)商人	★	10	○	広く外国とも取引した世界性のある商人		国際的に活躍した商人の説明
2766	山西商人	★	10	○	広く外国とも取引した世界性のある商人		国際的に活躍した商人の説明
2767	会館・公所	★	9	○	現代日本にも通じることばの語源	○	現代に通じる
2768	景德鎮	重複	9	○	現代の窯業中心でもある	○	宋代よりむしろ明代以降で
2769	郷紳[中国]	★ 地域理解	5	○	大土地所有者であり地方有力者		地方有力者という表現で一般化
2770	華僑		3	△	既出であるが世界性を考えると再登場も		概念用語へ
2771	民変		1		細かい用語 当時の農民らの生活コラムがあってもよいか		細かい
2772	奴変		1		細かい用語 当時の農民らの生活コラムがあってもよいか		細かい
2773	城居地主		1		細かい用語 当時の農民らの生活コラムがあってもよいか		細かい
2774	佃戸		5		既出		小作人 小農の説明で
2775	抗租運動		7	○	当時農民が何に不満を抱いていたのか実態について述べるべき		小作料への抵抗運動という説明で
<b>第8章 アジア諸地域の繁栄-1. 東アジア・東南アジア世界の動向-5. 明代の文化</b>							
2776	朱子学	重複	10	○	重複するがここでも重要	○	重複になるがこの単位でも重要
2777	王陽明(王守仁)	★	9	○	朱子学への対抗		人名削減
2778	陽明学	★	10	○	日本の思想家に大きな影響 ex.大塩平八郎	○	日本への影響
2779	心即理		1		説明で		倫理へ
2780	知行合一	説明の工夫	10		説明で		倫理へ
2781	致良知		3		説明で		倫理へ
2782	李贄(李卓吾)		3		細かい人名		人名削減
2783	『永楽大典』	★	9		明代の国家的編纂事業として述べ、あとは文化史表にてまとめる	○	文化史上重要
2784	『四書大全』		6		明代の国家的編纂事業として述べ、あとは文化史表にてまとめる		書名削減
2785	『五経大全』		5		明代の国家的編纂事業として述べ、あとは文化史表にてまとめる		書名削減
2786	『性理大全』		2		明代の国家的編纂事業として述べ、あとは文化史表にてまとめる		書名削減
2787	黄宗羲		3		人名は文化史表にて		人名削減
2788	顧炎武		4		人名は文化史表にて		人名削減
2789	考証学		5	○	明末清初より発達した学問	○	文化史上重要
2790	宋学(経世致用の学)		6		説明で十分か		説明で
2791	『農政全書』	文化史簡略	8		文化史表にて		書名削減
2792	徐光啓	文化史簡略	10		人名は文化史表にて		人名削減
2793	『本草綱目』	文化史簡略	9		文化史表にて		書名削減
2794	李時珍		7		人名は文化史表にて		人名削減
2795	『天工開物』	文化史簡略	10		文化史表にて		書名削減
2796	宋応星	文化史簡略	8		文化史表にて		人名削減
2797	『崇禎曆書』		6		文化史表にて		書名削減
2798	『水滸伝』	★	8		現代中国日本で人口に膾炙	○	人口に膾炙 現代にも読者
2799	『三国志演義』	★ 地域理解	7	○	現代中国日本で人口に膾炙	○	人口に膾炙 現代にも読者
2800	『西遊記』	★ 地域理解	7		現代中国日本で人口に膾炙	○	人口に膾炙 現代にも読者
2801	『金瓶梅』		7		文化史表にて 四大奇書のくくりで		書名削減
2802	四大奇書		3		文化史表にて		この言葉があるから四つ用語が増える
2803	『今古奇観』		1		細かい用語		細かい
2804	『牡丹亭還魂記』		1		細かい用語		細かい
2805	文人画		1		文化史表		矢部案通り

2806	南宗画(南画)			2		文化史表		矢部案通り
2807	董其昌			3		細かい人名		人名削減
2808	院体画			1		文化史表		矢部案通り
2809	北宗画(北画)			2		文化史表		矢部案通り
2810	仇英			2		細かい人名		人名削減
2811	染付			4		図版で		図版で作成技術の説明を
2812	赤絵			6		図版で		図版で作成技術の説明を
<b>第8章 アジア諸地域の繁栄-2. 清代の中国と隣接諸地域-1. 清の中国統一</b>								
2813	清	★		11	○	王朝名 大清帝国	○	国名
2814	順治帝(世祖)			4				人名削減
2815	山海関			4		地図で		地図で
2816	呉三桂		説明の工夫	9	○		○	三藩
2817	北京		重複	9	○	中国皇帝となった清朝君主の象徴	○	国都
2818	康熙帝(聖祖)	★		11	○	東アジアにおける大皇帝	○	事績重要な皇帝
2819	三藩の乱	★		11	○	説明で	○	清朝の画期
2820	藩王			6		説明で		細かい
2821	鄭成功	★		10	○	反清復明勢力の代表	○	矢部案通り
2822	鄭芝竜			3		近松の浄瑠璃「国性爺合戦」についてのコラムが図説にあってもよい		細かい
2823	国姓爺			5		近松の浄瑠璃「国性爺合戦」についてのコラムが図説にあってもよい		細かい コラムへ
2824	ゼーランド(安平城)			1		細かい用語 台湾についてのコラムで出てきてもよい		細かい
2825	遷界令			2		沿岸の中国住民を内陸部へ移すという説明で		叙述で
2826	鄭氏台湾	★		9		台湾という一般地名として出せばよい		台湾という一般地名で説明
2827	ネルチンスク条約	★		11	○	清露間の国境策定につき重要	○	ロシアとの国境策定 重要
2828	ジュンガル部		網羅主義克服	9		地図で	○	最後の遊牧帝国で、この平定をもって清朝領域最大になった
2829	青海()			7		地図で		地図で
2830	雍正帝(世宗)	★		11	○	皇帝による専制支配の典型	○	事績重要な皇帝
2831	キャプタ条約			7	○	外モンゴルにおける清露国境→現代地勢に影響		叙述で
2832	乾隆帝(高宗)	★		11	○	清朝版図と支配の完成期	○	事績重要な皇帝
2833	回部			2		地図で		細かい
2834	新疆	★		8	○	清朝領土最大に 新疆ウイグル自治区にその名をとどめる	○	現代に通じる
2835	科挙[清]		重複	8		既出だが科挙を実施したところに清朝の中国支配が確立		概念用語へ
2836	満漢併用制	★		11	○	満州人の漢族支配のあり方		叙述で
2837	内閣大学士			6		既出		不要
2838	軍機処	★		10	○	軍事政治の最高機関		ブレーンによる皇帝補佐という説明で
2839	軍機大臣			2		大臣という一般名詞で		ブレーンによる皇帝補佐
2840	六部			1		ここではあえて出さなくてもよい		ここでは不要
2841	藩部	★		10	○	各地・各民族の自治	○	清朝支配の重要語
2842	理藩院	★		10	○	藩部の監督事務機関		役所名は不要
2843	郷紳[中国]			4	○	既出 明清期の地方権力者で科挙合格者を輩出		地方有力者の表現で
2844	辦(弁)髪(辦髮令)	★		11	○	清朝の漢人支配の形態	○	清朝支配のあり方を示す満洲人の習俗
2845	文字の獄	★		10	○	清朝の言論弾圧策		叙述説明で
2846	禁書		説明の工夫	8	○	清朝の言論弾圧策		叙述説明で
<b>第8章 アジア諸地域の繁栄-2. 清代の中国と隣接諸地域-2. 清代の社会経済と文化</b>								
2847	会館・公所			4		明代で既出	○	現代に通じることば
2848	山西商人			4		明代で既出		商人活動は明代で、叙述で
2849	新安(徽州)商人			4		明代で既出		商人活動は明代で、叙述で
2850	地銀(地稅)	★		11		説明で		説明で
2851	丁銀(丁稅)	★		11		説明で		説明で
2852	地丁銀	★		11	○	18世紀初頭に施行の重要な税制	○	矢部案通り
2853	海関			1		ここであえて必要ではなく説明で		説明で
2854	広州			7		既出 地図で		既出
2855	公行()			7	○	対外特許商人を通しての貿易		説明で
2856	華僑(南洋華僑)	★		8	○	清朝18世紀の人口急増を受けた人口動態の一つ		概念用語へ
2857	抗糧			4		細かい用語		細かい
2858	奴交			1		細かい用語		細かい
2859	民交			1		細かい用語		細かい
2860	白蓮教徒の乱			3		既出 清朝の衰退のところで扱う		後章で扱う
2861	満州文字			6		文書行政が行われた文字についてのコラム		コラム等で
2862	『康熙字典』	★		9		清朝文化史表で	○	漢字事典として現代に通じる
2863	『古今圖書集成』		網羅主義克服	8		清朝文化史表で		書名削減
2864	『大義覚迷録』			1		コラム専制君主雍正帝のコラム		細かい 雍正帝のコラム等で
2865	『四庫全書』	★		10		清朝文化史表で	○	大叢書
2866	考証学	★		9	○	古典の実証的研究の学問の誕生	○	明末清初に発達した叙述共に
2867	黄宗羲	★	関連用語	6		文化史表にて		人名削減
2868	顧炎武		文化史簡略	8		文化史表にて		人名削減
2869	王夫之			1		文化史表にて		細かい
2870	銭大昕			6		文化史表にて		細かい
2871	戴震			1		細かい人名		細かい
2872	段玉裁			1		細かい人名		細かい
2873	公羊学			4		清末で説明		清末、康有為のところで
2874	『紅樓夢』	★		10	○	清朝文学の代表		書名削減
2875	『儒林外史』		文化史簡略	9	○	社会世相を表した小説		書名削減
2876	『聊齋志異』			6		文化史表		書名削減
2877	『長生殿伝奇』			4		文化史表		書名削減
2878	『桃花扇伝奇』			2		文化史表		書名削減
2879	石濤			1		細かい人名		細かい人名

2880	八大山人			1		細かい人名		細かい人名
2881	紫禁城	★	一般教養	4	○	世界最大の城郭		写真図版
<b>第8章 アジア諸地域の繁栄ー2. 清代の中国と隣接諸地域ー3. イエズス会宣教師の活躍</b>								
2882	イエズス会		重複	11		既出		既出
2883	ザビエル (シャヴィエール)	★	地域理解	5	○	日本との関連 活動の世界性	○	矢部案通り
2884	マテオ・リッチ(利瑪竇)	★		11		文化史表		人名削減
2885	『坤輿万国全図』	★		10		中国で最初の世界地図		図版で
2886	『幾何原本』		文化史簡略	8		文化史表		書名削減
2887	徐光啓		説明の工夫	10		既出		人名削減
2888	アダム・シヤール(湯若望)		説明の工夫	9		文化史表		人名削減
2889	フェルビースト(南懷仁)			7		文化史表		人名削減
2890	ブーヴェ(白進)		網羅主義克服	8		文化史表 「康熙帝伝」→仏との関係		人名削減
2891	レジス(雷孝思)			1		細かい人名		人名削減
2892	『皇輿全覧図』		網羅主義克服	8		文化史表 中国地図→中国版図		図版で
2893	カステリオーネ(羅明堅)	★		11		文化史表		
2894	円明園	★		8	○	西欧(バロック)と中国建築様式の背中離宮造営	○	ヨーロッパとの接触およびアロー戦争での破壊
2895	典礼問題	★		10	○	本文説明で	○	清朝下キリスト教問題の叙述
2896	キリスト教布教の禁止		説明文	10		用語？		用語としない
2897	シナ学			1		フランスへの文化的影響についてはコラムで		説明で

第1部会日本史用語精選 第一次案 作業ファイル

以下の表は、高等学校歴史教育研究会編『歴史教育における高等学校・大学間接続の抜本的改革』(2014年9月刊)掲載の戸川点・安井崇による日本史重要用語選定の作業ファイルを基に、新たに高大連携歴史教育研究会第1部会の日本史用語ワーキンググループが精選作業を行ったファイルの「第4章 中世社会の成立」第1節の抜粋である。

なお、このファイルの章・節・項等の名称・用語順や用語配列は山川出版社『日本史用語集』(2014年初版発行)によるものである。

凡例： 歴史用語の次の列の頻度数は、日本史B教科書8冊中の掲載頻度1～8である。

その右の列は、戸川・安井案とワーキンググループの松井秀行・宮崎亮太案と用語選定のコメント

さらにその右の列は、ワーキンググループの中村翼案・高木純一案

その右の★は議論の末に、ワーキンググループが選定した用語およびその精選理由を記している

第4章 中世社会の成立 第1節 院政と平氏政権 (1)延久の荘園整理令と荘園公領制

歴史用語	頻度数	戸川・安井案	松井・宮崎案	松井・宮崎コメント	中村案	高木案	WG案	精選理由
後三条天皇	8	○	○	院政につながる重要な人物。	○	○	★	院政の展開に関わる主要な人物。
宣旨柵	6			新しい公定の柵を定めたことがわかればよい。				記述で良い。
即位灌頂	1			細かい語句。				細かい用語。
国衙領	8			公領という用語があれば良い。		○	★	中世の土地制度を考えるうえで重要
公領	8	○	○	荘園公領制を説明するうえで必要。	○	○	★	荘園公領制を説明するうえで必要。
荘園整理	8			延久の荘園整理令に統一。		○		荘園整理令で良い。
荘園整理令	8			延久の荘園整理令に統一。	○	○	★	荘園整理令で良い。
延久の荘園整理令	6	○	○	中世の土地制度を考える上で重要。		○		荘園整理令で良い。
寛徳の荘園整理令	1			細かい語句。				細かい用語。
記録荘園券契所	8	○	○	院政の展開を考えていく上で重要。	○	○	★	記録所のみでも良い。
券契	2			「証拠書類」などの記述で良いか。				記述で良い。
石清水八幡宮	6			「大寺社など」とまとめてしまえば良いか。				本文中で触れなくて良い。
大江匡房	6			細かい語句。				本文中で触れなくて良い。
江家次第	3			細かい語句。				細かい用語。
江記	1			細かい語句。				細かい用語。
郡郷制	1			細かい語句。				細かい用語。
郡	6			表にする。				細かい用語。
郡司	4			表にする。				細かい用語。
郡司職	2			表にする。				細かい用語。
郷	6			表にする。				細かい用語。
郷司	6			表にする。				細かい用語。
郷司職	2			表にする。				細かい用語。
保	6			表にする。				細かい用語。
保司	6			表にする。				細かい用語。
保司職	1			表にする。				細かい用語。
郡・郷・保				表にする。	○		★	中世社会を考える上で重要。
荘園公領制	8		○	中世の社会・経済を説明する上で必要。	○	○	★	中世社会を考える上で重要。
荘園制	5			摂関政治の時期で説明。				院政期より前に出てくる用語。
作人	6			細かい語句。				細かい用語。
請作	1			細かい語句。				細かい用語。
加地子	2			細かい語句。				細かい用語。
小百姓	2			細かい語句。				細かい用語。
年貢	8	○	○	中世の租税負担を考える上で重要。	○	○	★	中世社会を考える上で重要。
公事	7	○	○	中世の租税負担を考える上で重要。	○	○	★	中世社会を考える上で重要
万雑公事	1			細かい語句。				細かい用語。
夫役	7	○	○	中世の租税負担を考える上で重要。		○	★	中世社会を考える上で重要。

第4章 中世社会の成立 第1節 院政と平氏政権 (2)院政の開始

白河天皇	8	○	○	院政を本格的に始めた人物として重要。	○	○	★	院政の展開を考える上で重要。
堀河天皇	7			系図で表す。				本文中で触れなくて良い人名。
中右記	2			細かい語句。				細かい用語。
藤原宗忠	1			細かい人名。				本文中で触れなくて良い人名。
院政	8	○	○	中世社会を考える上で重要。	○	○	★	中世社会を考える上で重要
上皇	8	○	○	院政を主導する立場として重要。	○	○	★	院政を主導する立場として重要。
太上天皇	7			平安初期で説明しても良いか。				上皇で良い。
治天の君	8			記述にする。		○		上皇・院と同義と誤解されること避ける。

院	7	○	○	院政を司る主要な機関。	○	○	★	院政を説明するために必要。
院宣	6			構造を図式化する。				記述で良い。
院庁	8	○	○	院政を司る主要な機関。	○	○	★	院政を説明するために必要。
院司	6			構造を図式化する。				記述で良い。
院庁下文	7			構造を図式化する。				記述で良い。
北面の武士	8	○	○	武士の台頭を考える上で重要。		○		親衛隊・直轄軍などで代用可。
法皇	8	○	○	院政を主導する立場として重要。		○	★	院政を説明するために必要。
六勝寺	7			地図表記。	○			細かい用語。
法勝寺	7			地図表記。			★	院政を考える上で重要。
熊野詣	7	○	○	「高野山や熊野に参詣し」などの表記で良い。			★	院政や中世の信仰を考える上で重要。
高野詣	6			「高野山や熊野に参詣し」などの表記で良い。				記述で良い。
白河殿	3			細かい語句。				細かい用語。
鳥羽殿	5			細かい語句。				細かい用語。

第4章 中世社会の成立 第1節 院政と平氏政権 (3) 院政期の社会

院政期	7			記述にする。				記述で良い。
院の近臣	7			院の側近などの表記で良い。				記述で良い。
乳母	4	○		細かい語句。				一般用語。
院領荘園群	2			細かい語句。				細かい用語。
八条女院領	8	○	○	院の経済基盤として重要。	△			院政の経済的な基礎となる荘園群という主旨の記述で良い。
八条院障子	8			細かい語句。				本文中で触れなくて良い人名。
長講堂領	8	○	○	院の経済基盤として重要。	△			院政の経済的な基礎となる荘園群という主旨の記述で良い。
六条院領	1			細かい語句。				細かい用語。
殿下渡領	1			細かい語句。				細かい用語。
知行国	8	○	○	院政を考える上で重要。	○	○	★	院政の展開を考える上で重要。
知行国主	7			知行国の説明があれば良い。				記述で良い。
知行国の制度	7			記述で良い。				記述で良い。
院分国	2			細かい語句。				細かい用語。
僧兵	8	○	○	院政期の社会を考える上で重要。		○	★	院政と武士の台頭を考える上で重要。
強訴	8	○	○	院政期の社会を考える上で重要。	○	○	★	院政と武士の台頭を考える上で重要。
天狗草紙	6			細かい語句。				細かい用語。
南都北嶺	8	○		「興福寺、延暦寺など」の記載で良い。		○		興福寺・延暦寺で良い。
神木・神輿	7	○		強訴を行ったことがわかればよい。		○		細かい用語。
三大不如意	3			記述にする。				記述で良い。
春日大社	6			細かい語句。				寺社勢力でまとめて良い。
日吉神社	5			細かい語句。				寺社勢力でまとめて良い。
寺社勢力				一般用語として扱う。			★	院政期の社会を考える上で必要な語句。
奥州藤原氏	8	○	○	院政期の地方社会を考える上で重要。	○	○	★	古代の箇所を選んで良い。
平泉	8	○	○	院政期の地方社会を考える上で重要。	○	○	★	古代の箇所を選んで良い。
藤原清衡	8	○	○	中尊寺の説明で必要な人名。	○			奥州藤原氏三代で良い。
藤原基衡	8			「奥州藤原氏」などの表記で良い。				奥州藤原氏三代で良い。
藤原秀衡	8	○		「奥州藤原氏」などの表記で良い。				奥州藤原氏三代で良い。

第4章 中世社会の成立 第1節 院政と平氏政権 (4) 保元・平治の乱

伊勢平氏	7			細かい語句。	△		★平氏	平氏という用語は必要。
平正盛	7			系図で表す。				本文中で触れなくて良い。
源義親	3			系図で表す。				本文中で触れなくて良い。
平忠盛	8			系図で表す。	○			本文中で触れなくて良い。
平清盛	8	○	○	武士の台頭を考える上で重要。	○	○	★	平氏政権の中心的人物として重要。
鳥羽天皇	8	○	○	院政の展開を考えていく上で重要。	○	○	★	院政の展開を考える上で重要。
保元の乱	8	○	○	武士の台頭を考える上で重要。	○	○	★	武士の台頭を考える上で重要。
崇徳上皇	8	○	○	院政の展開を考えていく上で重要。	○	○		本文中で触れなくて良い。
藤原忠通	8	○		保元の乱の対立概念図などで表記する。		○		本文中で触れなくて良い。
藤原頼長	8	○		保元の乱の対立概念図などで表記する。		○		本文中で触れなくて良い。
平忠正	8			保元の乱の対立概念図などで表記する。				本文中で触れなくて良い。
源為義	8			保元の乱の対立概念図などで表記する。				本文中で触れなくて良い。
源義朝	8	○	○	源氏の政権を考える上で重要。	○	○	★	後の源氏の政権を考える上で触れておく。
源為朝	5			保元の乱の対立概念図などで表記する。				本文中で触れなくて良い。
藤原信西	8	○	○	院政と平氏政権を考える上で重要。		○		本文中で触れなくて良い。
平治の乱	8	○	○	武士の台頭を考える上で重要。	○	○	★	武士の台頭を考える上で重要。
藤原信頼	8	○		「院近臣の間での争い」などの表記で良い。				本文中で触れなくて良い。
源義平	4			細かい語句。				本文中で触れなくて良い。
平頼盛	3			細かい語句。				本文中で触れなくて良い。

第4章 中世社会の成立 第1節 院政と平氏政権 (5)平氏政権

平氏政権	7	○	○	武士の台頭を考える上で重要。	○	○	★	武士の台頭を考える上で重要。
蓮華王院	5			図版とキャプション扱いが良い。				細かい用語。
平重盛	7			系図で表す。				本文中で触れなくて良い。
平時忠	4			系図で表す。				本文中で触れなくて良い。
地頭	3			鎌倉時代で説明。				鎌倉時代で扱う。
西国	8			一般用語として扱う。				一般用語。
日宋貿易	8	○	○	平氏政権の経済基盤や文化を考える上で重要。	○	○	★	対外交渉史として重要。
大輪田泊	8	○	○	平氏政権の経済基盤や文化を考える上で重要。	○		★	対外交渉史として重要。
後白河天皇	8	○	○	院政の展開を考えていく上で重要。	○	○	★	院政の展開を考える上で重要。
高倉天皇	8	○	○	平氏政権を考える上で重要。	○	○		本文中で触れなくて良い。
平徳子	7	○		平清盛が外戚となったという説明と系図で表記する。				本文中で触れなくて良い。
安徳天皇	8	○		平清盛が外戚となったという説明と系図で表記する。		○		本文中で触れなくて良い。
鹿ヶ谷の陰謀	8	○		「平氏政権を倒すための計画」などの表記が良い。		○		細かい用語。
俊寛	6			細かい語句。				本文中で触れなくて良い。
藤原成親	6			細かい語句。				本文中で触れなくて良い。

第4章 中世社会の成立 第1節 院政と平氏政権 (6)院政期の文化

今様	8	○	○	院政期の文化の例として重要。	○	○	★	院政期の文化を考える上で重要。
梁塵秘抄	8	○	○	院政期の文化の例として重要。	○	○	★	院政期の文化を考える上で重要。
催馬楽	3			細かい語句。				細かい用語。
傀儡	1			細かい語句。				細かい用語。
白拍子	1			細かい語句。				細かい用語。
田楽	8			室町文化で説明。	○		★	中世の文化を考える上で重要。
猿楽	7			室町文化で説明。				室町文化で扱う。
説話集	8			記述で良い。				細かい用語。
今昔物語集	8	○	○	説話集の例として挙げる。	○	○	★	古典で習うこともあるため。
軍記物語				細かい語句。				細かい用語。
将門記	7	○		院政期の文化の主な作品を一覧表にして表記。	○			細かい用語。
陸奥話記	7	○		院政期の文化の主な作品を一覧表にして表記。	○			細かい用語。
歴史物語	8	○		一般用語として扱う。		○		一般用語。
大鏡	8	○	○	歴史物語の例として挙げる。	○	○	★	古典で習うこともあるため。
今鏡	2			細かい語句。				細かい用語。
中尊寺金色堂	8	○	○	浄土信仰の地方への広がりを示す具体例として必要。	○		★	院政期の文化を考える上で重要。
毛越寺	5			細かい語句。				細かい用語。
白水阿弥陀堂	8		○	浄土信仰の地方への広がりを示す具体例として必要。				図版で扱う。
富貴寺大堂	8		○	浄土信仰の地方への広がりを示す具体例として必要。				図版で扱う。
三仏寺投入堂	4			細かい語句。				図版で扱う。
中尊寺一字金輪像	1			細かい語句。				細かい用語。
往生極楽院阿弥陀	1			細かい語句。				細かい用語。
白杵の磨崖仏	3			細かい語句。				細かい用語。
絵巻物	8	○	○	後の時代への影響などを踏まえて重要な語句。	○	○	★	文化史を考える上で重要な用語。
詞書	6			細かい語句。				細かい用語。
源氏物語絵巻	8	○	○	紙幣にも使われているため。	○	○	★	紙幣にも描かれるなど知名度を勘案
伴大納言絵巻	8	○	○	応天門の宴や異時同図法などを説明する際の具体例。	○		★	異時同図法の具体例など勘案。
年中行事絵巻	2			細かい語句。				細かい用語。
信貴山縁起絵巻	8		○	異時同図法などを説明する具体例として必要。	○		★	異時同図法の具体例など勘案。
鳥獸戯画	8		○	世間での知名度を勘案。	○		★	知名度を勘案。
鳥羽僧正覚猷	6			細かい語句。				本文中で触れなくて良い人名。
装飾経	3			細かい語句。				細かい用語。
扇面古写経	7			細かい語句。				図版で扱う。
平家納経	8	○	○	平氏政権のイメージを捉える題材として必要。	○		★	平氏政権と院政期の文化を考える上で重要。
嚴島神社	8	○	○	平氏政権のイメージを捉える題材として必要。	○		★	平氏政権と院政期の文化を考える上で重要。





武士の社会

	頻度数	山川詳説	東書	山川高校	実教	清水	実教高校	山川新	明成社	小学校	中学校	戸川・安井	松井・宮崎	中村案	高木案	WG案
源頼家	8	●	●	○	●	○	●	●	○		○	◎			◎	
修禪寺	6	表	注	年表	○		○		○							
十三人の合議制	5	注		年表	○			○	○							
梶原景時	6	注	年表		注	○		○	注							
比企能員	7	注	年表		注	○	○	○	注							
三浦義澄	2	注							注							
畠山重忠	5		年表		注	○		○	注							
北条政子	8	○	●	○	●	●	●	○	●	コラム	コラム	◎	◎	◎	◎	○
北条時政	8	●	●	●	●	●	●	○	●		○	◎			◎	
北条氏	5	●	○	○		●			○	○	○					
執権	8	●	○	●		●	●	●	●	○	●	◎	◎	◎	◎	○
北条義時	8	●	●	○	●	●	●	○	●			◎	◎	◎	◎	○
和田合戦	5	○	コラム	○				●	年表							
源実朝	8	●	●	●	●	○	●	○	○		○	◎		◎	◎	○
公暁	7	○	○		○	○	○	○	○							
摂家将軍	8	注	●	注	●	注	●	○	●							
藤原頼経	8	注	○	年表	●	○	●	○	○							
九条道家	4					○		○								
関東申次	1					○										
藤原頼嗣	2		○		○											
後鳥羽上皇	8	●	●	●	●	●	●	○	●		○	◎	◎	◎	◎	○
西面の武士	8	○	●	○	●		○	○	●			◎			◎	
隠岐	8	注	○	図					○		○	◎		◎		
承久の乱	8	●	●	●	●	●	●	●	●	○	●	◎	◎	◎	◎	○
北条義時追討令	8	○	●	○	○	○	○	○	○			◎			◎	
尼将軍	1					○					コラム	◎				
土御門天皇	6	注			○	○	注	○	○							
順徳天皇	7	注			○	○	注	○	○							
仲恭天皇	6	注		○	○		注	○	○							
後堀河天皇	6				○	○	注	○	○							
六波羅探題	8	●	●	●	●	●	●	●	●		●	◎	◎	◎	◎	○
新補地頭	7		図		注	●	注	○	注							
新補率法	8	注	●	注	注	注	注	○	注							
免田	4					注	注		注							
加徴米	7		注		注	注	注		注							
本補地頭	4				注	注	注		注							
北条泰時	8	○	●	●	●	●	●	○	●		○	◎	◎	◎	◎	○
執権政治	8	小見出し	○		●	●		○	●		○	◎	◎	◎	◎	○
宇都宮辻子	1				○											
連署	8	●	●	●	●	●	●	●	●			◎	◎	◎	◎	
北条時房	8	○	○	年表	●	○	○	○	○							
評定衆	8	●	●	●	●	●	●	●	●		図	◎	◎	◎		○
評定	4		●								○					
寛喜の大飢饉	3						○							◎		○
御成敗式目	8	●	○	●	●	●	●	●	●	○	●	◎	◎	◎	◎	○
貞永式目	8	○	●	○	●	○	●	○	●		●					
先例	7	○	○	○			○									
右大将家	7															
道理	5	○						●	○							
悔い返し権	1															
北条泰時書状	5	資料														
武家法	8	○	○	○	○	○	○	△	○					◎	◎	○
公家法	7	○	注	○	○		○	○	○					◎		○
律令法	6								○							
本所法	6	○	注						○							
式目追加	6	注		注	注	図		○	注							
北条時頼	8	●	●	●	●	○	●	●	●		コラム	◎	◎	◎	◎	○
宝治合戦	8	○	年表	年表	●	○	注	●	●							
三浦泰村	6	○	年表	年表	○			○	○							
三浦氏	5					○	注									
院評定衆	4	○				●		○								
引付	4	●			●				○							
引付衆	8	●	●	●	●	●	●	●	●			◎	◎	◎		○



蒙古襲来と幕府の衰退

	頻度数	山川詳説	東書	山川高校	実教	清水	実教高校	山川新	明成社	小学校	中学校	戸川・安井	松井・宮崎	中村案	高木案	WG案
モンゴル	6			○	○			○	○	コラム	○	◎	◎	◎	◎	
モンゴル帝国	5	○	●			●	○				●					○
チンギス=ハン	8	○	●	○	○	●	●	○	●		○	◎	◎	◎	◎	○チンギス
金	7	○	○		●	○			○							
フビライ=ハン	8	●	●	●	○	●	●	●	●		●	◎	◎	◎	◎	○クビライ
元	8	●	●	●	●	●	○	●	●	○	●	◎	◎	◎	◎	○
大都	8	○	○	○	○		○		○		○			◎		
三別抄	6	注			注	○	○	○	注			◎		◎		
南宋	8	○	●		○	○	○	○	○		○		◎	◎		○
北条時宗	8	●	●	●	●	●	●	●	●	○	●	◎	◎	◎	◎	○
蒙古襲来	6	●		●		●	○	●								
元寇	8	○	●	●	●	●	●	○	●	○	●	◎		◎	◎	○モンゴル襲来
文永の役	8	●	●	●	●	●	●	●	●		●	◎	◎	◎	◎	○
てつはう	7	図	注			図	○		○	○		◎		◎		
異国警固番役	8	●	●	●	●	●	●	●	●			◎	◎	◎	◎	○
長門警固番役	1								注							
石塁	7	○	○		○		○		○							
石築地	6	○			○	○	○	○	○							
弘安の役	8	●	●	●	●	●	●	●	●		●	◎	◎	◎	◎	○
東路軍	7				○	○	○		○							
江南軍	7				○	○	○		○							
神国思想	1								●					◎		○
百王説	1								○							
鎮西探題	7	●		●	●	●		●	●							○
得宗	8	●	●	●	●	●	●	○	●			◎	◎	◎	◎	○
御内人	8	○	●	○	●	○	○	○	●							
内管領	6	○		○	●		○		○							
霜月騒動	7	●		●	●	●	●	●	●							
北条貞時	6	○		●		○	●	●	○							
安達泰盛	7	○		○	○	○	●	○	○					◎		
平頼綱	7	○		○	○	○	●	○	○							
得宗専制政治	6	●		○	○			●				◎			◎	
琉球	8	○			○	○		○					◎	◎	◎	
按司	6	●			○			○	注					◎		○
グスク	7	○			○	○	注		注					◎		○
北山・中山・南山	6	○		○	○	○	○	○	○			◎		◎	◎	
三山	5		図		○	○		●	○							
蝦夷ヶ島	5	○				○		○								
蝦夷地	8		●		○		●		○			◎	◎	◎	◎	○
アイヌ	8	●	○	●	○	○	○	○	●			◎	◎	◎	◎	○
十三湊	8	○	コラム		○	○		●	○					◎		○
安藤氏	8	○	コラム		○	○		○	○					◎		○
安藤氏の乱	2															
二毛作	8	●	●	●	●	●	●	●	●		●	◎	◎	◎	◎	○
裏作	7	○	注				注									
大唐米	7	注		○				○	注							
刈敷	8	注	注	○	○	●	注	○	●			◎	◎	◎	◎	
草木灰	8	注	注	○	○	●	注	○	●		△	◎	◎	◎	◎	
牛馬耕	7	●			○	●	○	△						◎		○
犁	5		注					○	○							
荏胡麻	6	○							○							
鍛冶屋		○			○	○	○		○		○					
紺屋	2	○									○					
定期市	6	●		○	●		○	●	●		●	◎	◎	◎	◎	○
三斎市	8	●	●	●	注	●	●	○	●			◎	◎	◎	◎	
福岡市	6	図			図			図			図					
行商人	5	●														
神人	5	○						○								
供御人	3	○														
御厨	3															
宿駅	4	○					○	●								
問丸	7	●	●	●	●	●	●	●	●			◎	◎		◎	○問
梶取	1															
宋銭	8	●	●	○	●		●	●	●			◎	◎	◎	◎	○

錢納	6			●	●		●	○							
為替	8	●	○	●	●		●	●			◎	◎	◎	◎	○
借上	8	●	●	●	●	●	○	●			◎	◎	◎	◎	○
頼母子	3							注							
無尽	3							注							
阿氏河莊	7		コラム	○			コラム	○							
阿氏河莊百姓等訴	5	史料	コラム	史料	史料		コラム	史料			◎				
在家	1														
永仁の徳政令	8	●	●	●	●	●	●	●		▲	◎	◎	◎	◎	○
凡下	6						○								
悪党	8	●	コラム	●	●	●	●	●		○	◎	◎	◎	◎	○
陶磁器			注				○	●					◎		○
中国江南の文化													◎		
一所懸命									●						
見世棚		●						●	○						
座		●	●	●	●	●	●	●	●						
大越		注			注	○	○								
市			●												
元錢			●												
契丹			○												
遼			○												
女真			○												
金			○				注	○							
テムジン			○						○						
高麗			○	○	○	○	○	○	○						
預所				●											
雑掌				●											
弘安徳政					●										
チャンパ					○	○									
唐物								●							
百姓請								●							
龜山上皇									●						

資料6 鎌倉文化(1)

	用語数	山川詳説	東書	山川高校	実教	清水	実教高校	山川新	明成社	小学校	中学校	戸川・安井	松井・宮崎	中村案	高木案	WG案
鎌倉文化	4	○		○	○						○					
公家	8	○			○											
五摂家	2															
鎌倉仏教	5	○	●						●							
浄土宗	8	●	●	●	●	●	●	●	●		●	◎		◎	◎	○
法然	8	●	●	●	●	●	●	●	●		●	◎	◎	◎	◎	○
念仏	8	●	○	●	●	●	●	○	●		○					
専修念仏	5	●		○	○	●		○	●							
選択本願念仏集	8	表	年表	表	○	注	表	○	表					◎		
承元の法難	1					○										
知恩院	4	表	年表	表	表				表		表					
浄土真宗	8	●	●	●	●	●	●	●	●		●	◎		◎	◎	○
一向宗	6	○	●	●	●	●	●	●	●		●	◎	◎	◎	◎	○
親鸞	8	●	●	●	●	●	●	●	●		●	◎	◎	◎	◎	○
教行信証	8	表	年表	表	表	注	表	○	表							
悪人正機説	8	●	●	●	●	注	注	●	●			◎	◎	○	◎	
歎異抄	6	史料		史料	史料	注	注	○	注							
唯円	6	史料		史料	史料	注	注	○	注							
本願寺	7	表	年表	表	表			○	表		表					
時宗	8	●	●	●	●	●	●	●	●		●	◎		◎	◎	○
一遍	8	●	●	●	●	●	●	●	●		●	◎	◎	◎	◎	○
踊念仏	8	●	●	●	●	○	○	○	●		○	◎	◎	◎	◎	
遊行	5	図	○				○	図	○							
一遍上人語録	6	表	年表	表	表		表		表							
清浄光寺	5	表	年表	表	表				表		表					
日蓮宗	8	●	●	●	●	●	●	●	●		●	◎		◎	◎	○
法華経	8	○	○	○	○	○	○	○	○		○			◎	◎	
題目	8	●	○	●	●	●	○	○	●		○	◎	◎	◎	◎	
南無妙法蓮華経	8	○	○	○	○	○	○	○	○		○	◎	◎	◎	◎	
日蓮	8	●	●	●	●	●	●	●	●		●	◎	◎	◎	◎	○
立正安国論	8	表	年表	表	表	注	表	○	表							
久遠寺	5	表	年表	表	表				表		表					
禪宗	8	○			●		●	○	●		●			◎	◎	○
自力	6								○							
禪	6		○	●												
坐禪	8	○	○	○	●	○	○	○	○		○	◎	◎	◎	◎	
臨濟宗	8	●	●	●	●	注	●	●	●		○	◎		◎	◎	○
公案	4	注				注			○							
栄西	8	●	●	●	●	●	●	●	●		●	◎	◎	◎	◎	○
興禪護国論	7	表	年表	表	○		表	○	表							
建仁寺	8	表	年表	表	○				○							
喫茶養生記	1								注							
蘭溪道隆	6	○			●	●	○	●	○							
建長寺	8	○	●		○	○	注	○	注					◎		○
東叡慧安	1								注							
無学祖元	6	○			●	●	○	●	○							
円覚寺	8	○	●		○	○	注	○	注					◎		
一山一寧	2															
曹洞宗	8	●	●	●	●	●	●	●	●		○	◎		◎	◎	○
只管打座	5	注			○	注		●	○							
道元	8	●	●	●	●	●	●	●	●		●	◎	◎	◎	◎	○
正法眼蔵	8	表	年表	表	表	注	表	○	表							
正法眼蔵随聞記	1															
永平寺	8	○	年表	表	表	●	○	○	○					◎		
旧仏教	6	○			○	○						◎		◎	◎	
貞慶	8	●	●	○	●	●	●	●	●				◎	◎	◎	○
明恵	8	●	●	○	●	●	●	●	●			◎	◎	◎	◎	○
推邪論	1								注							
高山寺	2		○						○							
俊芳	2				●				○							
泉涌寺	2				○				○							
叡尊	7	●	●	●	●	●	●	●	●			◎	◎	◎	◎	○
真言律宗	1				○											
忍性	8	●	●	●	●	●	●	●	●			◎	◎	◎	◎	○
極楽寺	3				注	○			注							
北山十八間戸	5	注	●	注	注				注							
禪律僧	2				●											
本山派	2															
当山派	2															
伊勢神道	8	●	●	●	●	●	●	○	●					◎		○
伊勢外宮	7	○		注	○	○	○	●	●							
神本仏迹説	6	注		注	○	●	○		●							
反本地垂迹説	5				注				●							
渡会行忠	1								注							
渡会家行	6	●		注	○	●	○		●							
類聚神祇本源	2	注							●							

## 鎌倉文化(2)

	用語数	山川詳説	東書	山川高校	実教	清水	実教高校	山川新	明成社	小学校	中学校	戸川・安井	松井・宮崎	中村案	高木案	WG案
西行	8	○	表	○	●	●	表	●	●		○		◎	◎		○
山家集	8	○	表	○	●	●	表	○	○					◎		
隠者	1															
新古今和歌集	8	●	●	●	●	●	表	●	●		●	◎	◎	◎	◎	○
藤原定家	8	○	●	○	●	●	表	●	●		○		◎	◎		○
藤原家隆	3	○			○				○							
金槐和歌集	8	○	●	○	●	●	表	○	●					◎		
十訓抄	6	表		表	○	○		○	表							
宇治拾遺物語	5	表		表	●			○	○							
古今著聞集	7	○		表	○	○	表	○	表							
沙石集	6	表		表	○	○	表		○							
無住	6	表		表	○	○	表		○							
十六夜日記	7	表		表	●	○	表	○	表							
阿仏尼	7	表		表	●	○	表	○	表							
海道記	3	表		表	○											
東関紀行	4	表		表	○				表							
方丈記	8	○	●	●	●	●	表	○	○			◎	◎	○	◎	○
鴨長明	8	○	●	○	●	●	表	●	●		○	◎	◎		◎	○
徒然草	8	●	●	●	●		表	●			●	◎	◎	◎	◎	○
兼好法師	8	○	●	●	●		表	●			○	◎	◎	◎	◎	○
軍記物語	8	○	●	○	●		表	○	○			◎	◎	◎	◎	○
保元物語	8	表	表	表	●	注	表	○	表							
平治物語	8	表	表	表	●	注	表	○	表							
平家物語	8	●	●	●	●	●	表	●	●		●	◎	◎	◎	◎	○
信濃前司行長	6			表		注	表									
琵琶法師	7	●	○	○	●	○		○	●		○	◎	◎	◎	◎	○
平曲	5	●			○			○	●							
源平盛衰記	5	表		表		注			表							
水鏡	2	表		表					表							
愚管抄	8	●	●	●	●	●	表	●	●			◎	◎	◎	◎	○
道理	5	○			○	注		○	○							
慈円	8	○	●	○	●	●	表	●	●			◎	◎	◎	◎	○
百練抄	1															
吾妻鏡	8	●	表	●	●	●	●	●	●				◎	◎		○
元亨釈書	6	表		表	○		表		コラム							
虎関師錬	6	表		表	○		表		コラム							
万葉集註釈	4	表		表	○				○							
仙覚	4	表		表	○				○							
釈日本紀	4	表		表	○				○							
卜部兼方	4	表		表	○				○							
有職故実	8	●	●	○	●	●			●					◎		○
禁秘抄	4	表		表	○				○							
金沢実時	7	○	注		●	●	図	○	○							
金沢文庫	8	●	●	●	●	●	図	○	●					◎		○
貞観政要	1															
宋学	6	●			●											
朱熹	4	○			○		注									
大義名分論	5	●			○		注									
重源	8	●	●		●	●	○	●	●			◎	◎	◎	◎	○
陳和卿	6	○			○	○										
伊行末	2					○										
大仏様	8	●		●	●	●	○	●	●			◎	◎	◎		
天竺様	5				○		○	○	○							
東大寺南大門	8	○	表	○		●	○	○	○		○	◎	◎	◎		
禅宗様	8	●	▲	●	●	●	○	●	●			◎	◎	◎		
唐様	7	○			○		○	○	○							
円覚寺舍利殿	7	○	図	図	○		○	○	●			◎	◎	◎		
和様	6	○	○	○	○	○			○							
蓮華王院本堂	5	表	表	図	表				表							
折衷様	4	●		○	○				○							
観心寺金堂	4	表		図	表				表							
奈良仏師	5			○	○	○		○	○							

